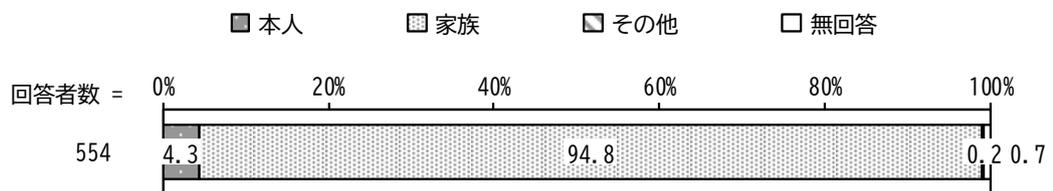


2 障がい児

1. 回答者属性

問1 このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が4.3%、「家族」の割合が94.8%となっています。



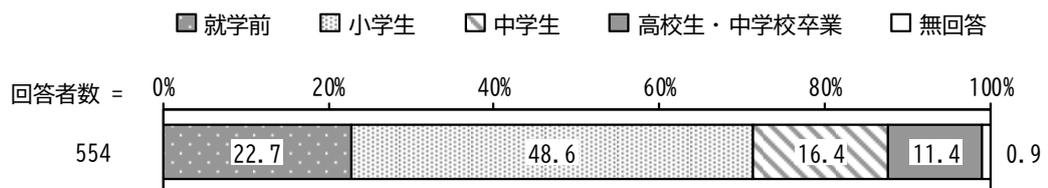
その他の記載内容は次のとおりです。

区分	記載内容
手帳未所持	・日本人の知人（発達障がい）

※ご本人以外の方が答えられる場合の問2以下は、ご本人への問としてお答えください。

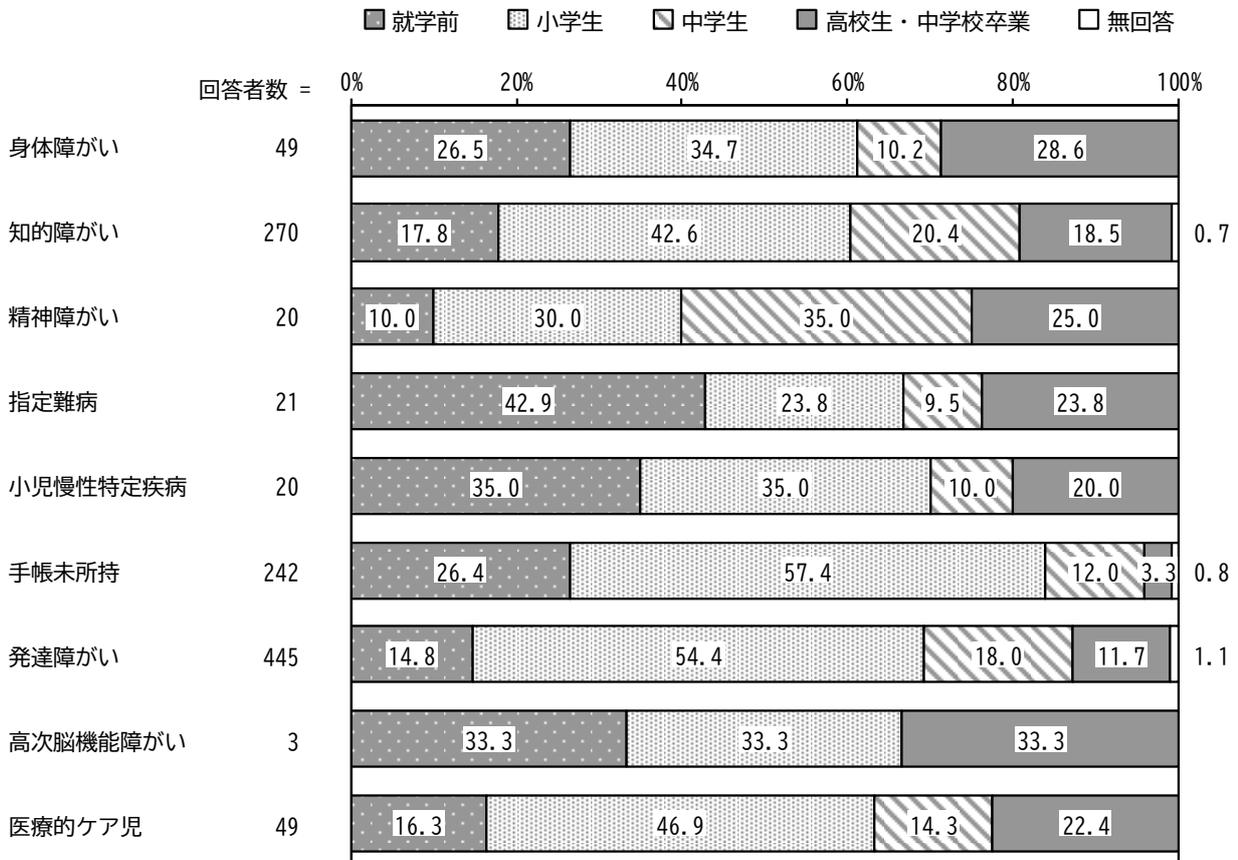
問2 あなたは、次のどれに該当しますか。(○は1つ)

「小学生」の割合が48.6%と最も高く、次いで「就学前」の割合が22.7%、「中学生」の割合が16.4%となっています。



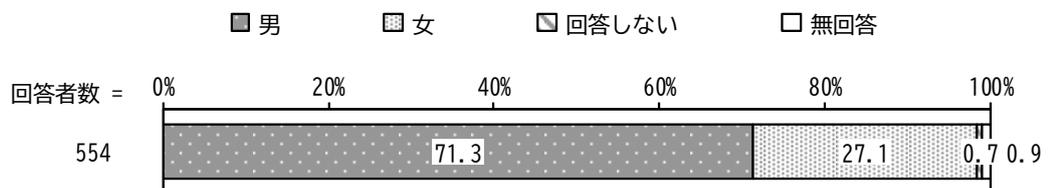
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて指定難病で「就学前」、精神障がい「中学生」、身体障がい「高校生・中学校卒業」の割合が高くなっています。



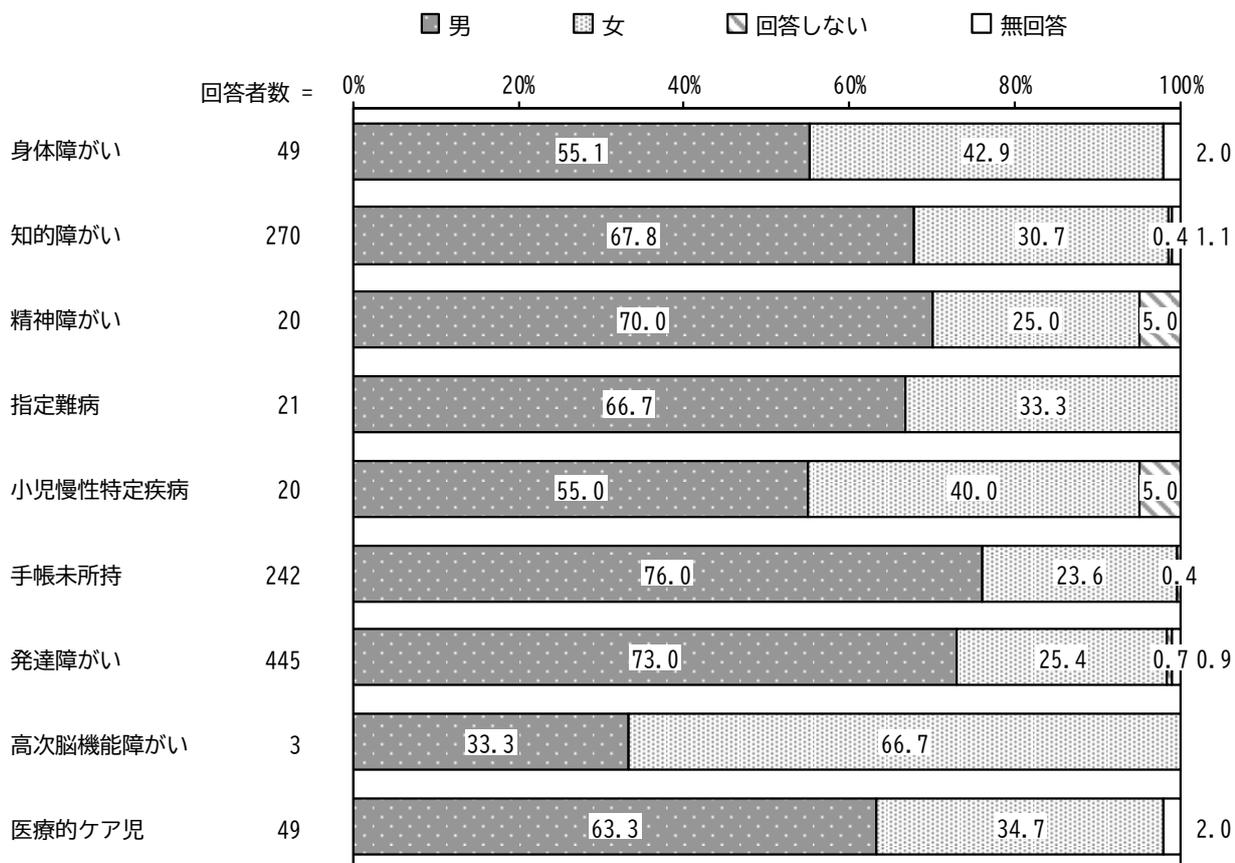
問3 あなたは、男ですか、女ですか。(〇は1つ)

「男」の割合が71.3%、「女」の割合が27.1%となっています。



【障がい種別】

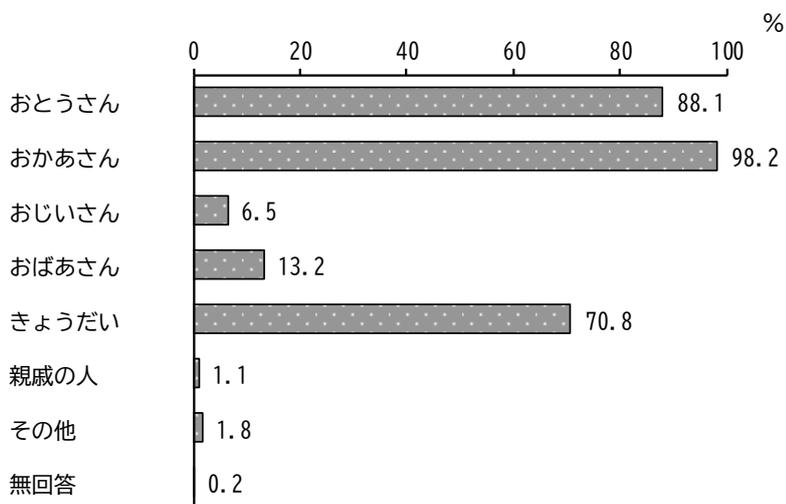
障がい種別にみると、全体と比べて身体障がい、小児慢性特定疾病で「女」の割合が高くなっています。



問4 あなたは今、だれと暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「おかあさん」の割合が98.2%と最も高く、次いで「おとうさん」の割合が88.1%、「きょうだい」の割合が70.8%となっています。

回答者数 = 554



その他の記載内容答は次のとおりです。

区 分	記載内容
身体障がい	・ F A M I L Y (発達障がい)
知的障がい	・ 叔父、曾祖母 (発達障がい) ・ ねこ (発達障がい)
指定難病	・ 犬 (手帳未所持)
手帳未所持	・ 父はアメリカ人アメリカ在住米軍人 ・ 曾祖母、伯父 ・ おじ (発達障がい) ・ 猫 (発達障がい) ・ 犬 (発達障がい) ・ ひいおばあさん、おじさん (発達障がい)

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいで「きょうだい」の割合が高くなっています。

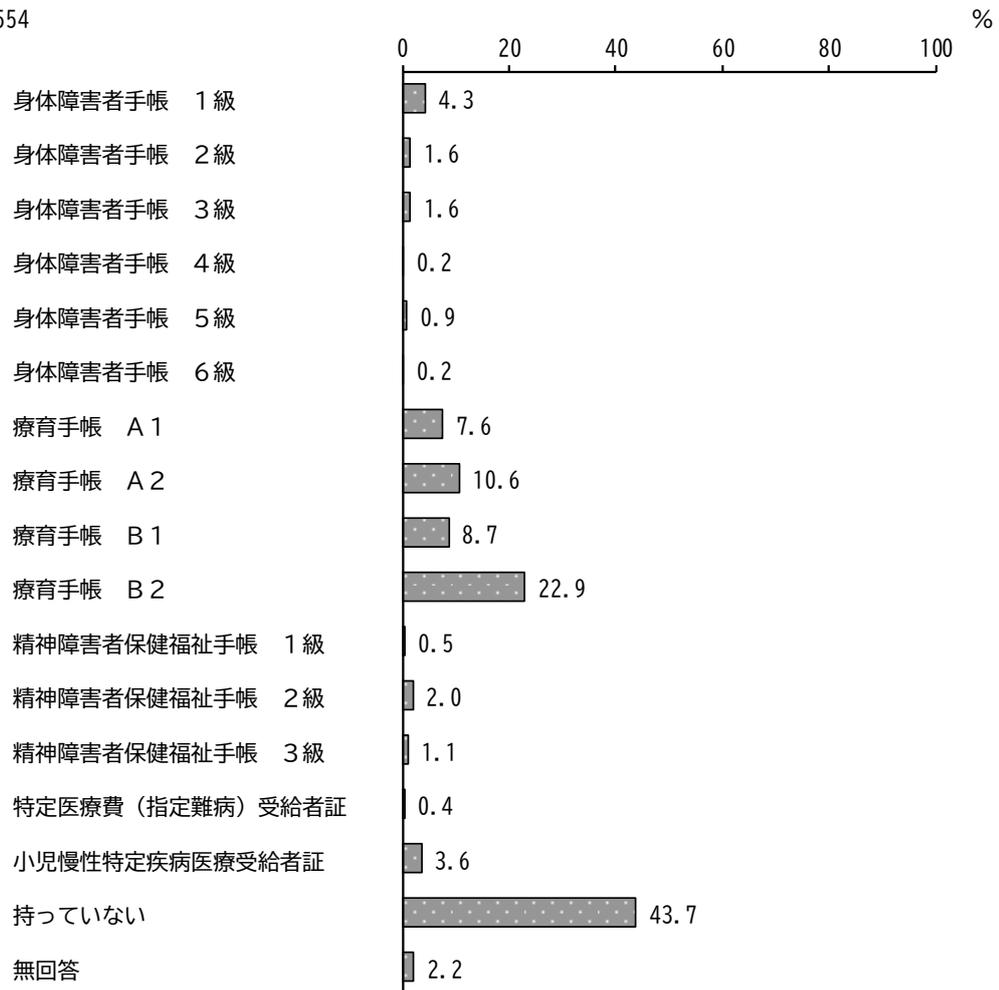
単位：％

区分	回答者数 (件)	おとうさん	おかあさん	おじいさん	おばあさん	きょうだい	親戚の人	その他	無回答
全 体	554	88.1	98.2	6.5	13.2	70.8	1.1	1.8	0.2
身体障がい	49	89.8	95.9	8.2	10.2	79.6	2.0	2.0	0.0
知的障がい	270	87.4	98.1	5.6	14.1	75.9	0.7	0.7	0.0
精神障がい	20	80.0	100.0	10.0	15.0	70.0	0.0	0.0	0.0
指定難病	21	85.7	100.0	4.8	0.0	71.4	0.0	4.8	0.0
小児慢性特定疾病	20	90.0	100.0	10.0	10.0	70.0	0.0	0.0	0.0
手帳未所持	242	90.1	99.6	7.9	12.0	67.4	1.2	2.9	0.0
発達障がい	445	87.4	98.2	7.6	14.4	71.0	1.3	1.6	0.2
高次脳機能障がい	3	100.0	100.0	33.3	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0
医療的ケア児	49	83.7	95.9	8.2	14.3	71.4	2.0	0.0	0.0

問5 あなたは、次のうちどの手帳などを持っていますか。(〇はいくつでも)

「持っていない」の割合が43.7%と最も高く、次いで「療育手帳 B2」の割合が22.9%、「療育手帳 A2」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 554



【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「身体障害者手帳 1級」「療育手帳 A1」「療育手帳 A2」「療育手帳 B2」、5歳以下、6～11歳で「持っていない」の割合が高くなっています。

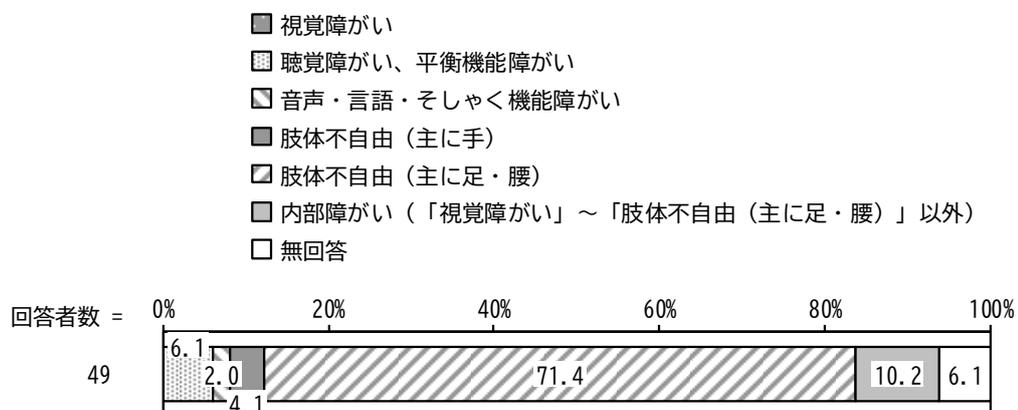
単位：％

区分	回答者数 (件)	1級 身体 障害者 手帳	2級 身体 障害者 手帳	3級 身体 障害者 手帳	4級 身体 障害者 手帳	5級 身体 障害者 手帳	6級 身体 障害者 手帳	療育手帳 A1	療育手帳 A2
全 体	554	4.3	1.6	1.6	0.2	0.9	0.2	7.6	10.6
5歳以下	126	6.3	1.6	2.4	0.0	0.0	0.0	3.2	5.6
6～11歳	269	2.6	1.5	1.1	0.4	0.7	0.0	6.7	10.4
12～14歳	91	2.2	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	7.7	14.3
15歳以上	63	11.1	1.6	3.2	0.0	4.8	1.6	20.6	17.5

区分	療育手帳 B1	療育手帳 B2	精神障害者保健福 祉手帳 1級	精神障害者保健福 祉手帳 2級	精神障害者保健福 祉手帳 3級	特定医療費(指定難 病)受給者証	小児慢性特定疾病 医療受給者証	持っていない	無回答
全 体	8.7	22.9	0.5	2.0	1.1	0.4	3.6	43.7	2.2
5歳以下	11.1	18.3	0.8	0.8	0.0	0.8	5.6	50.8	3.2
6～11歳	7.8	20.1	0.4	0.4	1.5	0.0	2.6	51.7	1.9
12～14歳	8.8	29.7	1.1	5.5	1.1	1.1	2.2	31.9	2.2
15歳以上	7.9	33.3	0.0	6.3	1.6	0.0	6.3	12.7	0.0

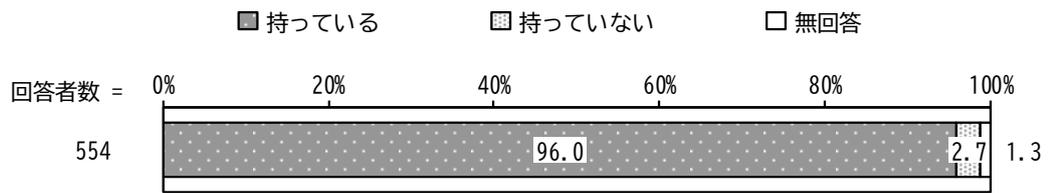
問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。あなたの障がいは、どのような障がいですか。身体障害者手帳の内容からお答えください。障がいが重複している場合は、より不自由を感じている方に○をつけてください。(○は1つ)

「肢体不自由(主に足・腰)」の割合が71.4%と最も高く、次いで「内部障がい(「視覚障がい」～「肢体不自由(主に足・腰)」以外)」の割合が10.2%となっています。



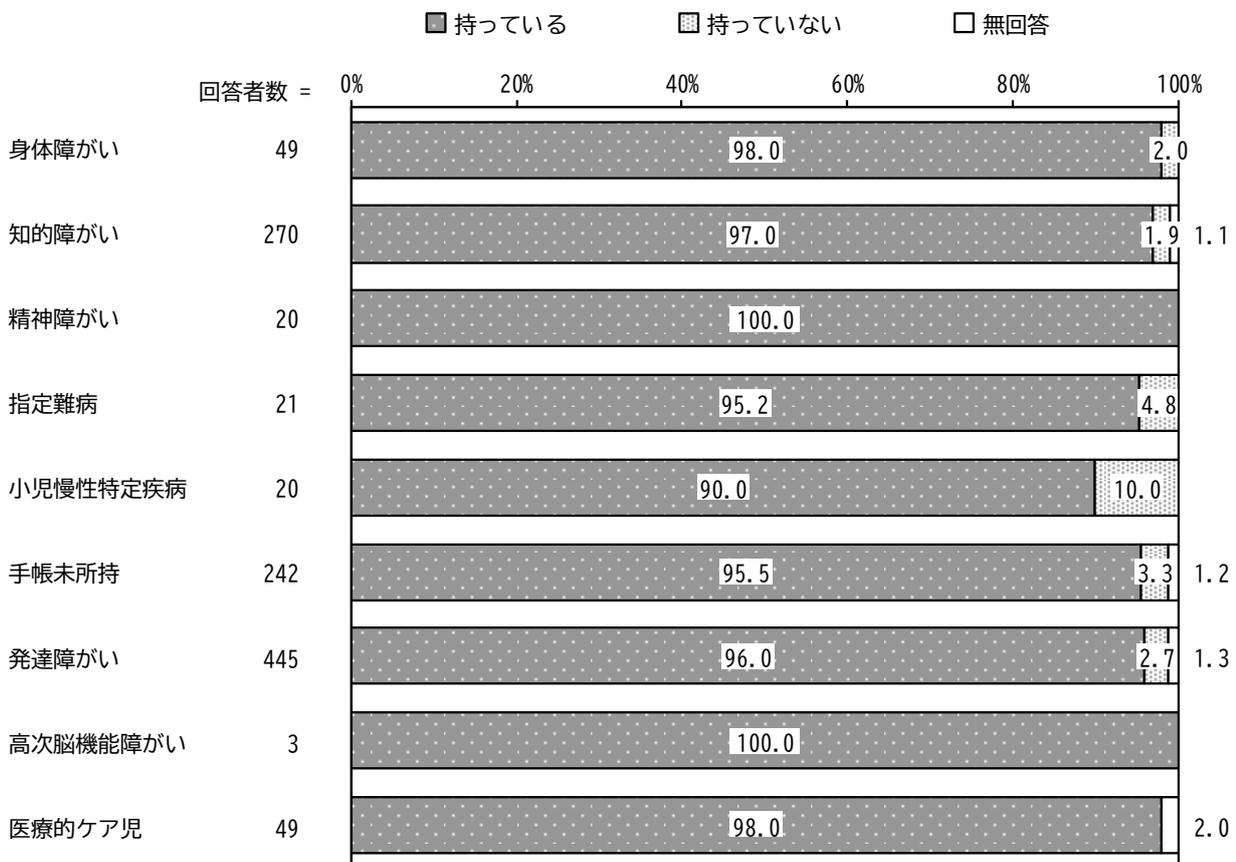
問7 あなたは、福祉サービス受給者証を持っていますか。(〇は1つ)

「持っている」の割合が96.0%、「持っていない」の割合が2.7%となっています。



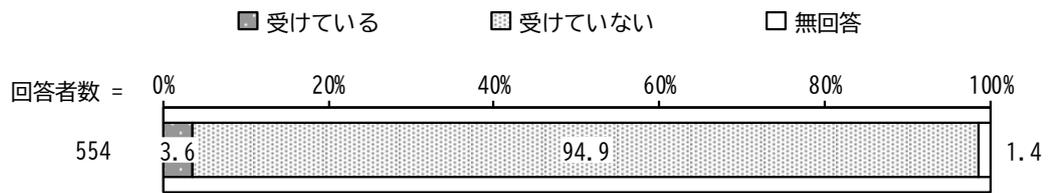
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて小児慢性特定疾病で「持っていない」の割合が高くなっています。



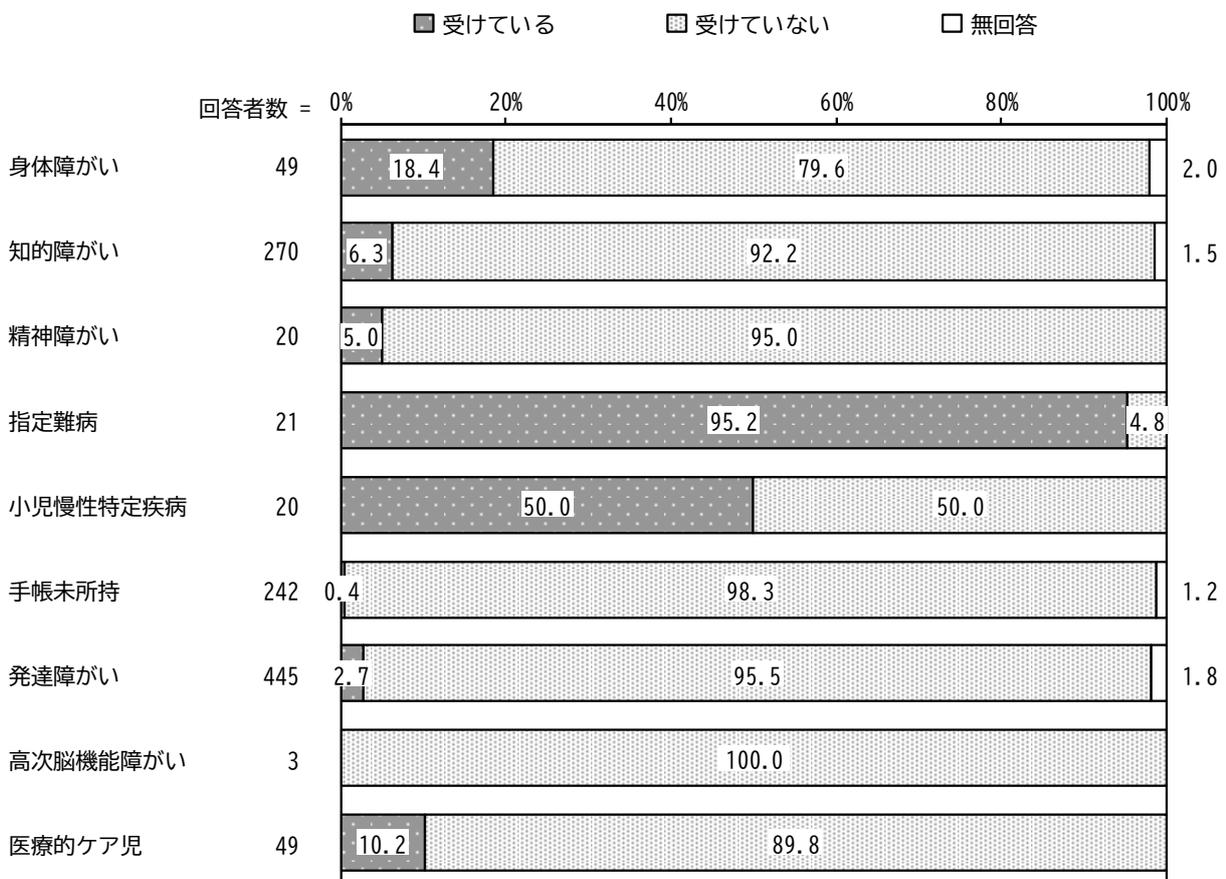
問8 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は1つ）

「受けている」の割合が3.6%、「受けていない」の割合が94.9%となっています。



【障がい種別】

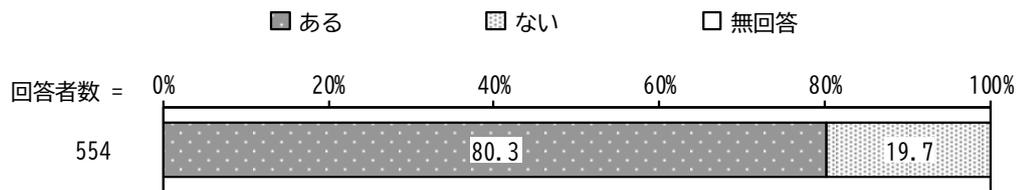
障がい種別にみると、全体と比べて小児慢性特定疾病で「受けている」の割合が高くなっています。



※「指定難病」については、問5で特定医療費受給者証を持っていると回答した人、または問8で認定を受けたと回答した人を集計対象としているため、上記で「受けている」と答えた人の割合は100%にはなりません。

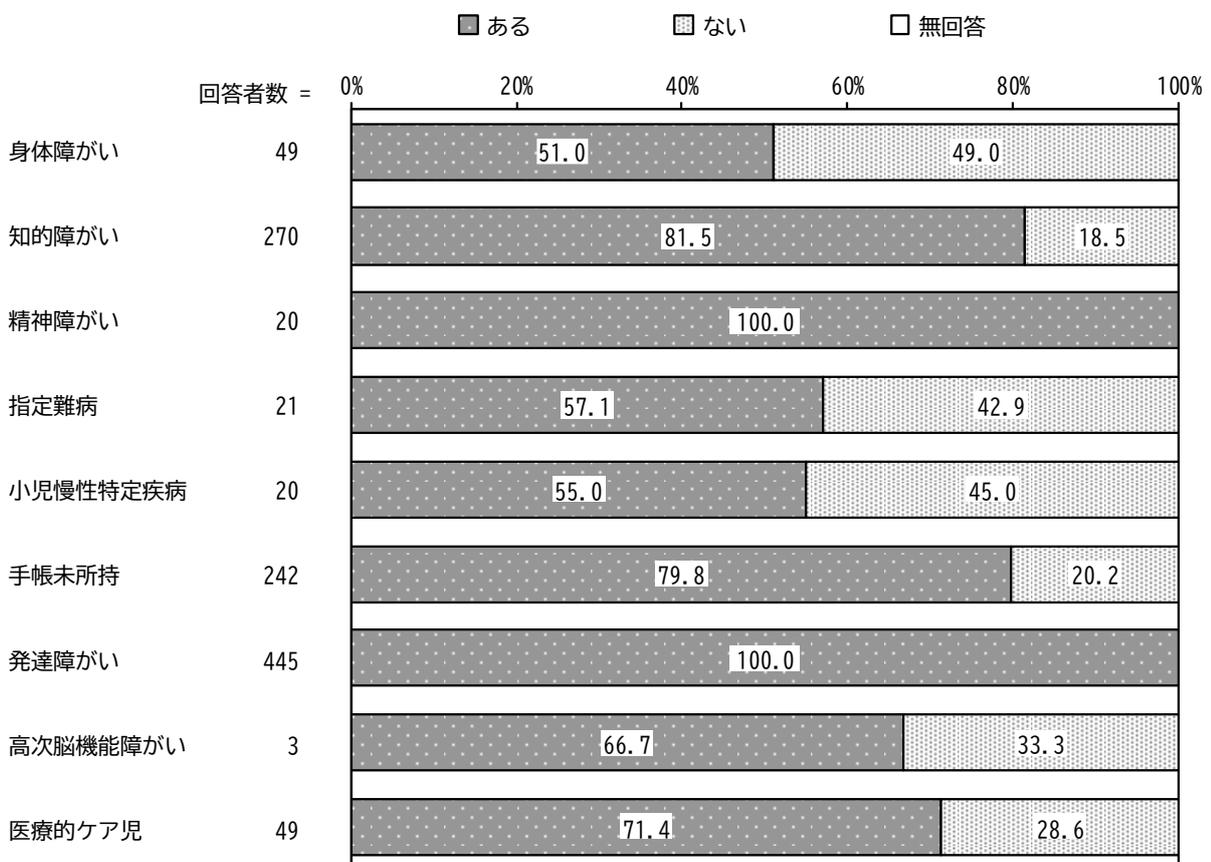
問9 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が80.3%、「ない」の割合が19.7%となっています。



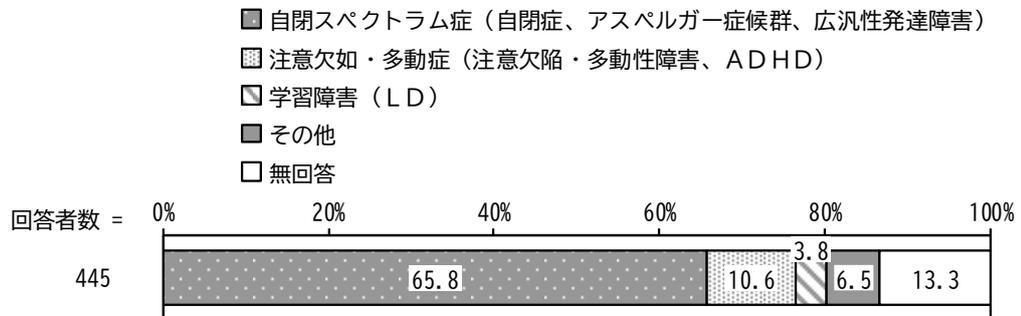
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいで「ない」の割合が高くなっています。



問9-1 問9で「ある」と答えた方におたずねします。どのような診断を受けていますか。
(○は1つ)

「自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」の割合が 65.8%、「注意欠如・多動症（注意欠陥・多動性障害、ADHD）」の割合が 10.6%、「学習障害（LD）」の割合が 3.8% となっています。

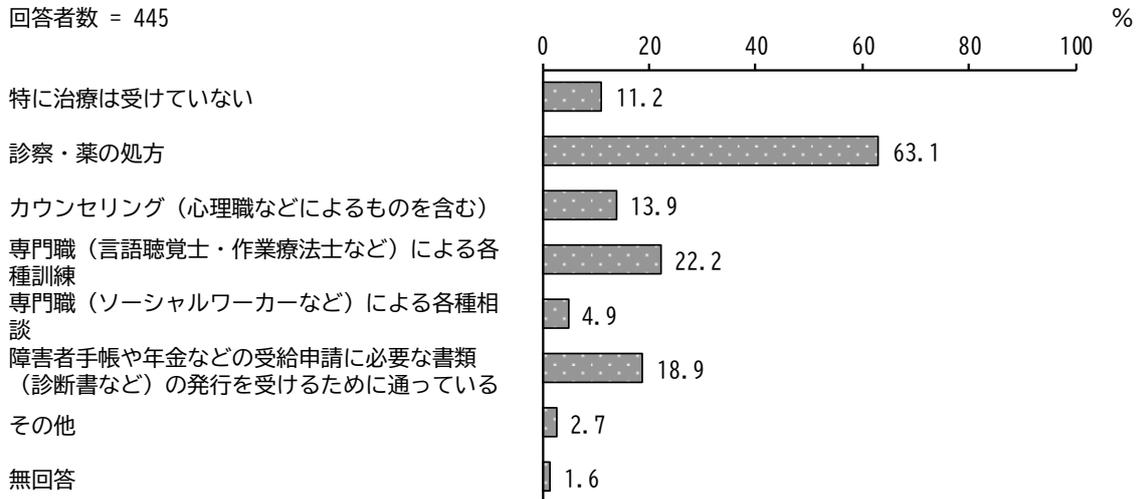


その他の記載内容は次のとおりです。

区 分	記載内容
身体障がい	・精神運動発達遅滞（発達障がい）
知的障がい	・ダウン症（同一回答3件）（発達障がい） ・コーエン症候群（発達障がい） ・軽度知的能力障害（発達障がい） ・21トリソミー（発達障がい）
精神障がい	・境界知能（発達障がい）
指定難病	・歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症（発達障がい，医療的ケア児） ・アンジェルマン症候群（小児慢性特定疾病，医療的ケア児）
発達障がい	・DCD（手帳未所持） ・言語発達遅滞、軽度運動発達遅滞（手帳未所持） ・限局性学習障害 ・ReNU症候群

問9-2 問9で「ある」と答えた方におたずねします。現在、定期的に医療機関で治療などを受けていますか。(〇はいくつでも)

「診察・薬の処方」の割合が63.1%と最も高く、次いで「専門職（言語聴覚士・作業療法士など）による各種訓練」の割合が22.2%、「障害者手帳や年金などの受給申請に必要な書類（診断書など）の発行を受けるために通っている」の割合が18.9%となっています。

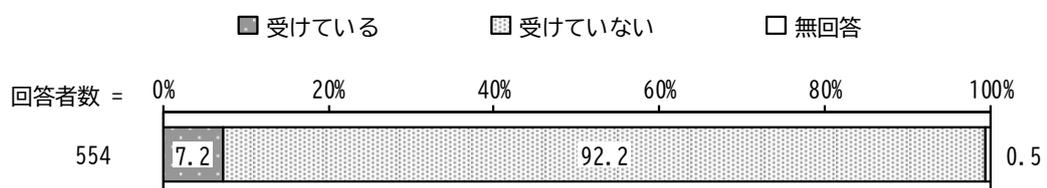


その他の記載内容は次のとおりです。

区 分	記載内容
知的障がい	・週一回酵素補充（指定難病，小児慢性特定疾病，発達障がい）
手帳未所持	・医療機関ではないが、支援事業所に通っている（発達障がい，医療的ケア児）
発達障がい	・相談 ・半年に一度に様子を伝えている

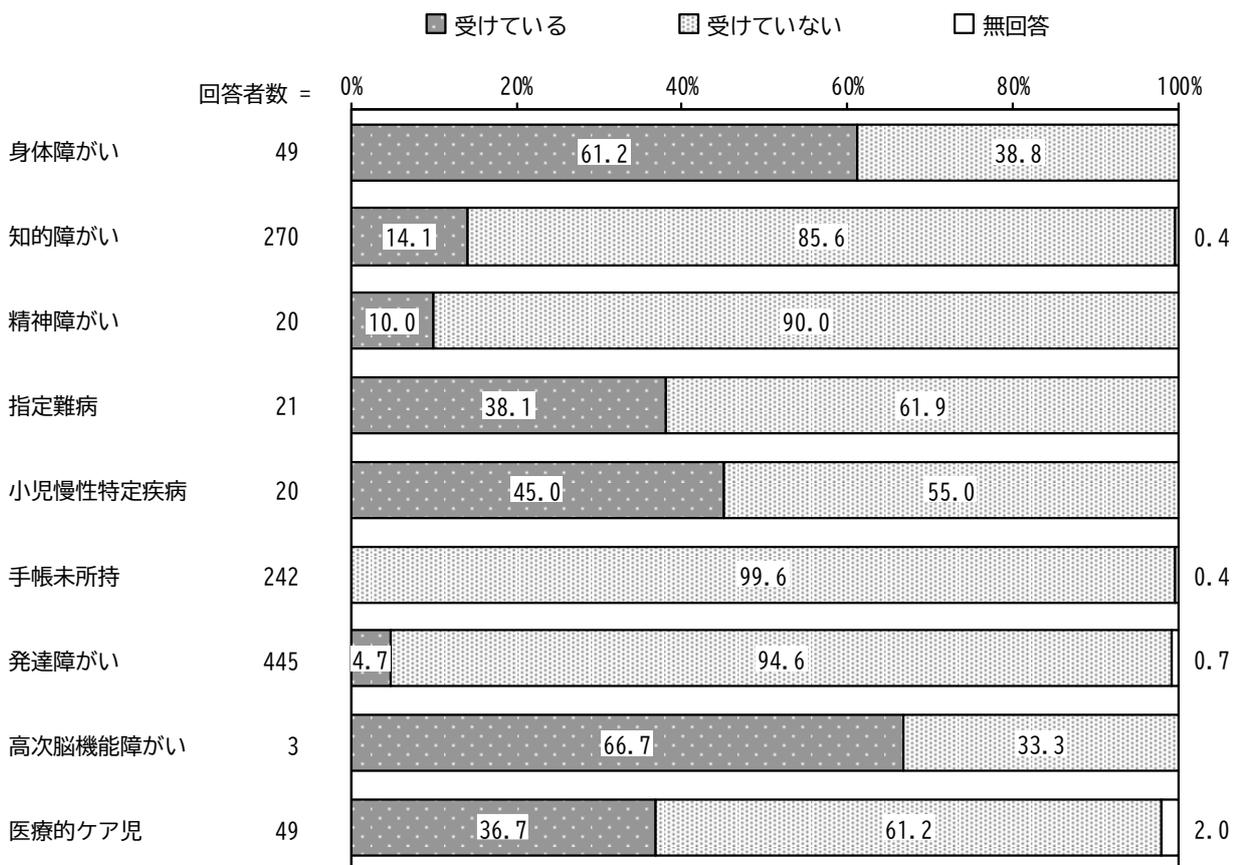
問10 あなたは重症心身障害の認定を受けていますか。(〇は1つ)

「受けている」の割合が7.2%、「受けていない」の割合が92.2%となっています。



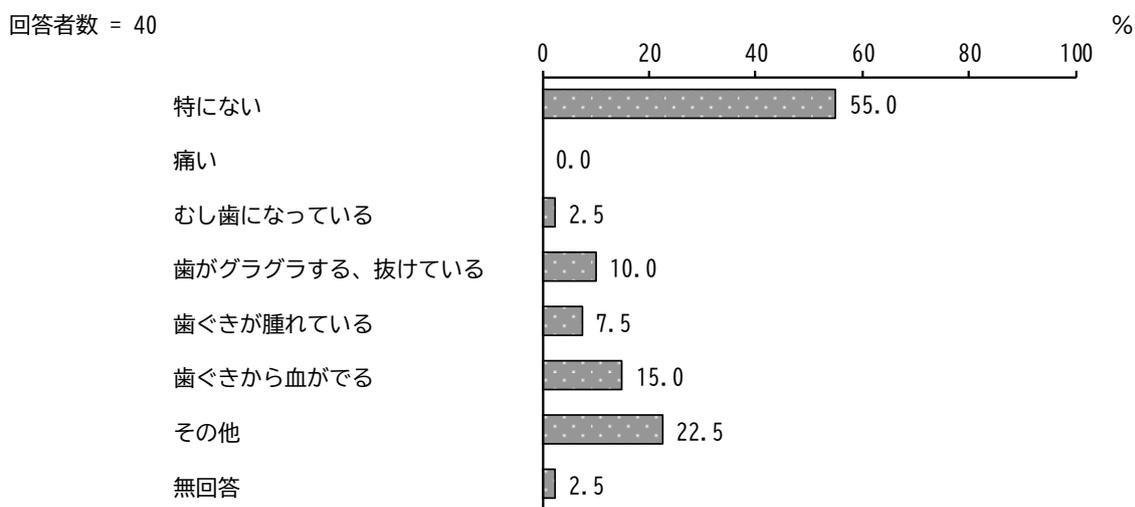
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいで「受けている」の割合が高くなっています。



問10-1 問10で「受けている」と答えた方におたずねします。あなたは、現在お口の中で気になるところはありますか。(〇はいいくつでも)

「歯ぐきから血がでる」の割合が15.0%と最も高く、次いで「歯がグラグラする、抜けている」の割合が10.0%となっています。

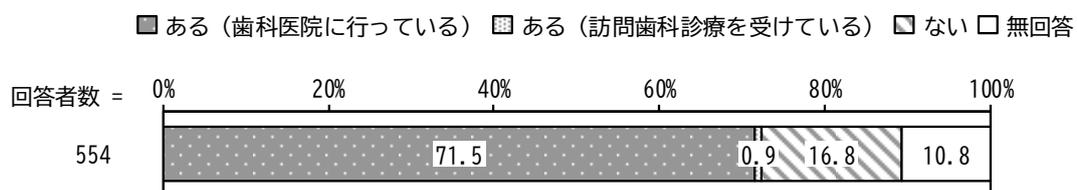


その他の記載内容は次のとおりです。

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口内炎がよくできる（指定難病，発達障がい，医療的ケア児） ・ 歯ならび、歯ぎしり ・ 舌に汚れがたまっている（医療的ケア児）
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯並びが悪い（同一回答4件）（発達障がい）

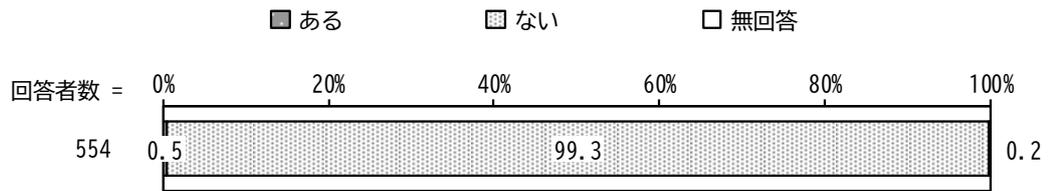
問 10-2 あなたは、かかりつけの歯科医院がありますか。（○は1つ）

「ある（歯科医院に行っている）」の割合が71.5%、「ある（訪問歯科診療を受けている）」の割合が0.9%、「ない」の割合が16.8%となっています。



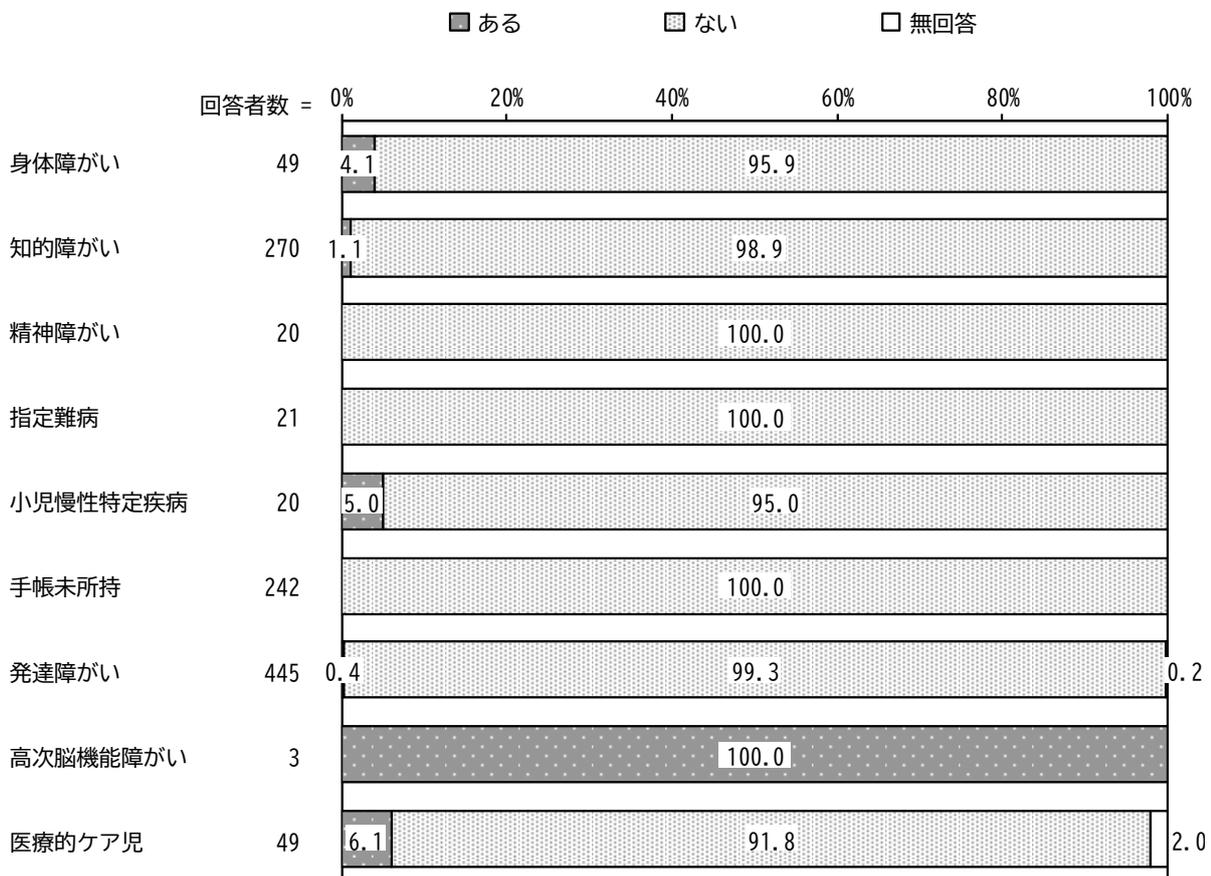
問 11 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が0.5%、「ない」の割合が99.3%となっています。



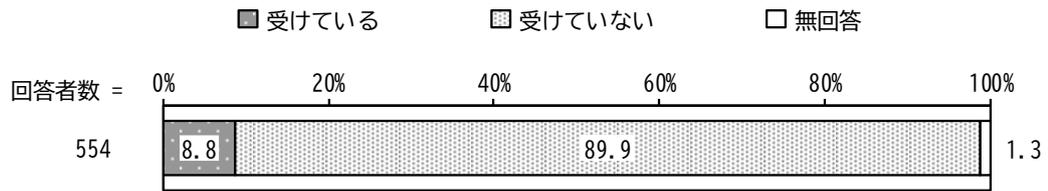
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて身体障がい、小児慢性特定疾病、医療的ケア児で「ある」の割合が高くなっています。



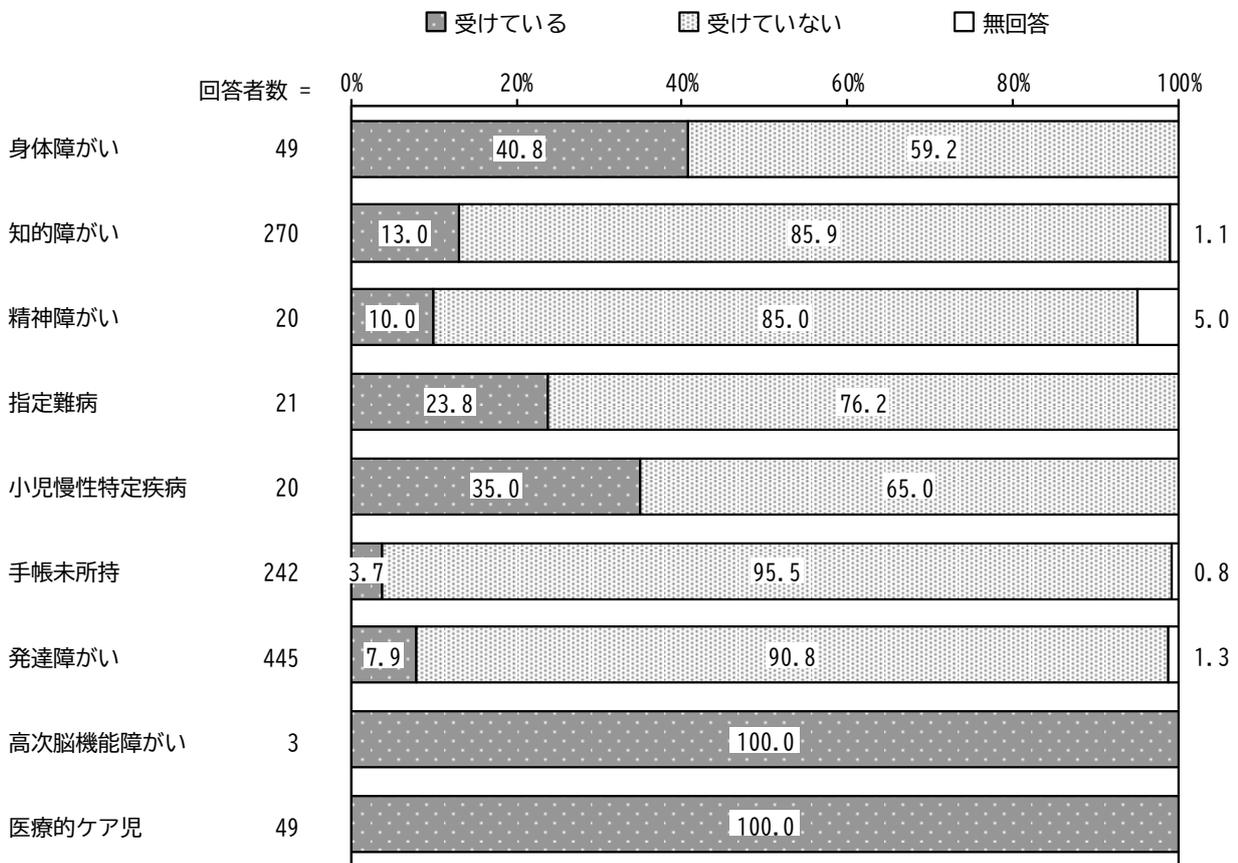
問12 あなたは現在医療的ケアを受けていますか。(○は1つ)

「受けている」の割合が8.8%、「受けていない」の割合が89.9%となっています。



【障がい種別】

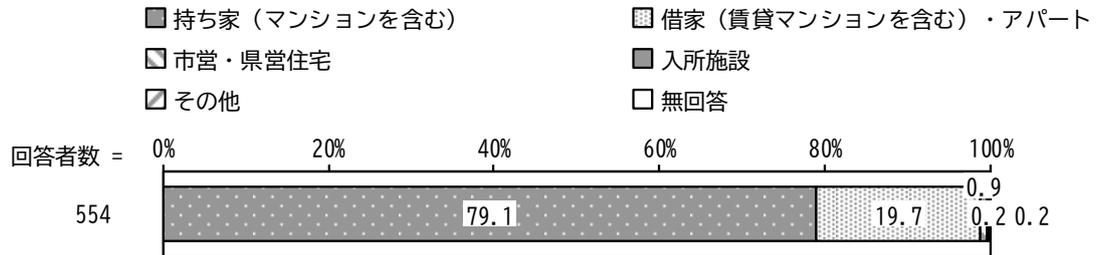
障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「受けていない」の割合が高くなっています。



2. 生活の現状とニーズ

問13 あなたの住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

「持ち家(マンションを含む)」の割合が79.1%と最も高く、次いで「借家(賃貸マンションを含む)・アパート」の割合が19.7%となっています。

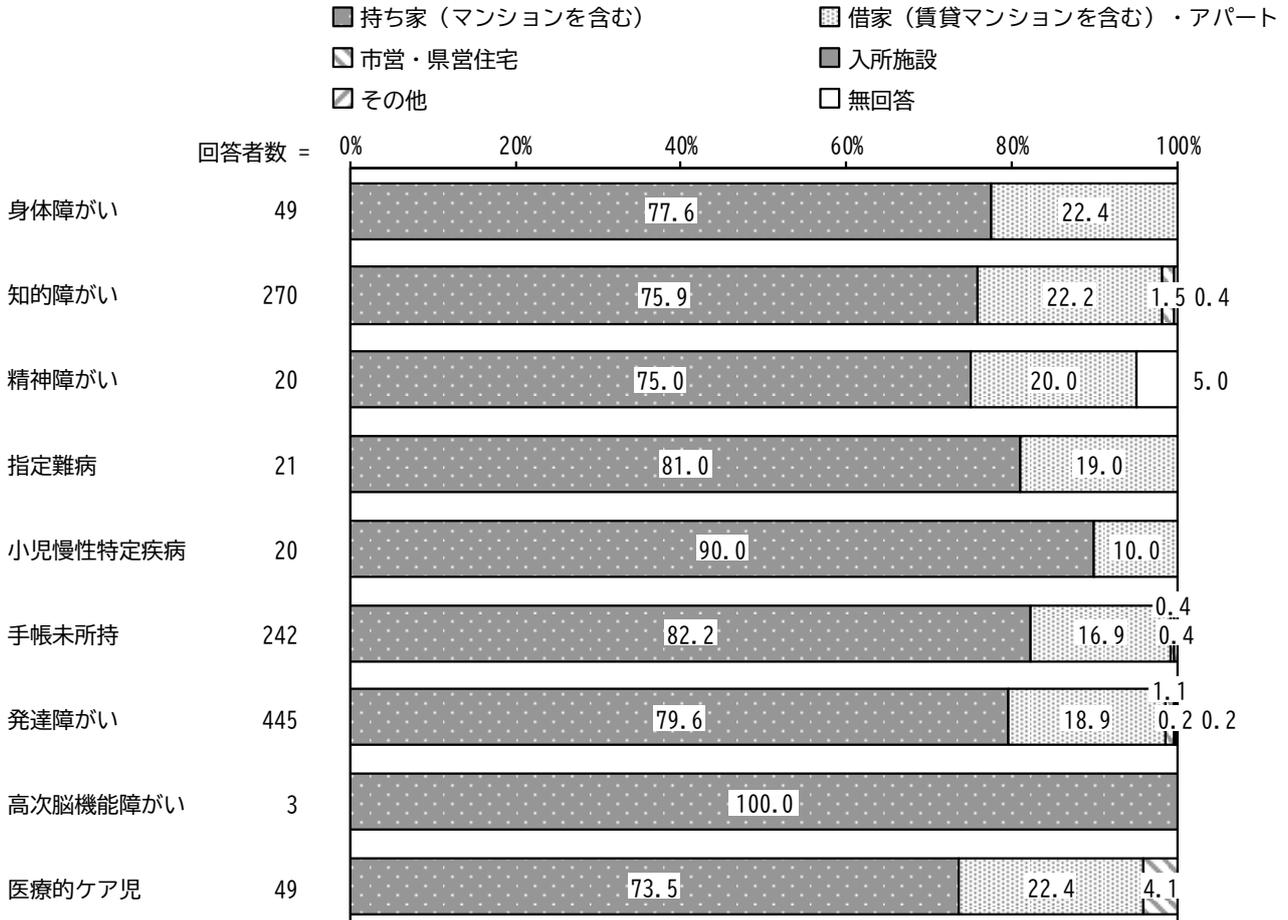


その他の記載内容は次のとおりです。

区 分	記載内容
手帳未所持	・家族所有の家(発達障がい)

【障がい種別】

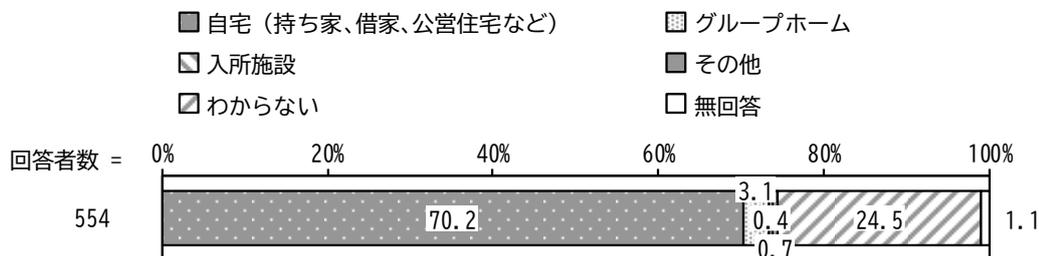
障がい種別にみると、全体と比べて小児慢性特定疾病で「持ち家(マンションを含む)」の割合が高くなっています。



問 14 これからの生活のご希望についておたずねします。

問 14-1 あなたは、学校卒業後の生活をどこで送りたいですか。(○は1つ)

「自宅（持ち家、借家、公営住宅など）」の割合が 70.2%、「グループホーム」の割合が 3.1%、「入所施設」の割合が 0.4%となっています。

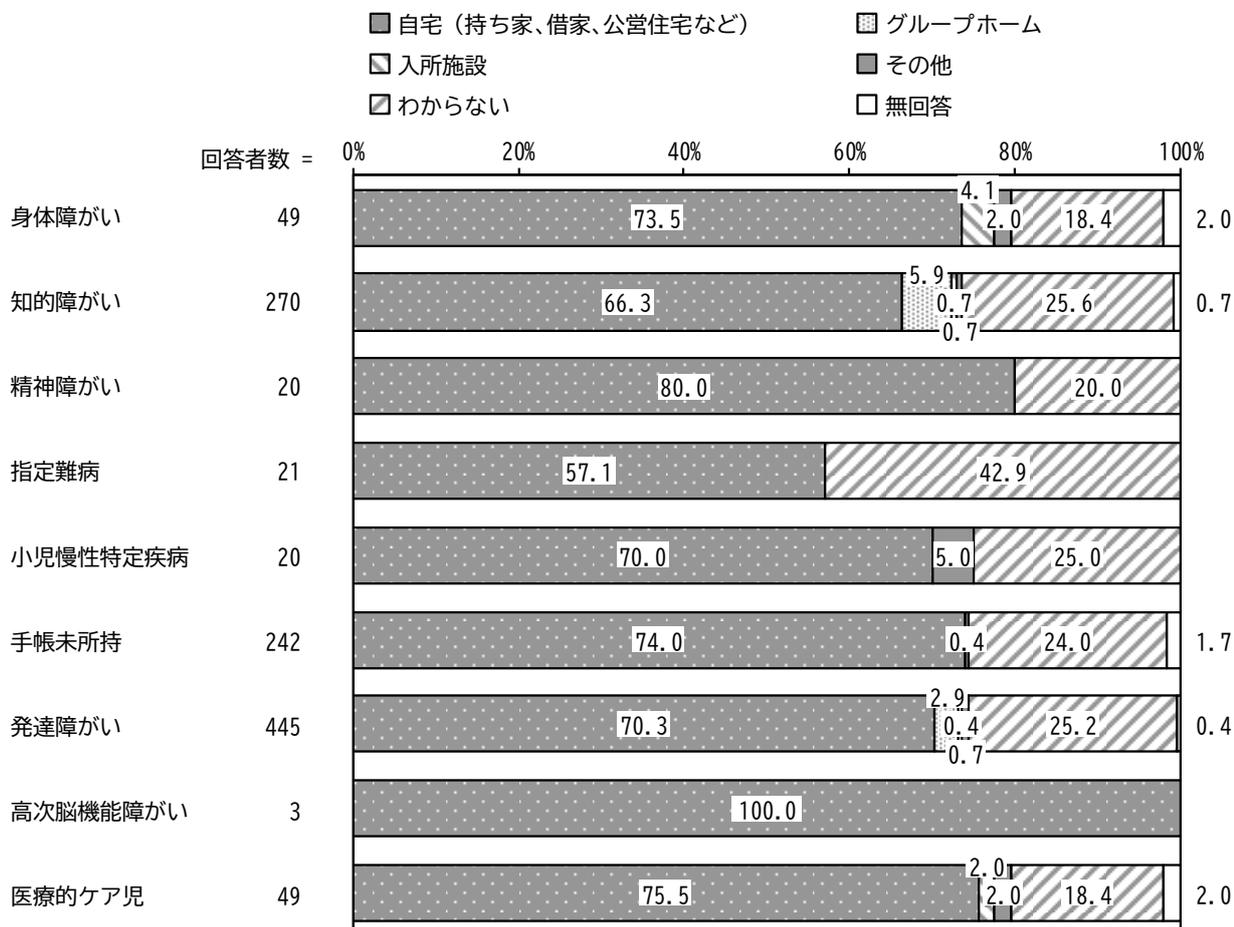


その他の記載内容は次のとおりです。

区 分	記載内容
身体障がい	・ 1人暮らし（小児慢性特定疾病）
手帳未所持	・ 高校の寮（発達障がい）

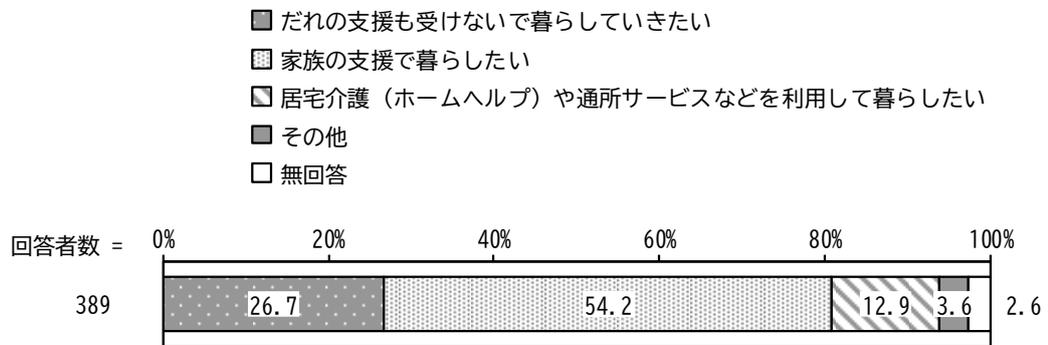
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて精神障がいでは「自宅（持ち家、借家、公営住宅など）」の割合が高くなっています。



問14-2 問14-1で「自宅」と答えた方におたずねします。これからの生活をどのように送りたいですか。(〇は1つ)

「だれの支援も受けなくて暮らしていきたい」の割合が26.7%、「家族の支援で暮らしたい」の割合が54.2%、「居宅介護（ホームヘルプ）や通所サービスなどを利用して暮らしたい」の割合が12.9%となっています。

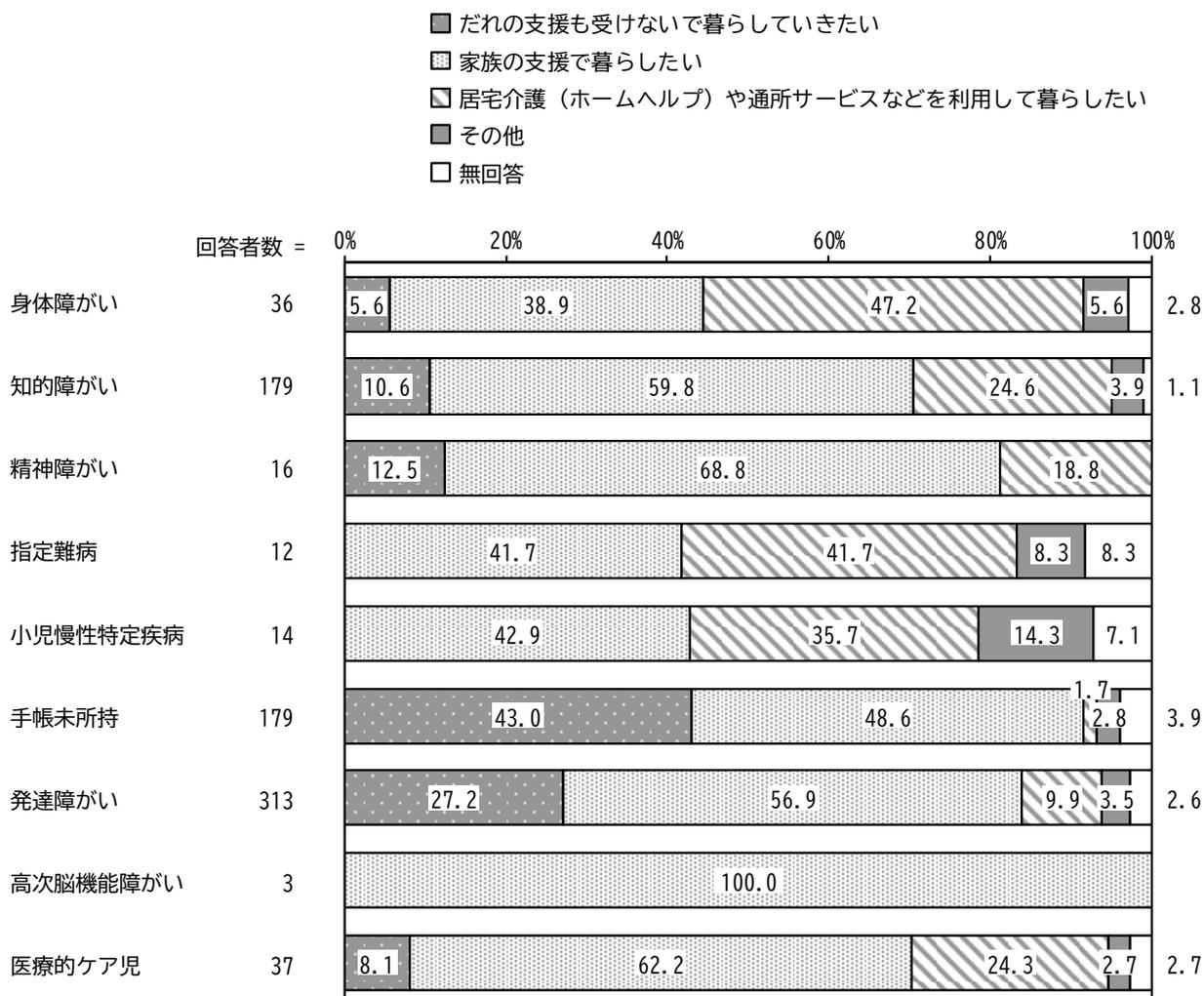


その他の記載内容は次のとおりです。

区分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族の支援で暮らしたい」と「居宅介護」を合わせて生活したい（指定難病，小児慢性特定疾病，医療的ケア児） ・将来の状況をみて考えたい
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思がわからない（同一回答2件）（発達障がい） ・親が元気なうちは自宅、その先は施設に入りたい（発達障がい） ・自宅より就労支援事業所で働きたい（発達障がい） ・家族と支え合いながら暮らしたい
小児慢性特定疾病	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない（発達障がい）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚相手と暮らしたい（発達障がい） ・小学生なのでまだ分かりません。親としては支援を受けず暮らせるようにと考えています（発達障がい） ・まだわからない
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない

【障がい種別】

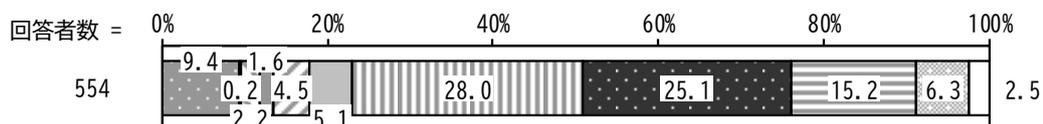
障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「だれの支援も受けなくて暮らしていきたい」、精神障がいや知的障がいなどで「家族の支援で暮らしたい」、身体障がいなどで「居宅介護（ホームヘルプ）や通所サービスなどを利用して暮らしたい」の割合が高くなっています。



問 14-3 現在通っている学校などを卒業したあとの進路をどのように考えていますか。（○は1つ）

「通常の学級・学校、専門学校、大学などに進学したい」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「特別支援学級、特別支援学校に進学したい」の割合が 25.1%、「考えていない」の割合が 15.2%となっています。

- 就職（一般就労）したい
- 自営業（家の仕事の手伝いを含む）
- 就労移行支援事業所を利用したい
- 就労継続支援A型事業所を利用したい
- 就労継続支援B型事業所を利用したい
- 生活介護事業所、障害者デイサービスセンターを利用したい
- 通常の学級・学校、専門学校、大学などに進学したい
- 特別支援学級、特別支援学校に進学したい
- 考えていない
- その他
- 無回答



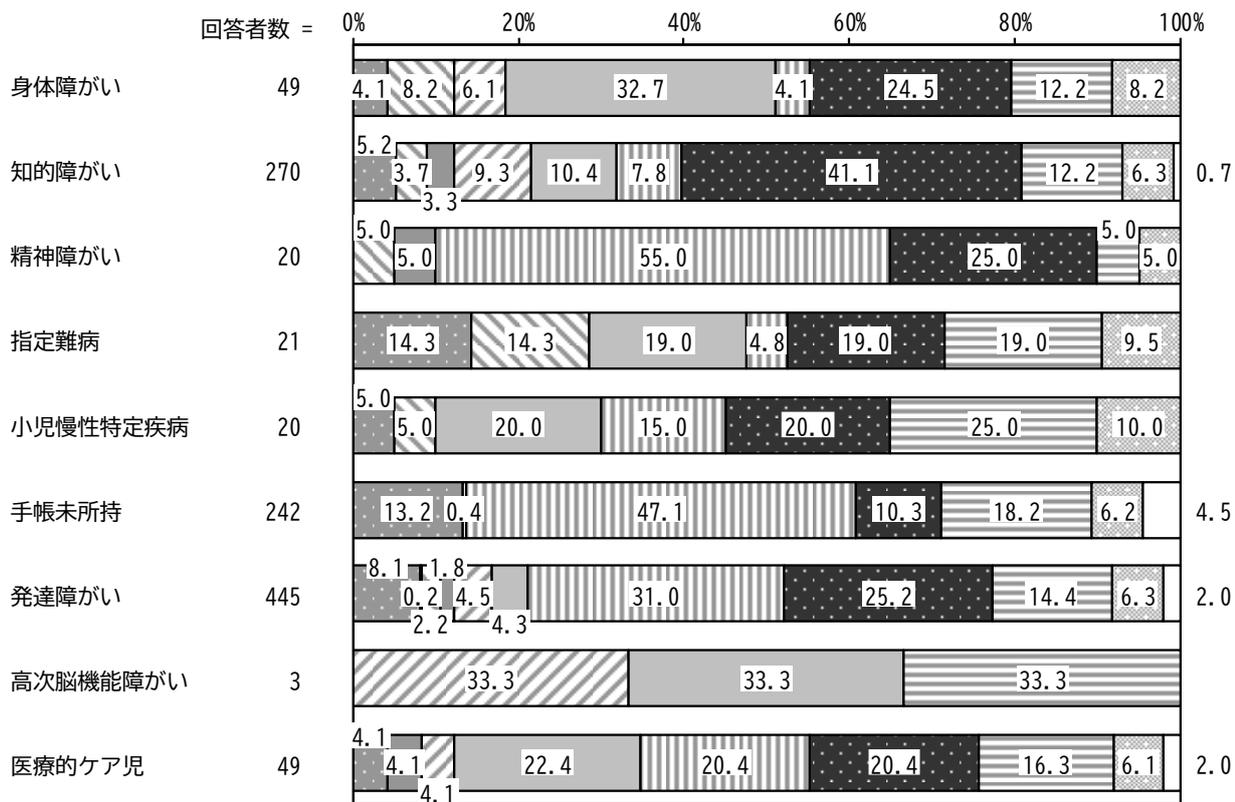
その他の記載内容は次のとおりです。

区 分	記載内容
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ決めていない（同一回答3件）（発達障がい） ・ 小学校に入学したばかりなのでまだ分からない（発達障がい） ・ 家族としてもどうしていいか分からないので、先生と相談しながら進路を決めていきたい。（発達障がい） ・ 大学に行きたいが進学できないと思う（発達障がい） ・ 生活介護などを利用したいが見学へ行くことも無理なので、行き先が正直ない。日中一時も考えてはいるが、本当にどうして良いか不明。他害、こだわりが強すぎて、時間に自宅を出発できない。（指定難病，小児慢性特定疾病，発達障がい，医療的ケア児）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常級か支援級かで迷っている（同一回答4件）（発達障がい，医療的ケア児） ・ 通信制高校（同一回答2件）（発達障がい） ・ 中学校進学（発達障がい） ・ まだ幼いためわからない（発達障がい）
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立訓練を利用したいと考えている

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて指定難病で「就労移行支援事業所を利用したい」、身体障がい「生活介護事業所、障害者デイサービスセンターを利用したい」、精神障がい「通常の学級・学校、専門学校、大学などに進学したい」、知的障がい「特別支援学級、特別支援学校に進学したい」の割合が高くなっています。

- 就職（一般就労）したい
- 自営業（家の仕事の手伝いを含む）
- 就労移行支援事業所を利用したい
- 就労継続支援A型事業所を利用したい
- 就労継続支援B型事業所を利用したい
- 生活介護事業所、障害者デイサービスセンターを利用したい
- 通常の学級・学校、専門学校、大学などに進学したい
- 特別支援学級、特別支援学校に進学したい
- 考えていない
- その他
- 無回答



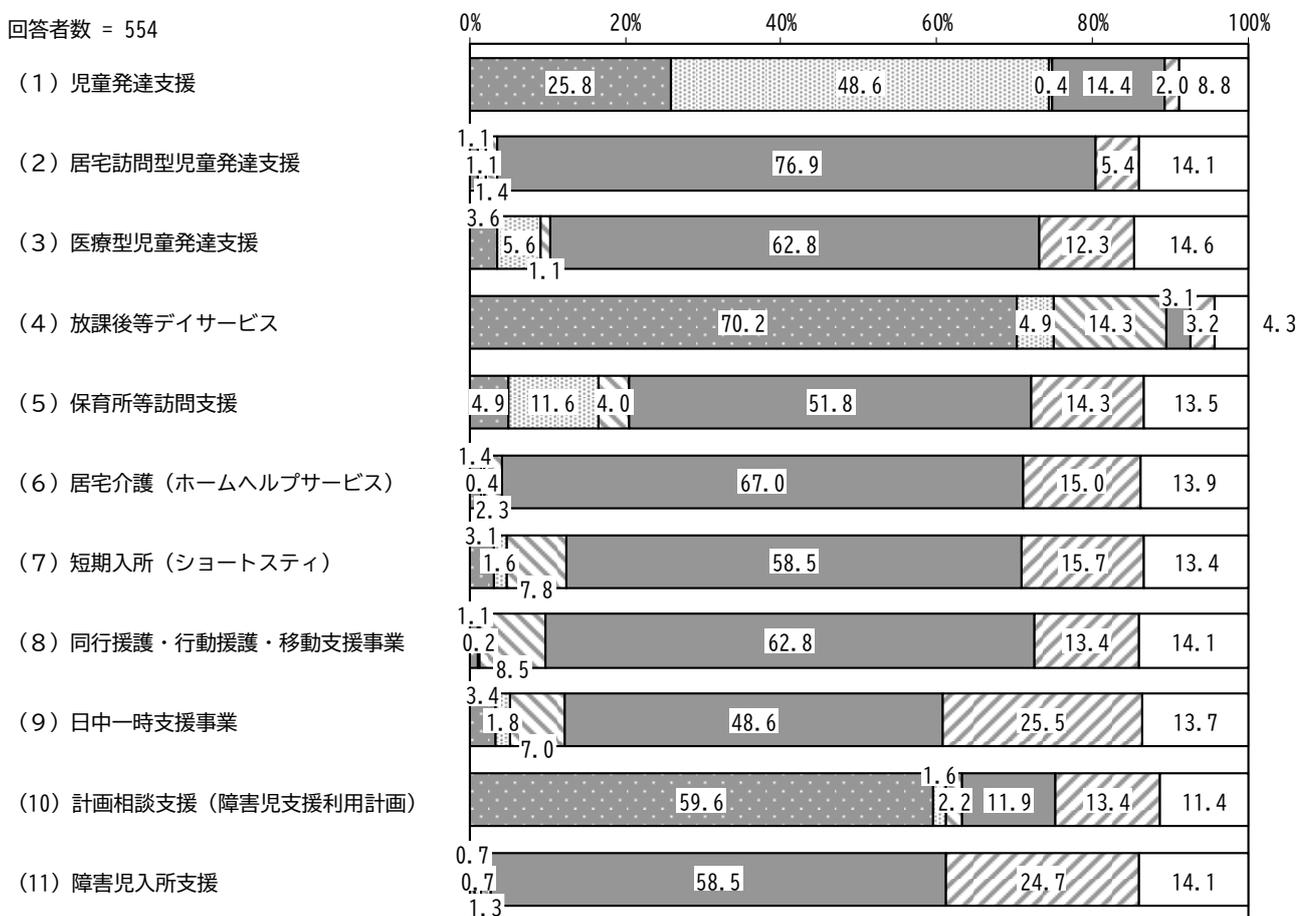
3. 生活支援サービス

問15 次の(1)～(11)のサービスのすべての項目について、「利用している」～「わからない」のあてはまる番号を右欄に記入してください。

『(4) 放課後等デイサービス』で「利用している」「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」が、『(1) 児童発達支援』で「今は利用していないが、利用したことはある」が、『(2) 居宅訪問型児童発達支援』で「利用したことはなく、今後も利用しない」が、『(9) 日中一時支援事業』で「わからない」が高くなっています。

- 利用している
- 今は利用していないが、利用したことはある
- 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- わからない
- 無回答

回答者数 = 554

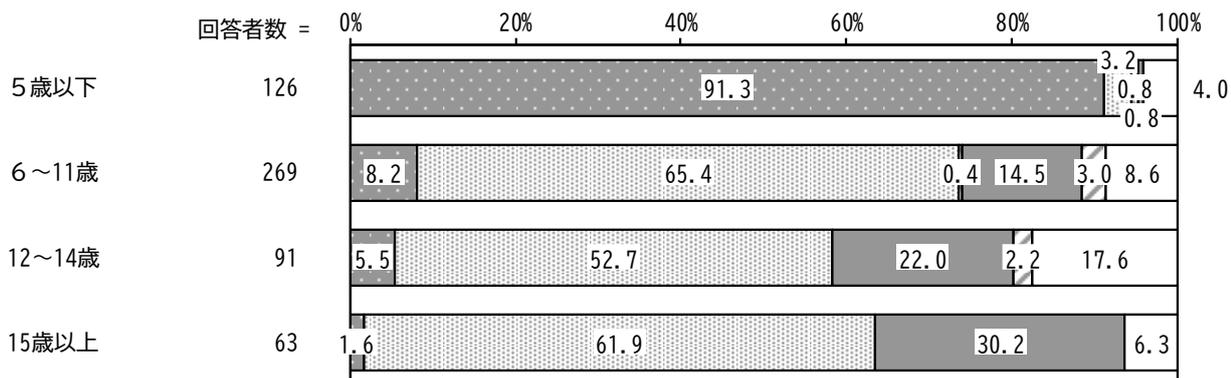


(1) 就学前の障がいのある児童やその家族が、通所により、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練などを受ける児童発達支援

【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて5歳以下で「利用している」、6～11歳で「今は利用していないが、利用したことはある」、15歳以上で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

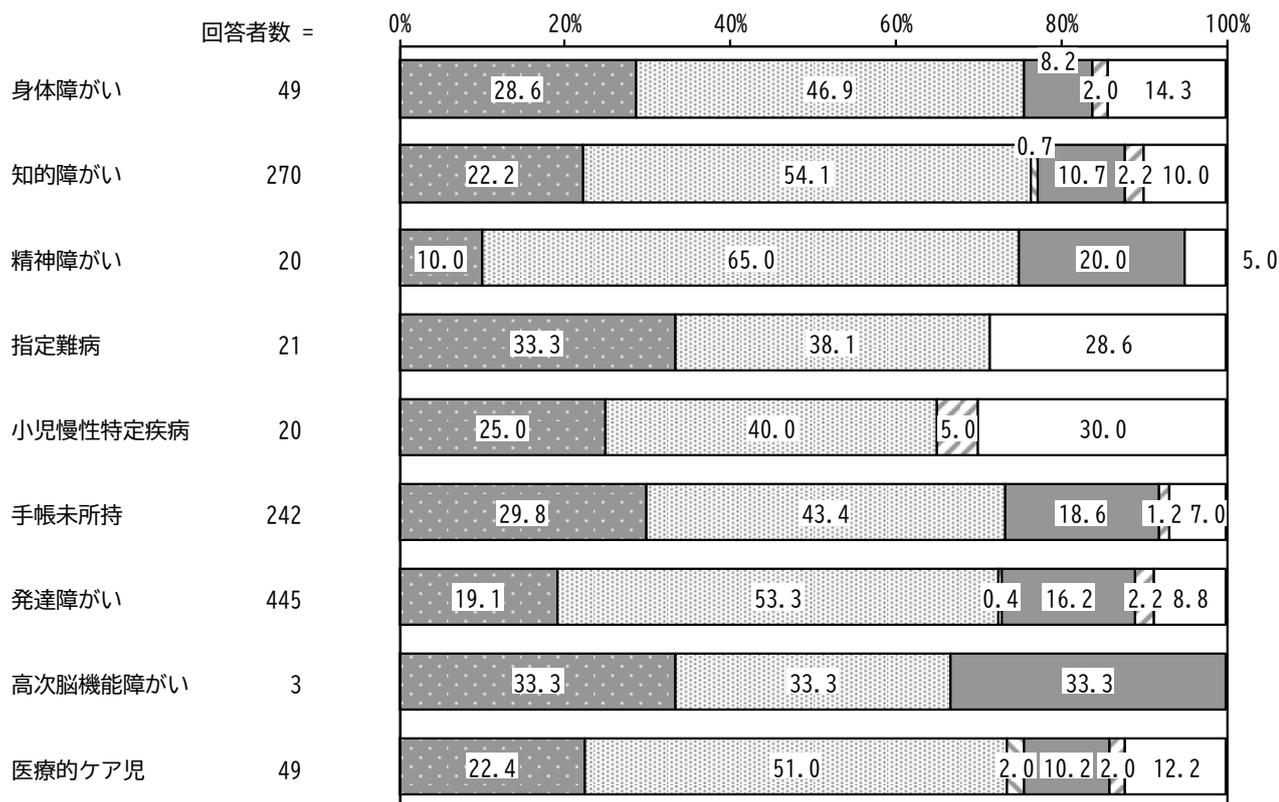
- 利用している
- 今は利用していないが、利用したことはある
- 利用したことはなく、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- わからない
- 無回答



【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて精神障がいで「今は利用していないが、利用したことはある」の割合が高く、「利用している」の割合が低くなっています。

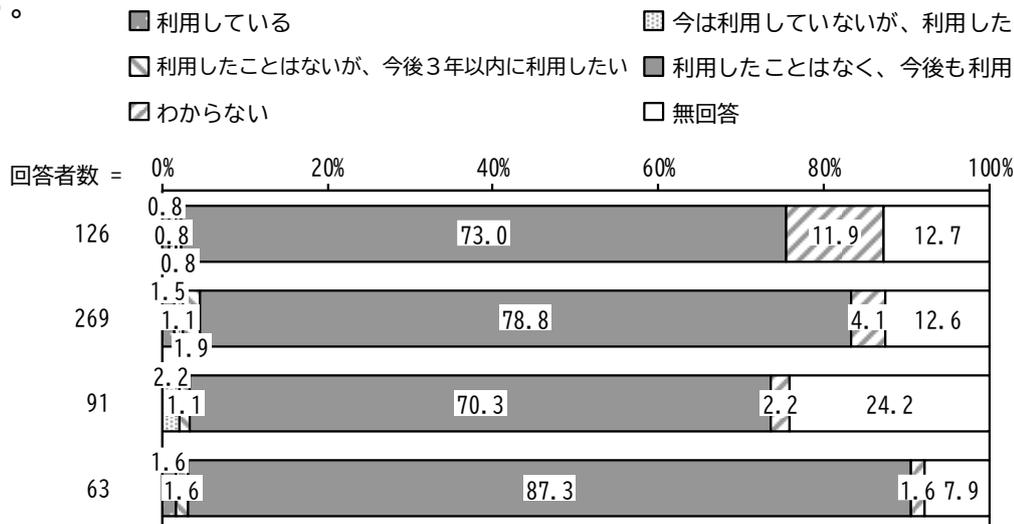
- 利用している
- 今は利用していないが、利用したことはある
- 利用したことはなく、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- わからない
- 無回答



(2) 外出することが困難な障がいのある児童の家を訪問し、(1)の児童発達支援を受ける居宅訪問型児童発達支援

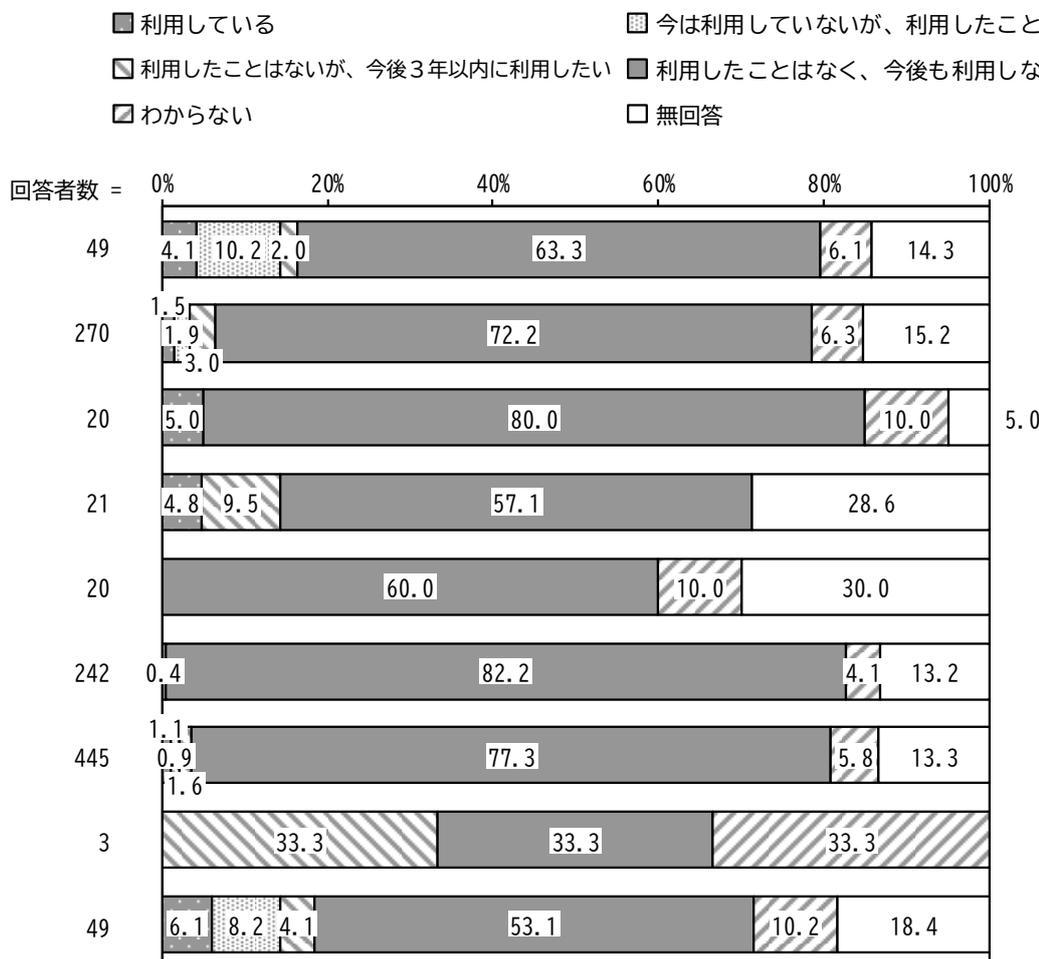
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると全体と比べて医療的ケア児で「利用している」「今は利用していないが、利用したことはある」、身体障がい「今は利用していないが、利用したことはある」、指定難病で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

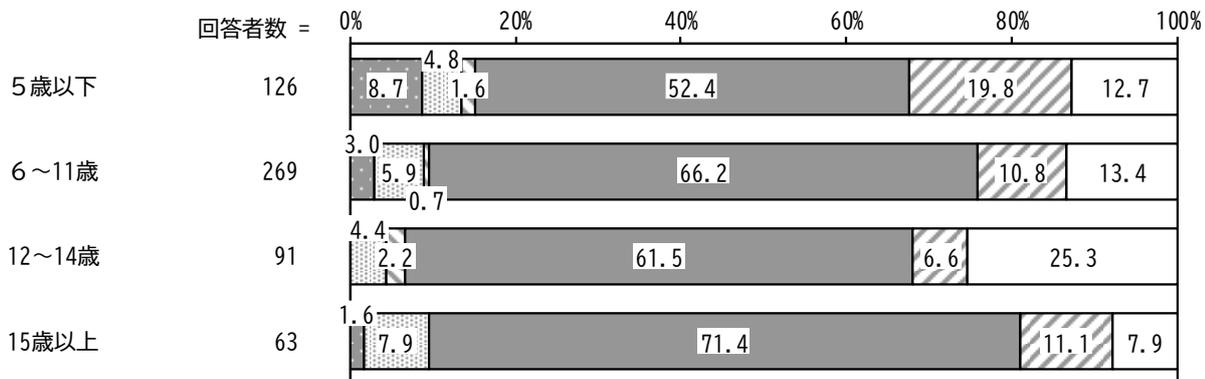


(3) (1) の児童発達支援および治療を受ける医療型児童発達支援

【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて5歳以下で「利用している」、15歳以上で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

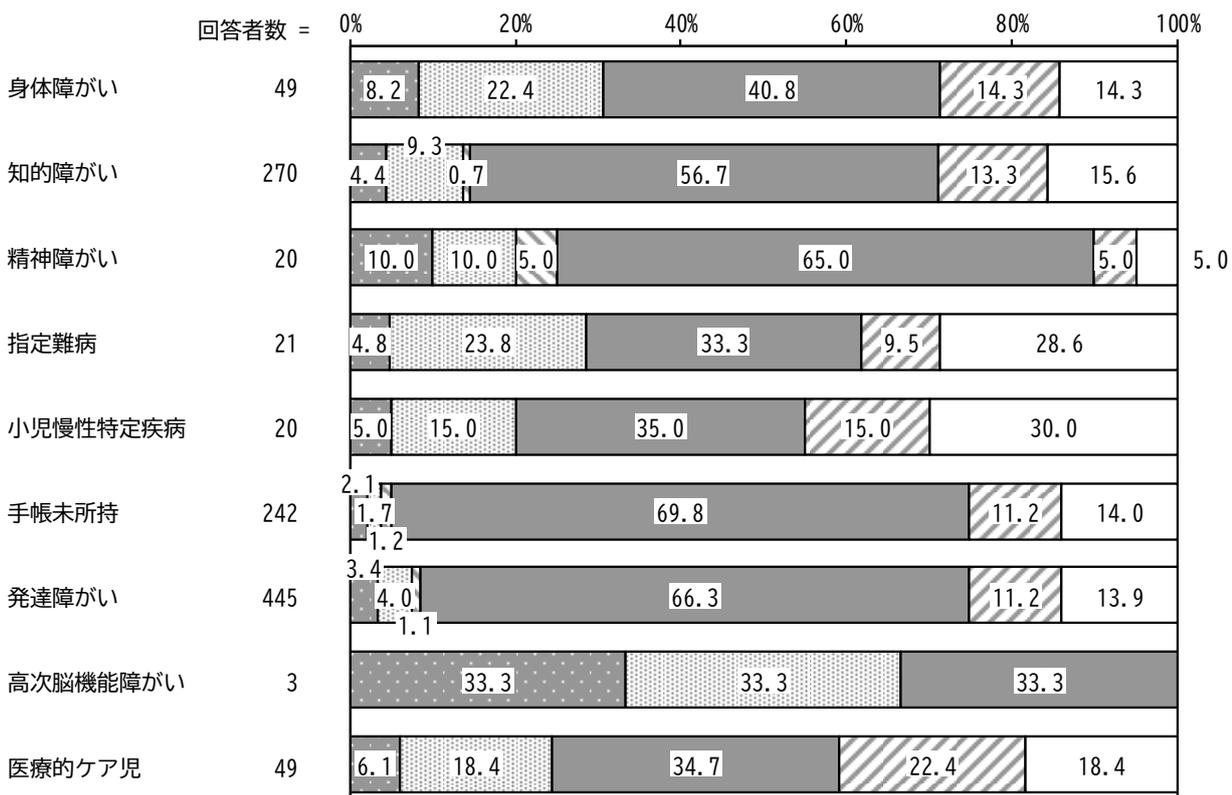
- 利用している
- 今は利用していないが、利用したことはある
- 利用したことはなく、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- わからない
- 無回答



【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいや知的障がいなどで「今は利用していないが、利用したことはある」の割合が高く、小児慢性特定疾病、医療的ケア児で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が低くなっています。また、指定難病で「今は利用していないが、利用したことはある」の割合が高く、「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が低くなっています。

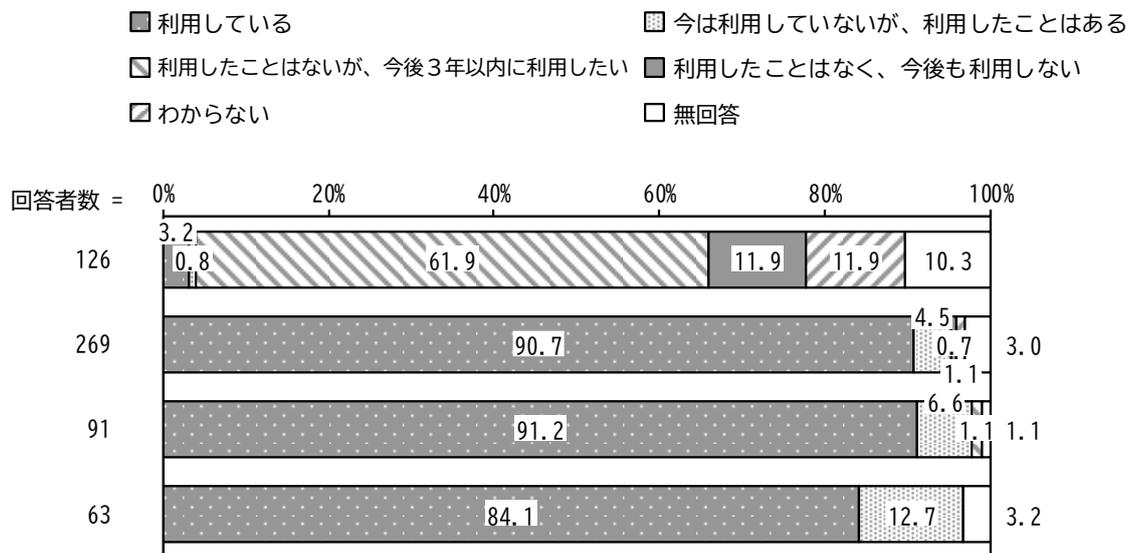
- 利用している
- 今は利用していないが、利用したことはある
- 利用したことはなく、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- わからない
- 無回答



(4) 放課後や夏休みなどの長期休暇中に、障がいのある児童が過ごす放課後等デイサービス

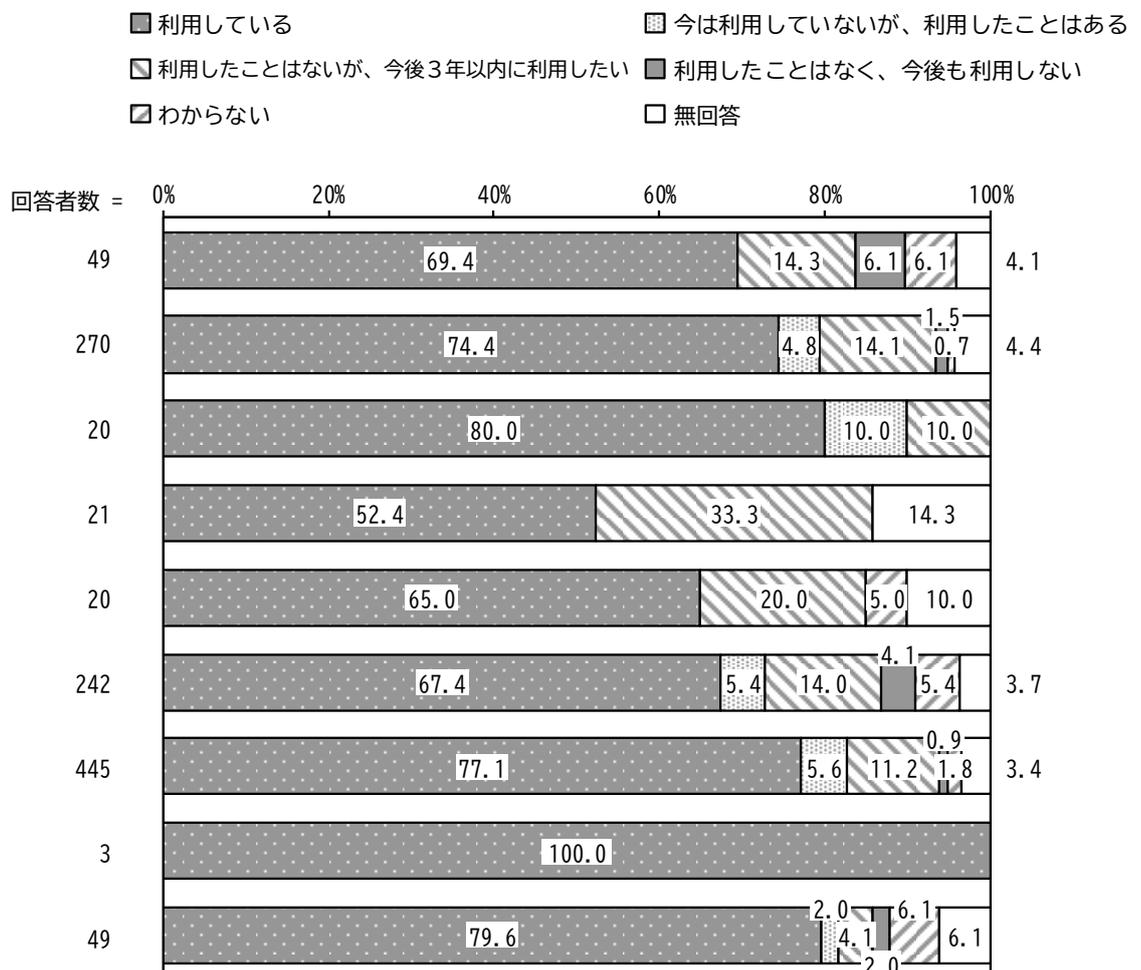
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて6～11歳、12～14歳で「利用している」、5歳以下で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて指定難病で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」の割合が高く、「利用している」の割合が低くなっています。

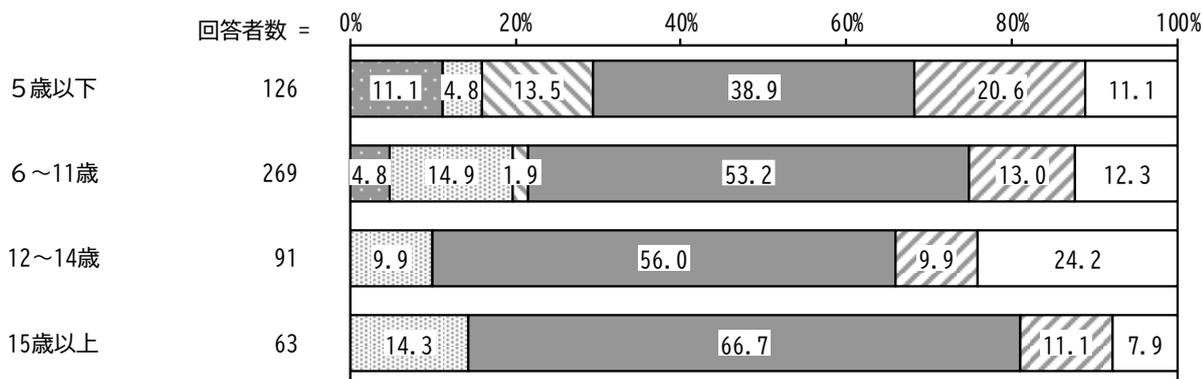


(5) 保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、特別支援学校などに通うまたは通う予定の障がいのある児童が、他の児童との集団生活への適応のための専門的支援を受ける保育所等訪問支援

【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて5歳以下で「利用している」「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、15歳以上で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

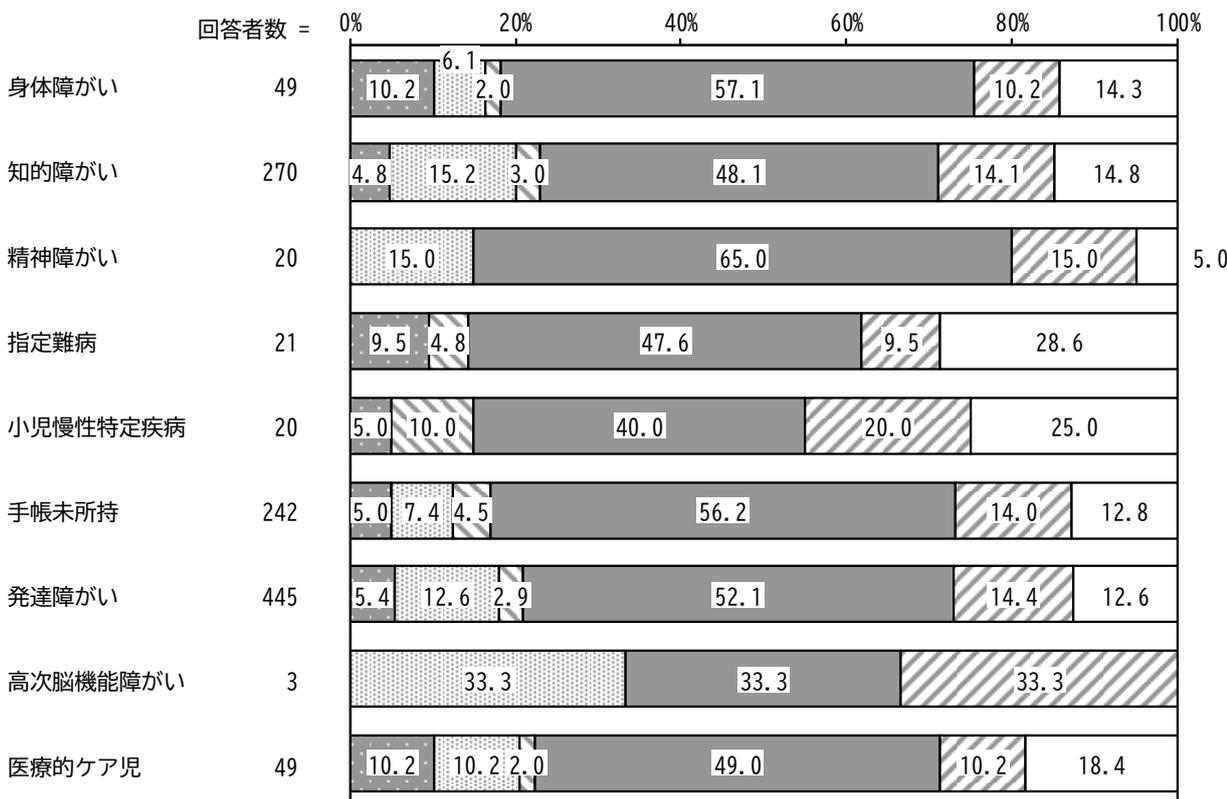
- 利用している
- 今は利用していないが、利用したことはある
- 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはないが、今後も利用しない
- わからない
- 無回答



【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて身体障がい、医療的ケア児で「利用している」、小児慢性特定疾病で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、精神障がい種別で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

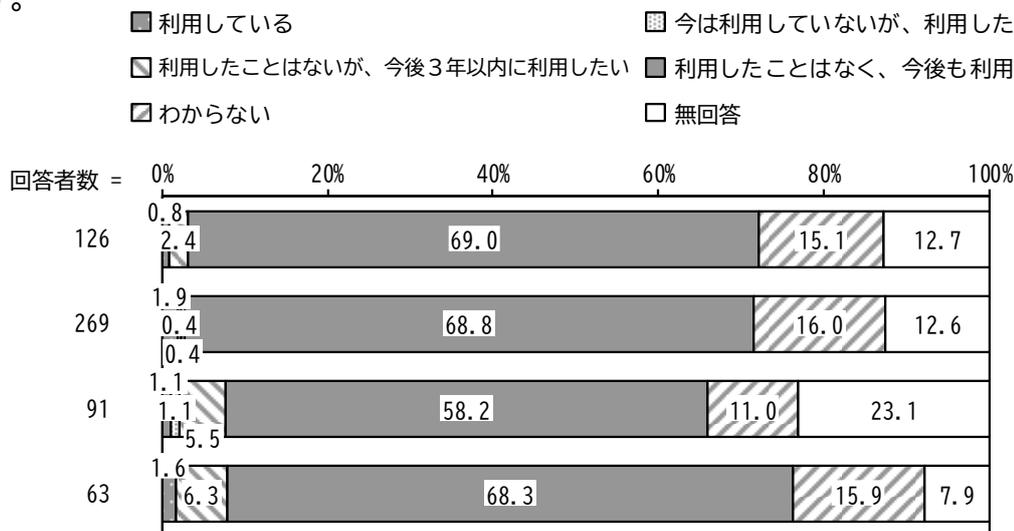
- 利用している
- 今は利用していないが、利用したことはある
- 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはないが、今後も利用しない
- わからない
- 無回答



(6) 自宅で入浴、排せつ、食事などの身体介護と、調理、洗濯、そうじなどの家事援助、通院などの支援を受ける居宅介護（ホームヘルプサービス）

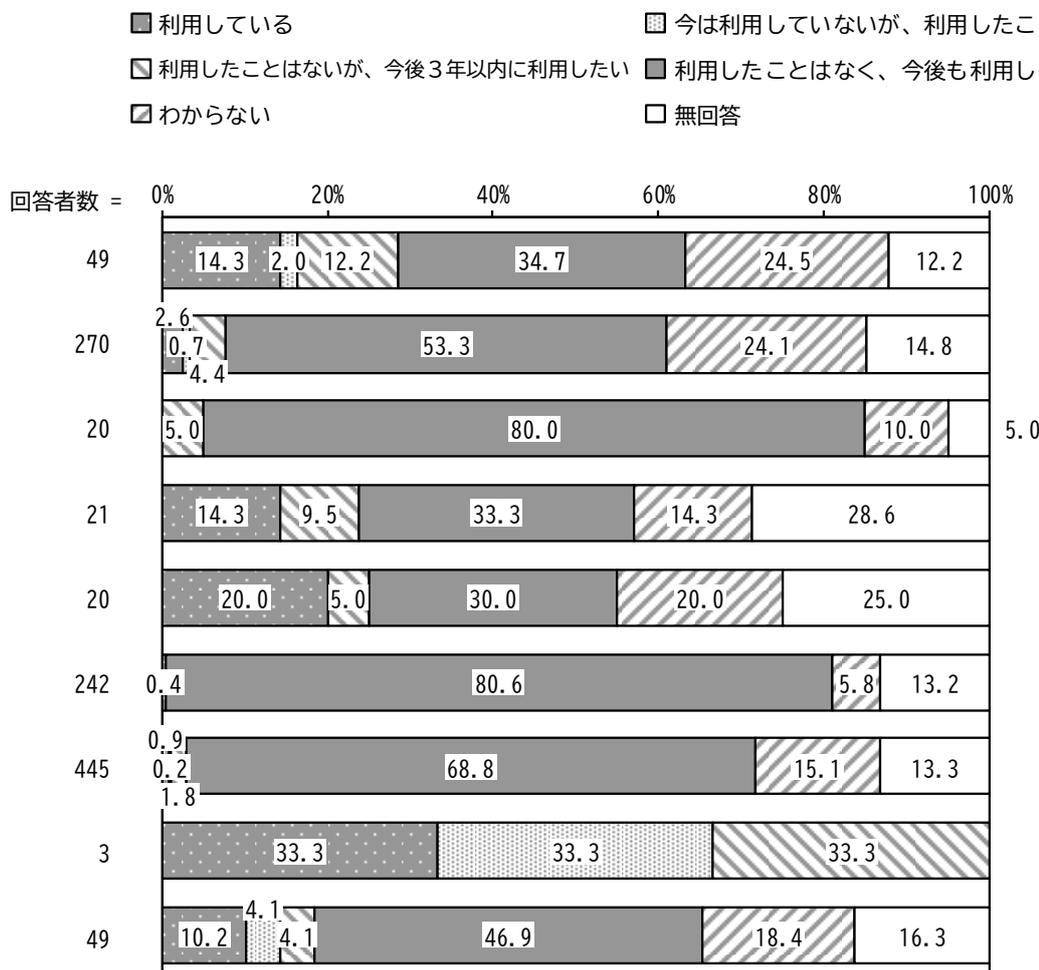
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて12～14歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が低くなっています。



【障がい種別】

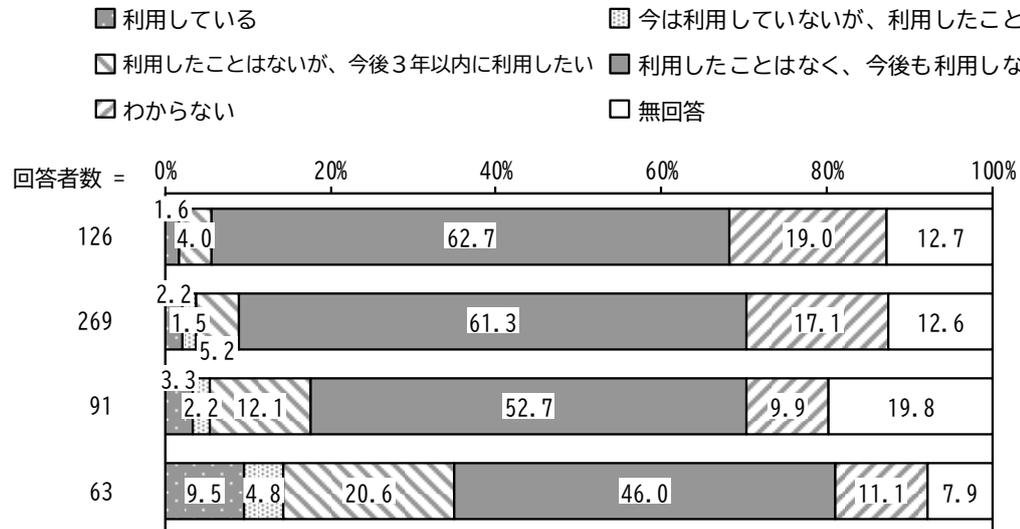
障がい種別にみると、全体と比べて小児慢性特定疾病で「利用している」、精神障がい、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



(7) 自宅で介護する人が病気の場合などに、施設に短いあいだ入所し、入浴、トイレ、食事などの介護を受ける短期入所（ショートステイ）

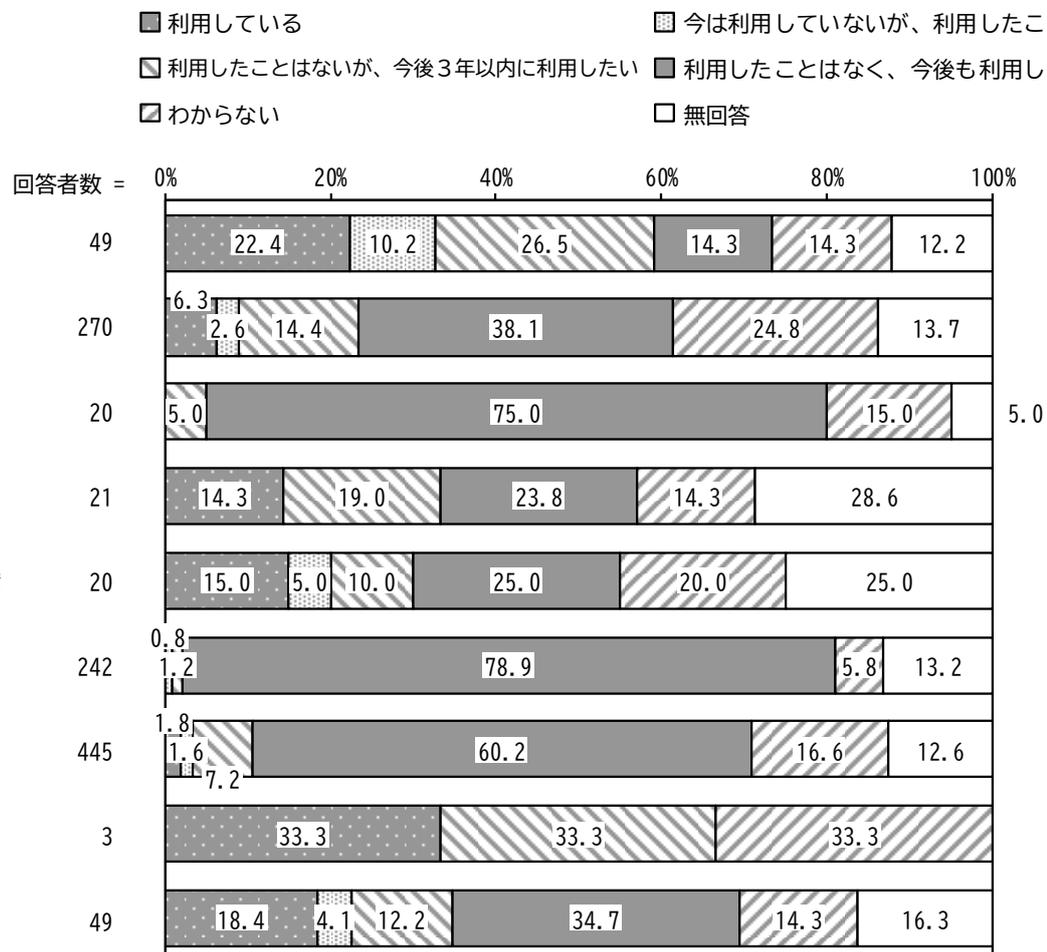
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」の割合が高く、「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が低くなっています。



【障がい種別】

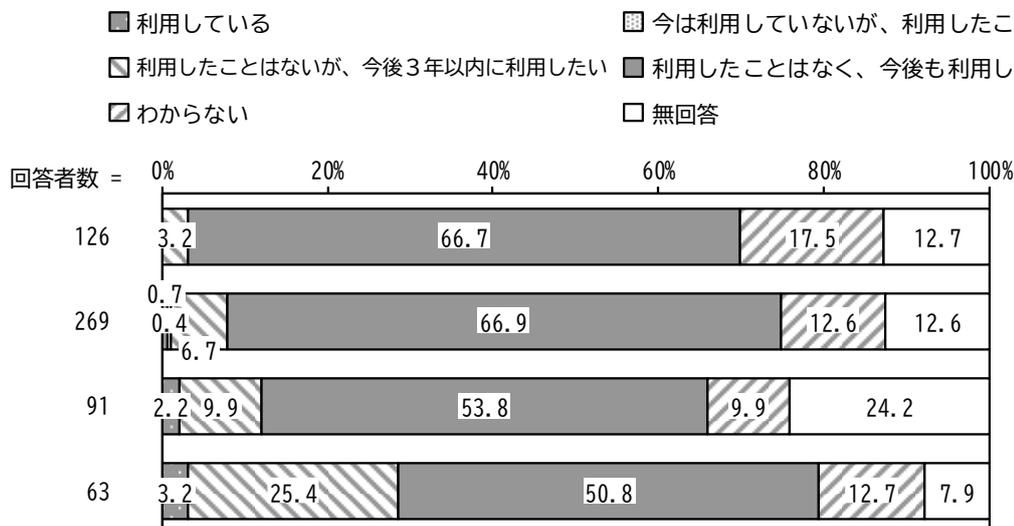
障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいや「利用している」「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、手帳未所持で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



(8) 外出することが困難な障がいのある人が、移動の援助などを受ける同行援護・行動援護・移動支援事業

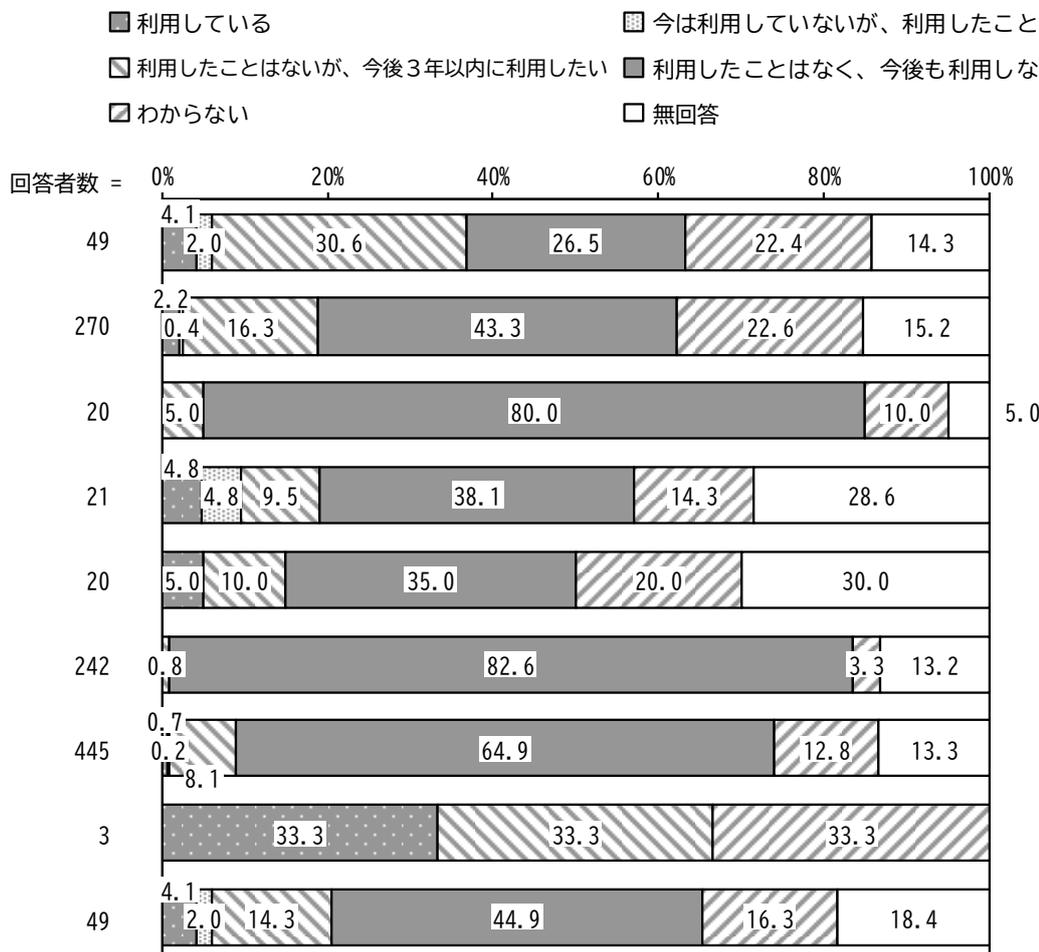
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」の割合が高く、「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が低くなっています。



【障がい種別】

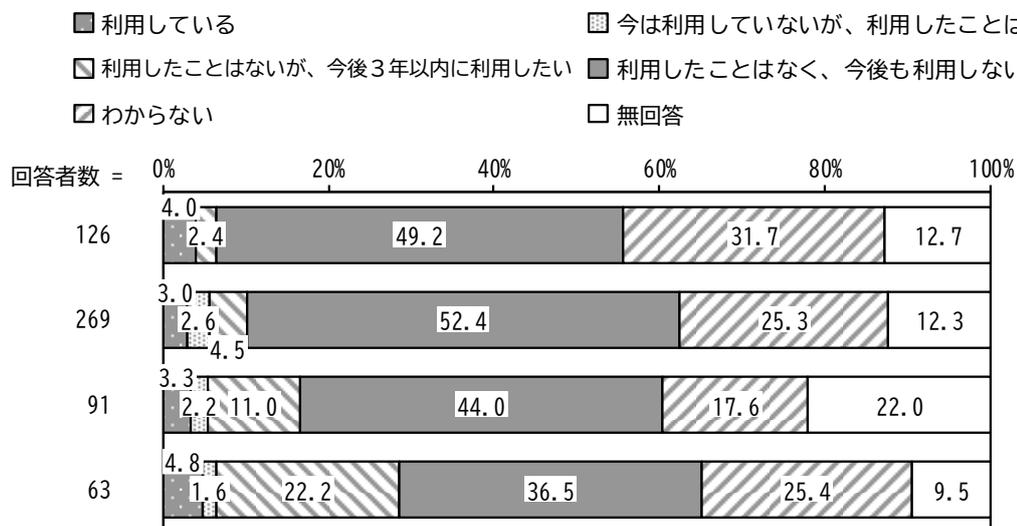
障がい種別にみると、全体と比べて身体障がい、知的障がい、精神障がい、手帳未所持で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、精神障がい、手帳未所持で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



(9) 障がいのある人の日中における活動の場を一時的に提供する日中一時支援事業

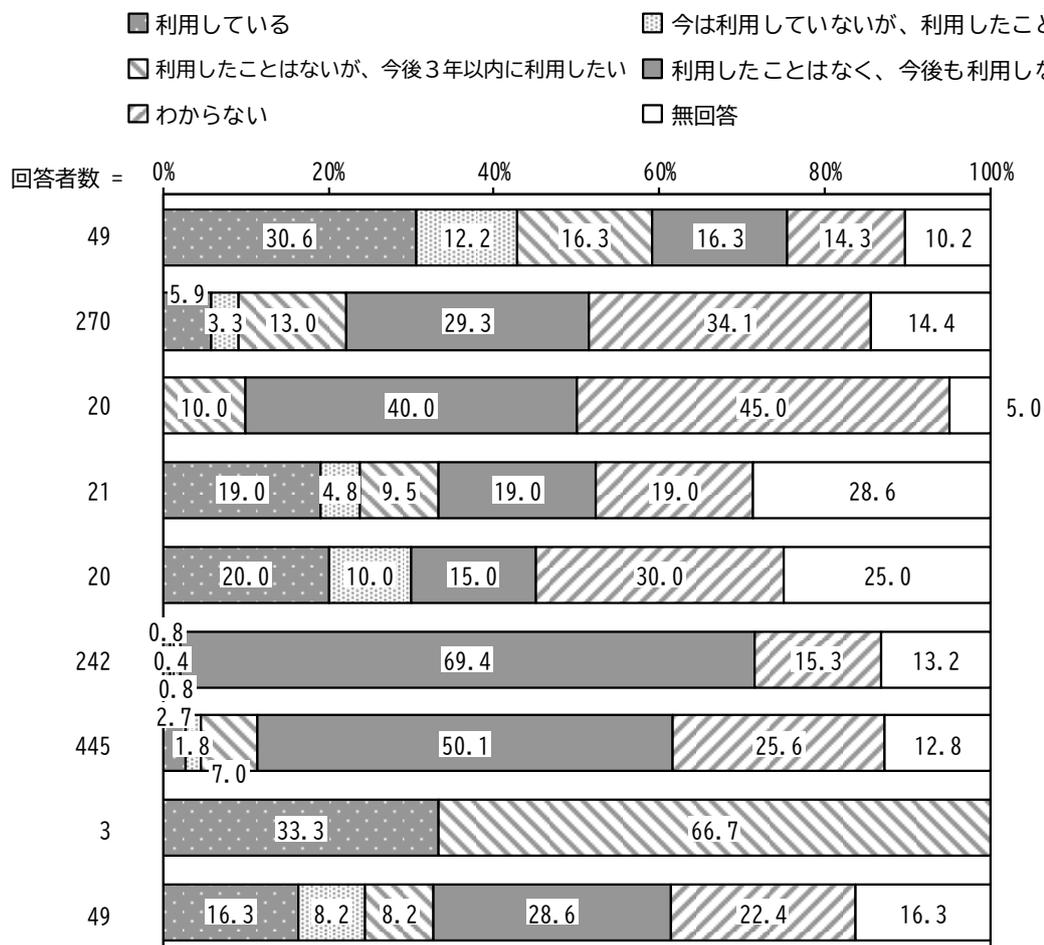
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」の割合が高く、「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が低くなっています。



【障がい種別】

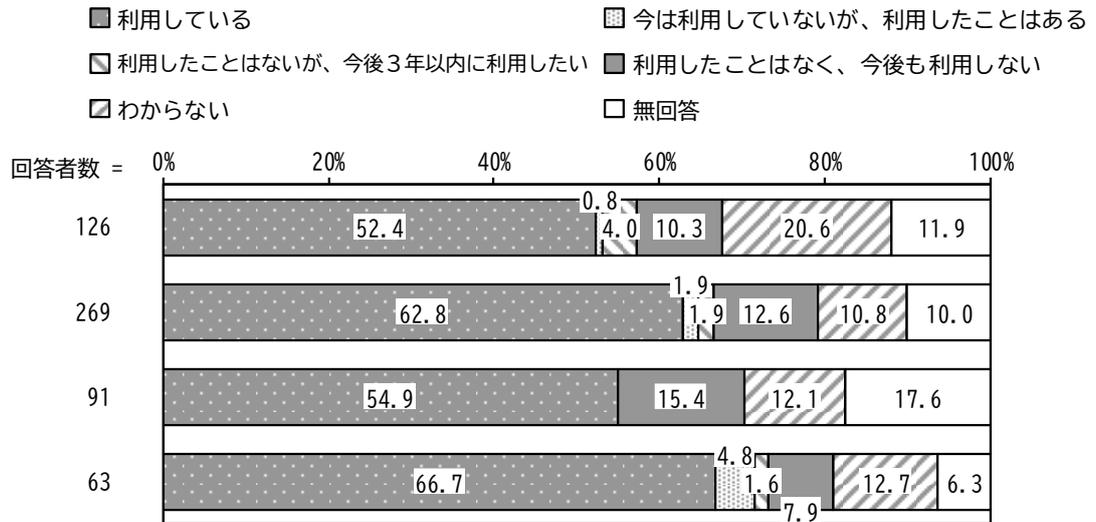
障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいで「利用している」「今は利用していないが、利用したことはある」、手帳未所持で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



(10) 障がいのある児童の総合的な支援のための計画を作成する計画相談支援（障害児支援利用計画）

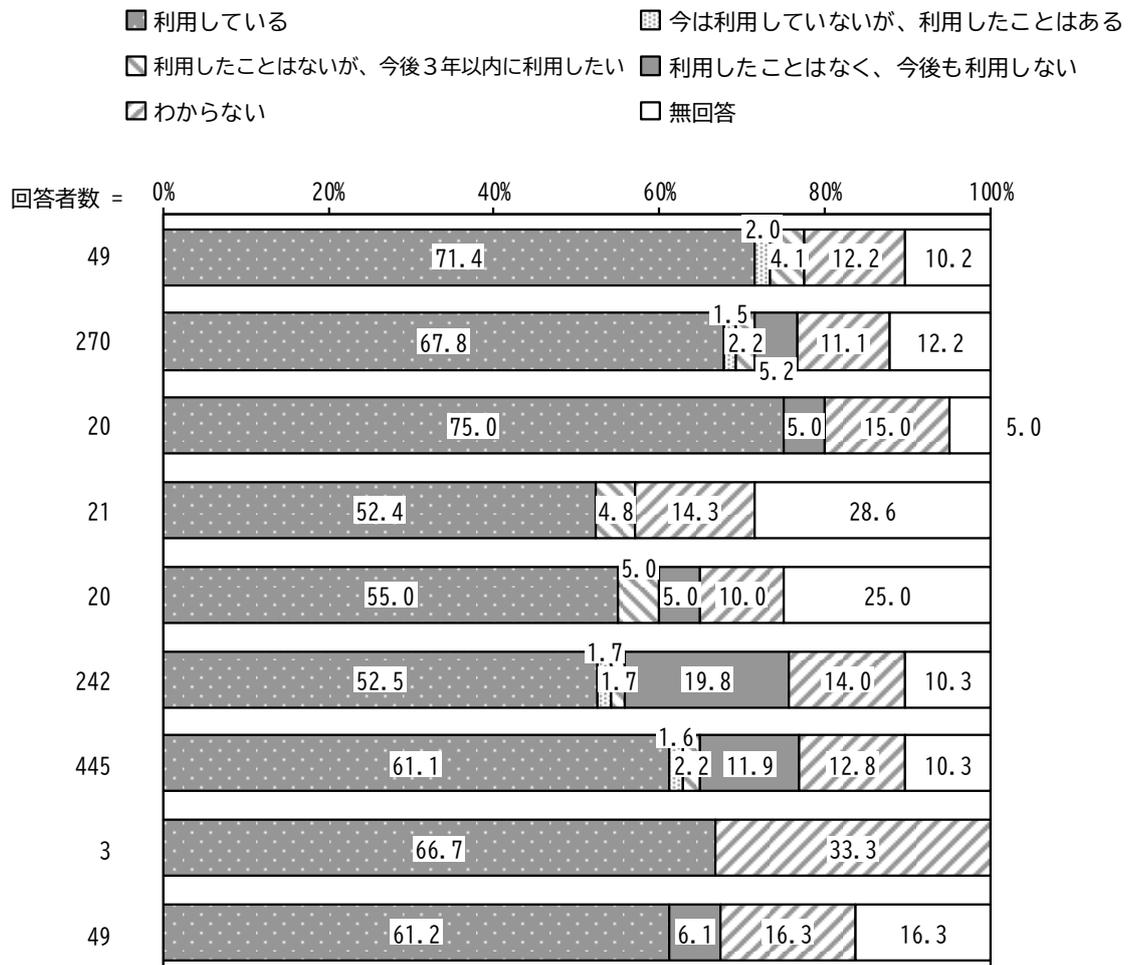
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「利用している」の割合が高くなっています。



【障がい種別】

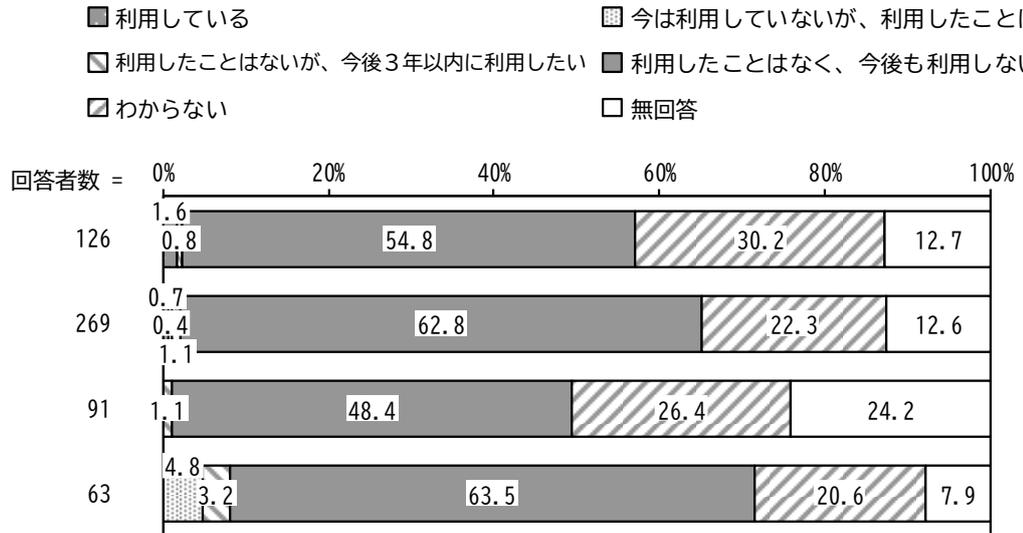
障がい種別にみると、全体と比べて精神障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



(11) 障がい児入所施設に入所して受ける障害児入所支援

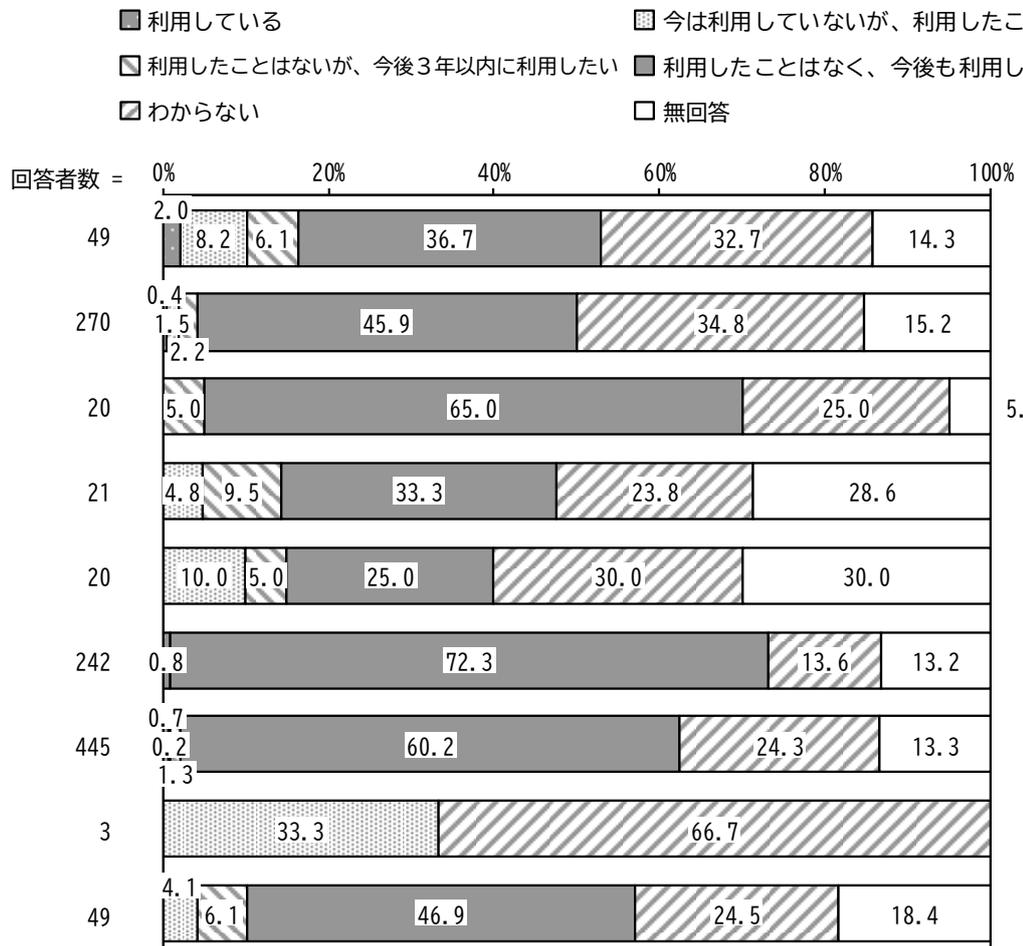
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別】

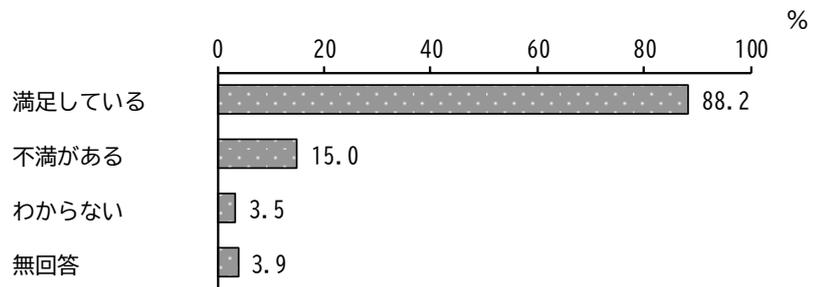
障がい種別にみると、全体と比べて身体障がい、小児慢性特定疾病で「今は利用していないが、利用したことはある」、指定難病で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



問15-1 問15で「利用している」と答えた方におうかがいします。現在利用しているサービスに満足されていますか。その利用サービス名を問15の「児童発達支援」～「障害児入所支援」で（ ）内に○をつけてください。

「満足している」の割合が88.2%、「不満がある」の割合が15.0%となっています。

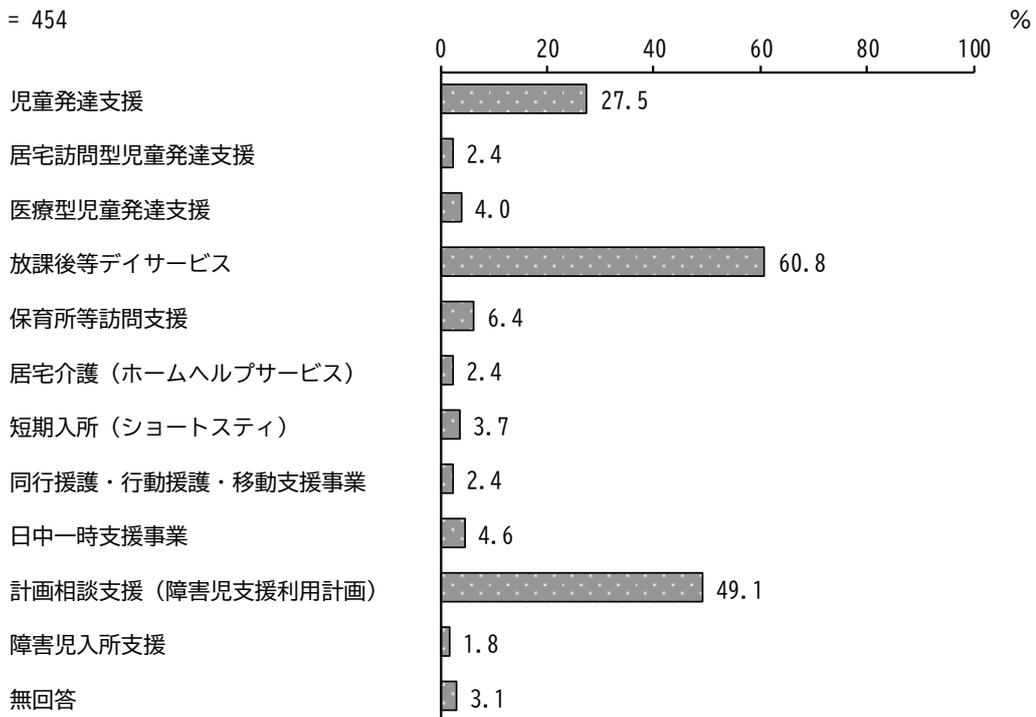
回答者数 = 515



満足している利用サービス名

「放課後等デイサービス」の割合が60.8%と最も高く、次いで「計画相談支援（障害児支援利用計画）」の割合が49.1%、「児童発達支援」の割合が27.5%となっています。

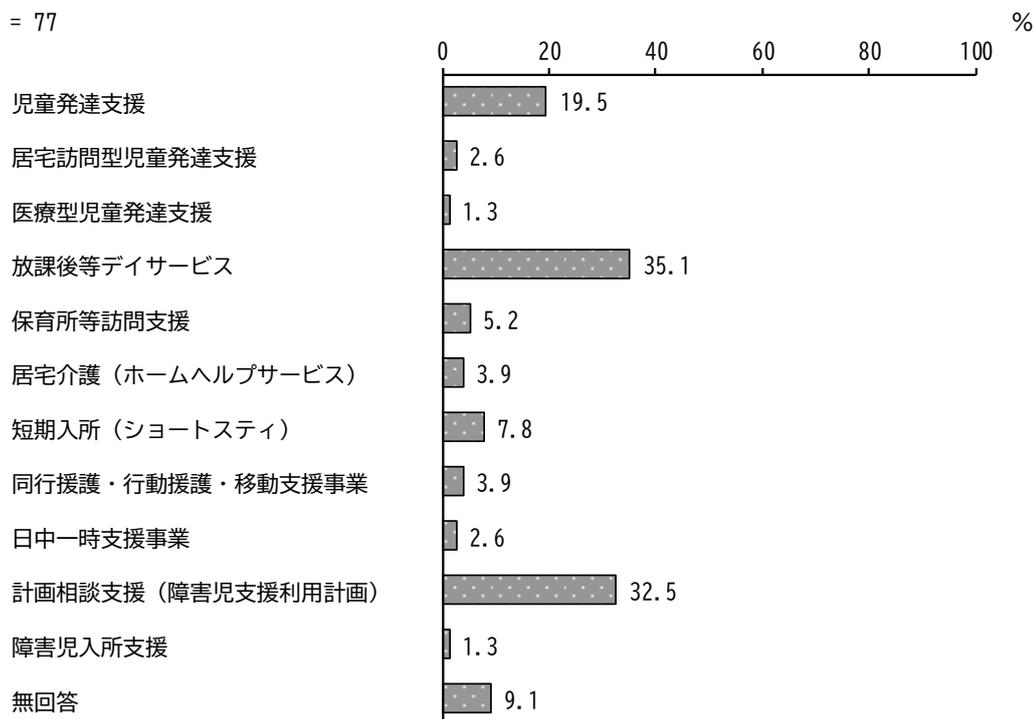
回答者数 = 454



不満がある利用サービス名

「放課後等デイサービス」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「計画相談支援（障害児支援利用計画）」の割合が 32.5%、「児童発達支援」の割合が 19.5%となっています。

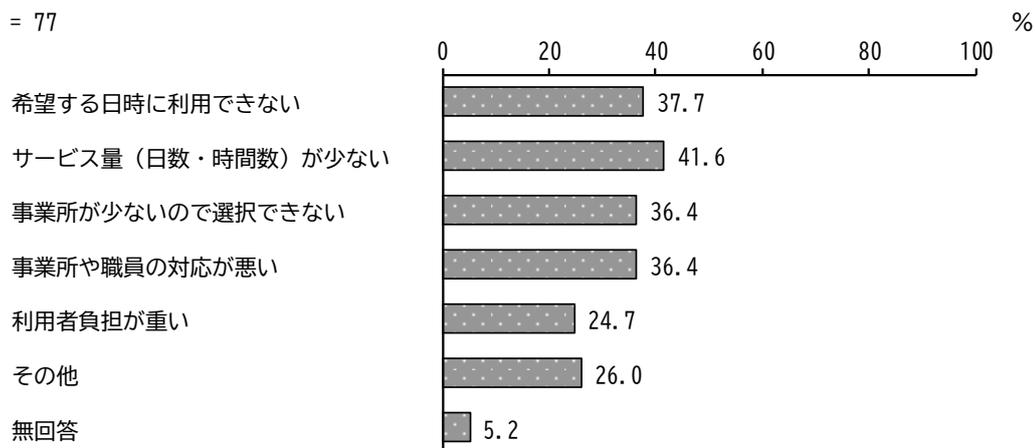
回答者数 = 77



問 15-2 問 15-1 で「不満がある」と答えた方の不満の内容は、どのようなことでしょうか。（○はいくつでも） その利用サービス名を問 15 の「児童発達支援」～「障害児入所支援」で（ ）内に○をつけてください。

「サービス量（日数・時間数）が少ない」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「希望する日時に利用できない」の割合が 37.7%、「事業所が少ないので選択できない」、「事業所や職員の対応が悪い」の割合が 36.4%となっています。

回答者数 = 77



その他の記載内容は次のとおりです。

児童発達支援

区 分	記載内容
知的障がい	・ どこもいっばいで入所できない。通常発達の子が多く利用しづらい。(発達障がい) ・ 事業所の人手不足を感じる。必要な情報を提供してもらえない。(発達障がい)
手帳未所持	・ ケアプランに沿ったサービスが受けられていない。職員がケアプランの内容を理解していない。 ・ 計画相談の児発官が事業所のスタッフの為、本音で話してくれているのかわからない。個人のプライバシー配慮の為と、事業所の玄関で子供の引渡を行うので、どんな環境下で活動をしているのかわからず不安がある。(発達障がい) ・ 商売目的だなと感じる事業所が増えたようにも感じる。(発達障がい)

医療型児童発達支援

区 分	記載内容
知的障がい	・ 保護者送迎になると厳しい (発達障がい)

放課後等デイサービス

区 分	記載内容
知的障がい	・ 専門的知識を持った職員がいない。そういう人材がいると噂の事業所は人気で利用できない。(発達障がい)
精神障がい	・ 楽しくない (発達障がい)
手帳未所持	・ 利用者が行きたがらない。送迎車に乗りたがらない。(発達障がい) ・ 年の近い子がいない (発達障がい)

保育所等訪問支援

区 分	記載内容
知的障がい	・ 受け渡し対応が毎日になるとそれだけでも体力的にきつい。(発達障がい)

短期入所 (ショートステイ)

区 分	記載内容
知的障がい	・ 同性介護が希望だが、職員さんの都合で難しいと言われている

計画相談支援 (障害児支援利用計画)

区 分	記載内容
知的障がい	・ 相談しても解決に至る適切なアドバイスがもらえない。(発達障がい) ・ 携帯で連絡が来て自宅で計画の聞き取りをされる。(指定難病, 小児慢性特定疾病, 発達障がい)
小児慢性特定疾病	・ 市外へ転居したときに問い合わせたが間違った情報を教えられた。(発達障がい)
手帳未所持	・ 具体的な支援が保護者に分かりにくい。(発達障がい) ・ 利用開始したい時の連絡先が分かりづらい。(発達障がい)

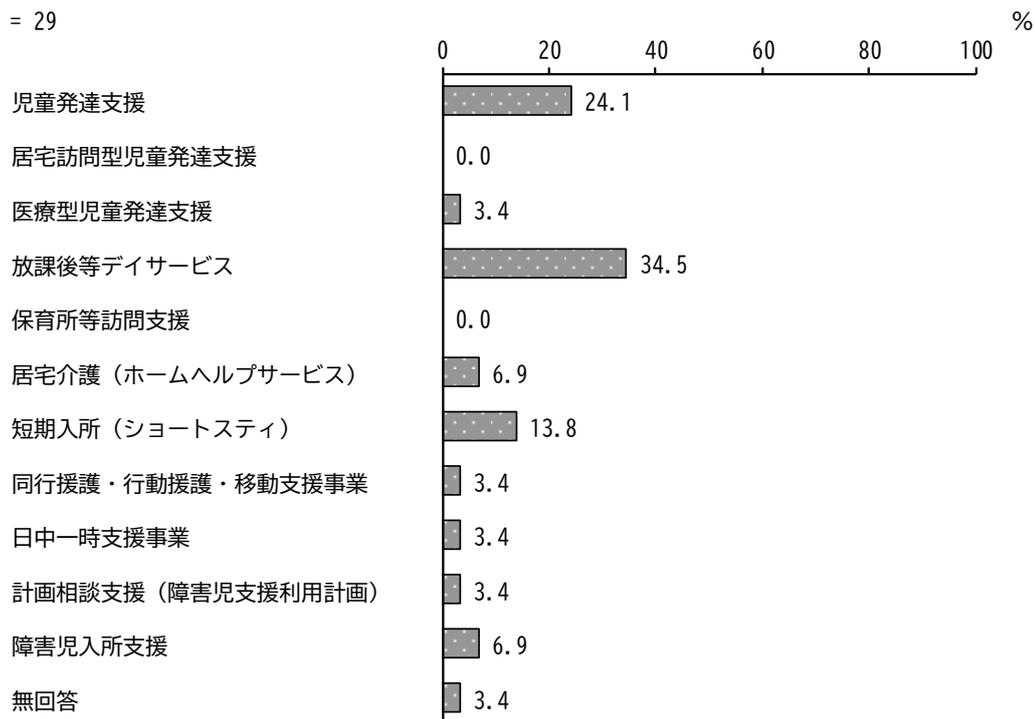
サービス未回答

区 分	記載内容
身体障がい	・ 保護者が一定の年収になると一気に負担が大きくなる。段階的にしてほしい。大人の方は段階的なのになぜ子供は負担が大きいのか。切に改善してほしい。(発達障がい, 医療的ケア児)
知的障がい	・ 専門的な支援 (発達障がい)
手帳未所持	・ おむかえは忘れられてしまう。(発達障がい)

希望する日時に利用できない利用サービス名

「放課後等デイサービス」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「児童発達支援」の割合が 24.1%、「短期入所（ショートステイ）」の割合が 13.8%となっています。

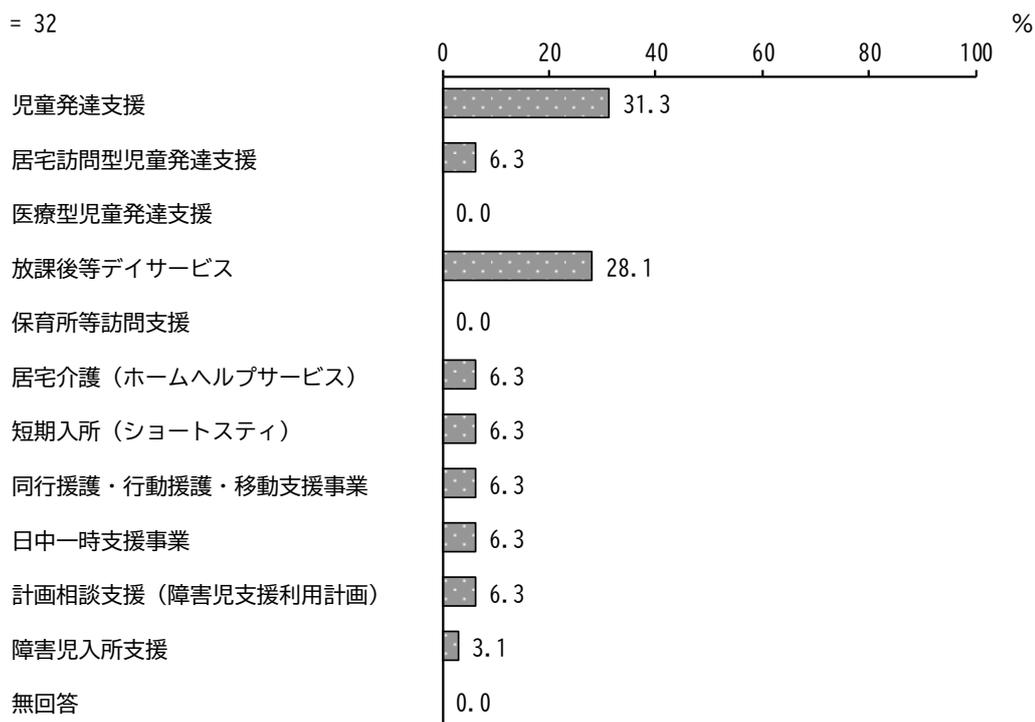
回答者数 = 29



サービス量（日数・時間数）が少ない利用サービス名

「児童発達支援」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が 28.1%となっています。

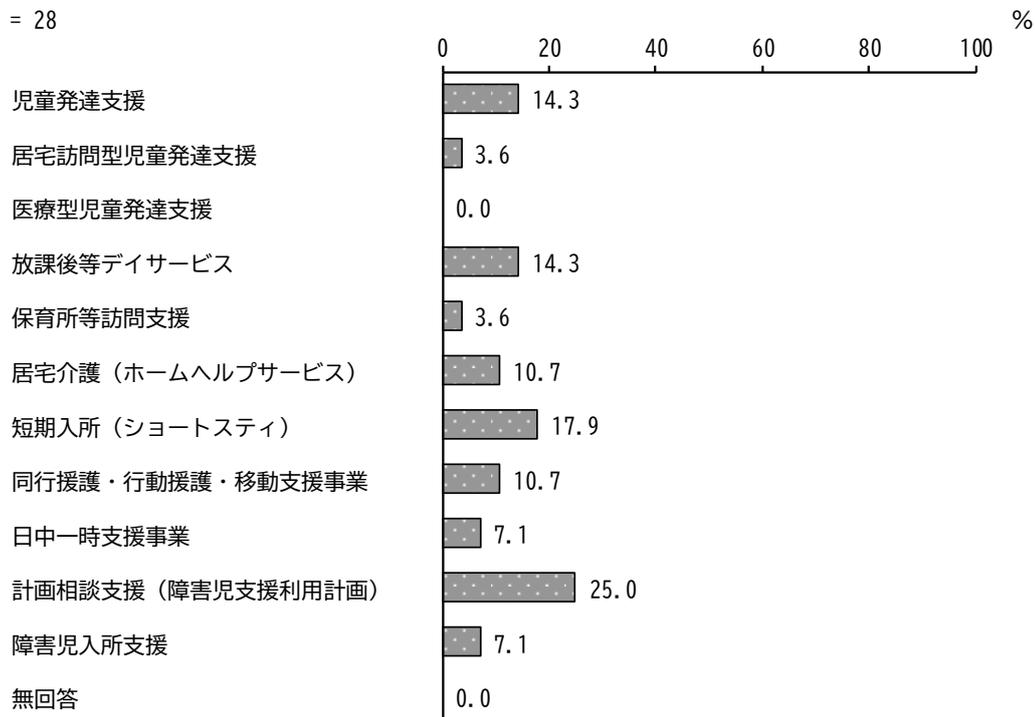
回答者数 = 32



事業所が少ないので選択できない利用サービス名

「計画相談支援（障害児支援利用計画）」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「短期入所（ショートステイ）」の割合が 17.9%、「児童発達支援」、「放課後等デイサービス」の割合が 14.3%となっています。

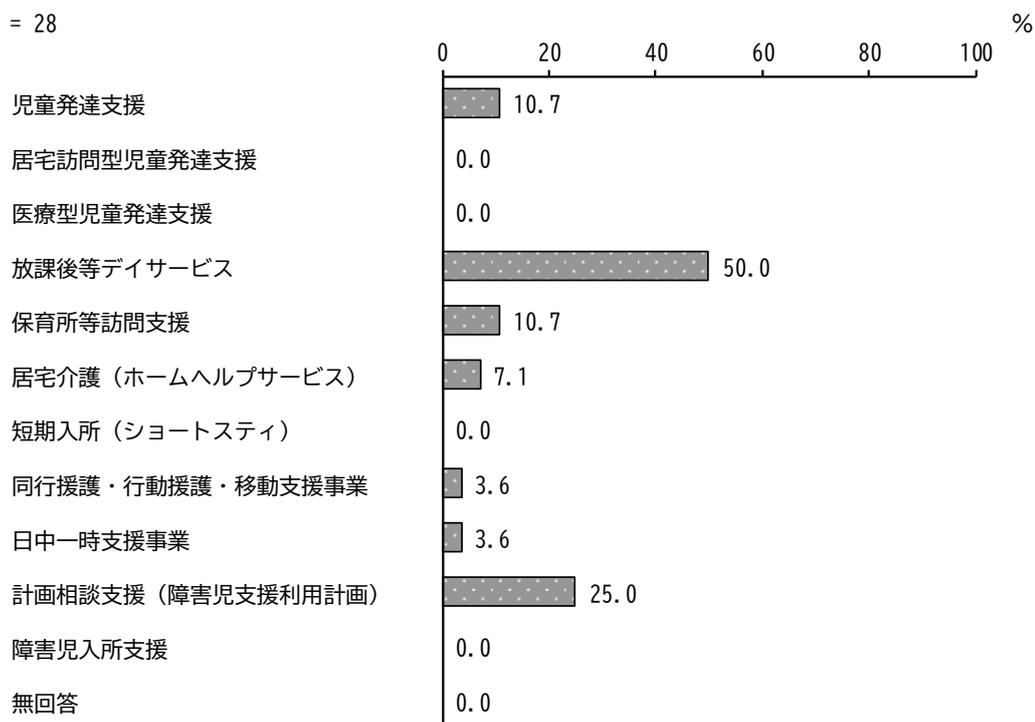
回答者数 = 28



事業所や職員の対応が悪い利用サービス名

「放課後等デイサービス」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「計画相談支援（障害児支援利用計画）」の割合が 25.0%、「児童発達支援」、「保育所等訪問支援」の割合が 10.7%となっています。

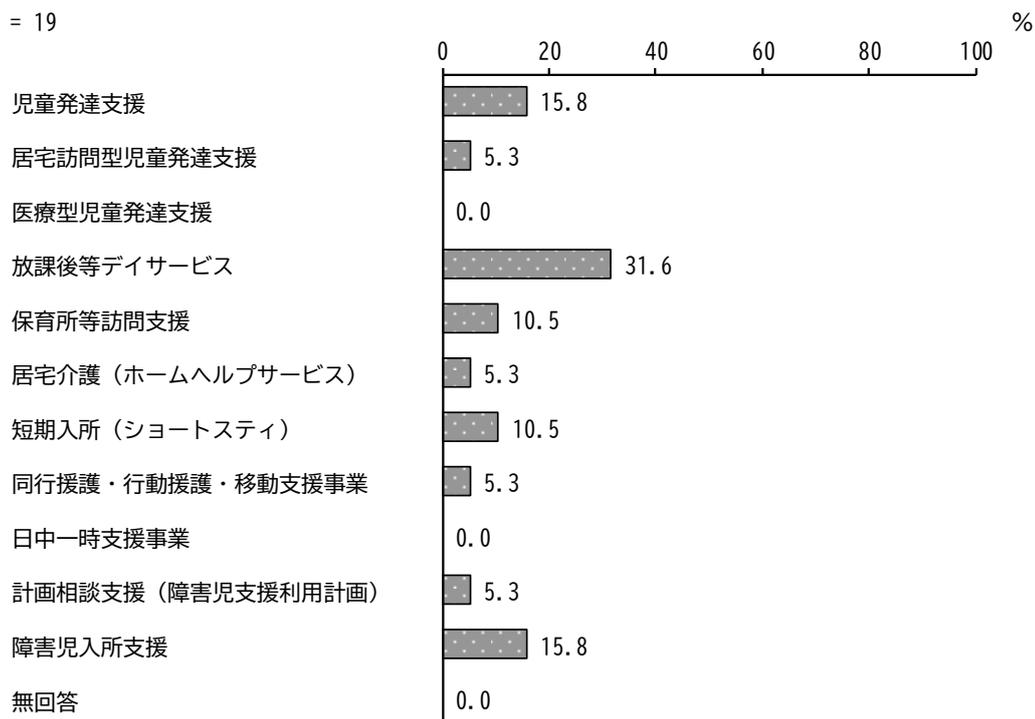
回答者数 = 28



利用者負担が重い利用サービス名

「放課後等デイサービス」の割合が31.6%と最も高く、次いで「児童発達支援」、「障害児入所支援」の割合が15.8%となっています。

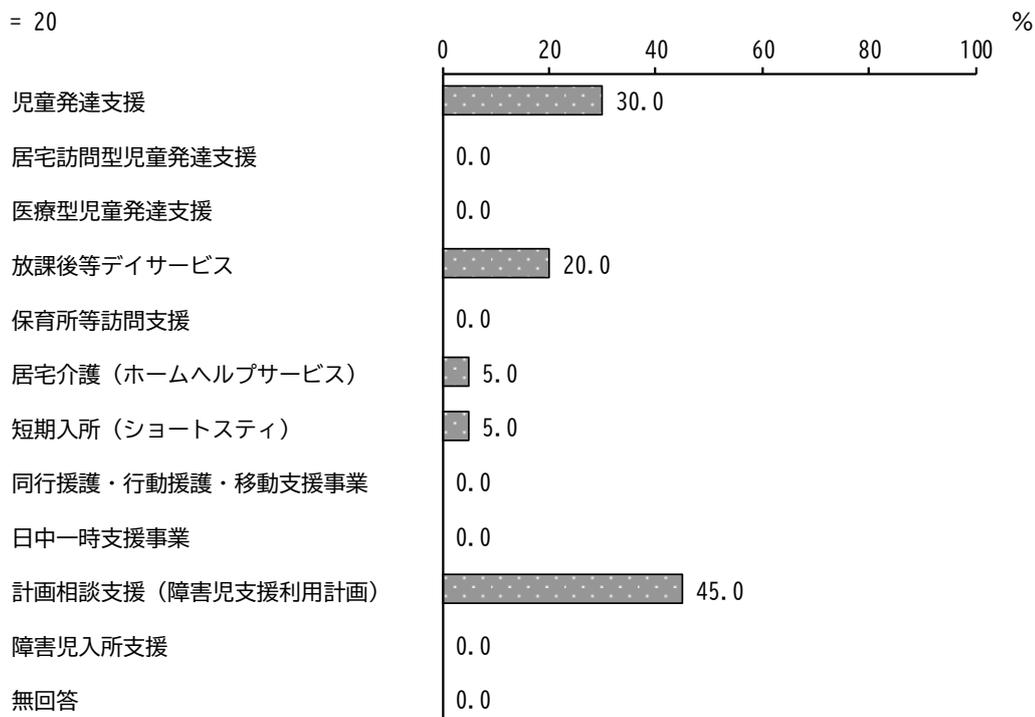
回答者数 = 19



その他の不満がある利用サービス名

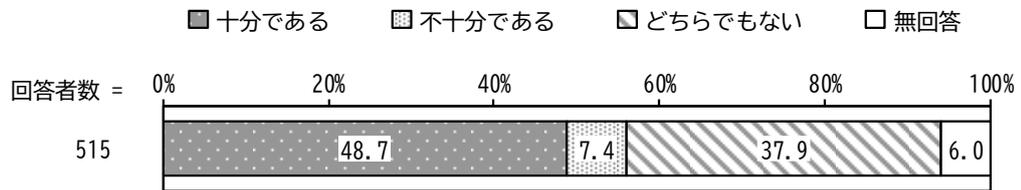
「計画相談支援 (障害児支援利用計画)」の割合が45.0%と最も高く、次いで「児童発達支援」の割合が30.0%、「放課後等デイサービス」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 20



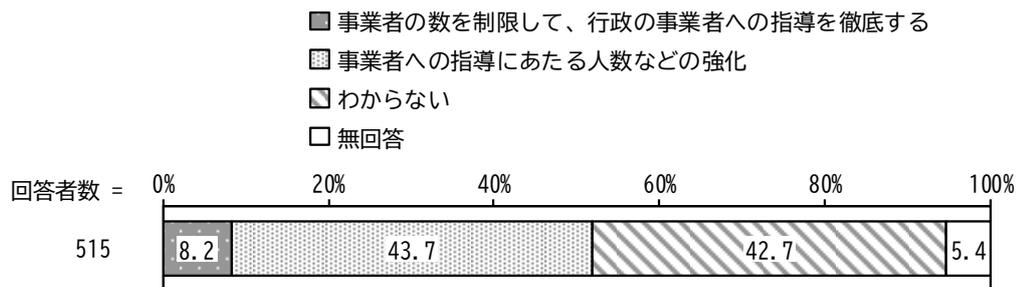
問 15-3 問 15 で「利用している」と答えた方におうかがいします。行政の事業者への指導は十分であると思いますか。(○は1つ)

「十分である」の割合が 48.7%、「不十分である」の割合が 7.4%、「どちらでもない」の割合が 37.9% となっています。



問 15-4 問 15 で「利用している」と答えた方におうかがいします。行政の事業者への指導をよりよくするためにどの様にしたらよいと思いますか。(○は1つ)

「事業者の数を制限して、行政の事業者への指導を徹底する」の割合が 8.2%、「事業者への指導にあたる人数などの強化」の割合が 43.7% となっています。

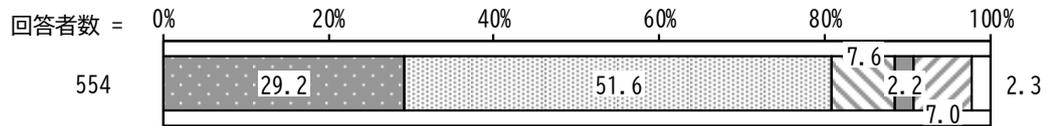


4. 生活満足度

問16 あなたは、現在の生活についてどのように感じていますか。(○は1つ)

「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合が80.8%、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を合わせた“不満”の割合が9.8%となっています。

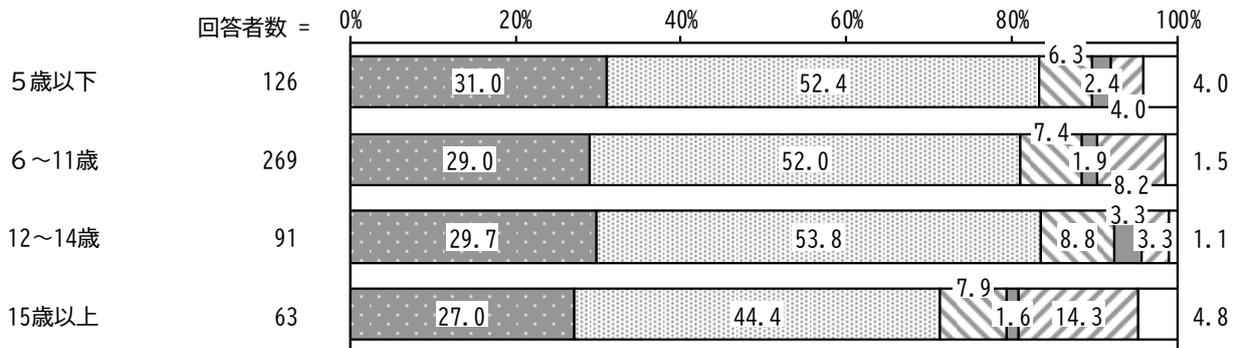
■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない ■ どちらともいえない □ 無回答



【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で“満足”の割合が低くなっています。

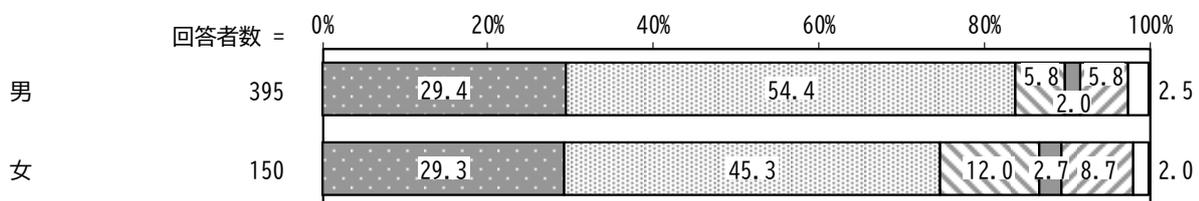
■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない ■ どちらともいえない □ 無回答



【性別】

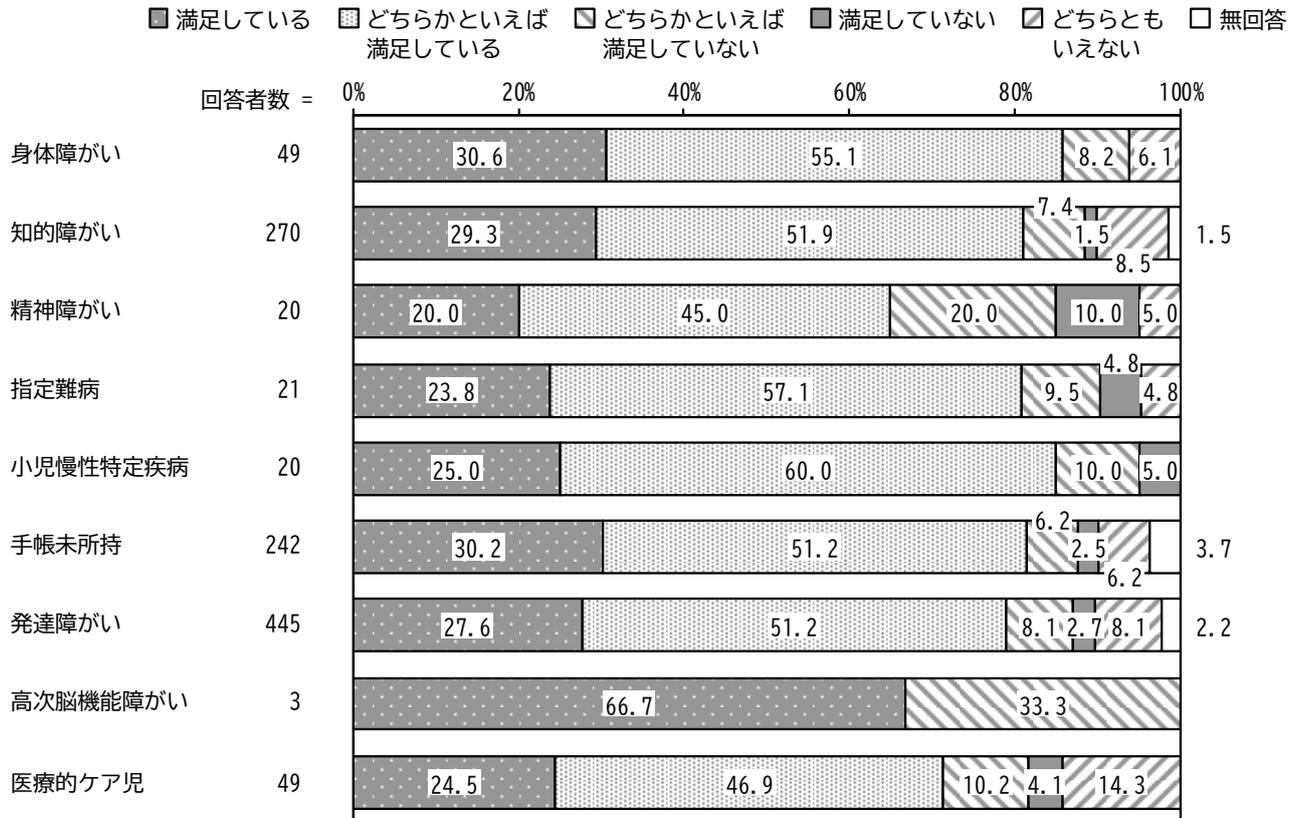
性別にみると、全体と比べて男で“満足”の割合が高くなっています。

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない ■ どちらともいえない □ 無回答



【障がい種別】

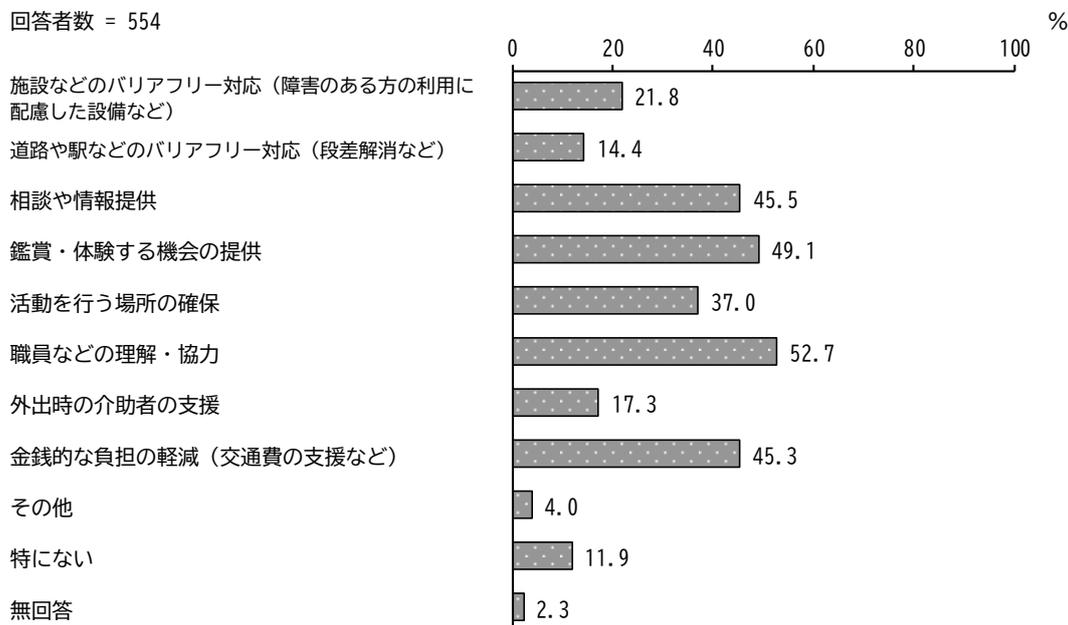
障がい種別に見ると、全体と比べて精神障がいで“不満”の割合が高くなっています。



5. 文化

問 17 あなたが文化芸術活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「職員などの理解・協力」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「鑑賞・体験する機会の提供」の割合が 49.1%、「相談や情報提供」の割合が 45.5%となっています。



その他の記載内容は次のとおりです。

区分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報 ・障がいに対する理解、じろじろ見る、子供がついてくるなど (医療的ケア児)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない (同一回答 2 件) (発達障がい, 医療的ケア児) ・色々な障害を持つ子へのこまかい支援が必要 (発達障がい) ・参加する場所へのアクセスの良さ (発達障がい) ・障がい児専用の公園をつくってほしい (友愛プールのような) (発達障がい) ・文化芸術にふれる機会をふやす (発達障がい) ・外出時に理解してもらえないため、行きたい場所に子どもをつれていけない並ぶことが難しい場面があったりすると入場料払っても、5分くらいで出てしまうことがある障害者割引を強くしてもらいたい子供だけでもいいので (0~10±g までなど) (発達障がい) ・道路や駅、バス停などの方向や行き先を示す掲示板等に漢字のみでルビがなく読めないため、自分で (自分ひとりの力で) 外出することが困難なので対応があるとよいため、駅員さんなどの説明が抽象的すぎて理解できないことも多い (発達障がい) ・障害者に分かりやすく教えられる人が少ない。障害者だと習い事に入会できない。(発達障がい) ・子どもが動き回ったりしても大丈夫ですという周りで参加する人の目、気持ち発達に心配をかかえている子向けのものがあるとありがたいです (発達障がい) ・保育所に通う妹の迎えが病院の通院で遅くなり、いつも延長保育代がかかる。病院の領収書等あったらよしにして欲しい。(指定難病, 小児慢性特定疾病, 発達障がい) ・周りの参加者の理解、協力 (発達障がい)

精神障がい	・大きなイベントだけでなく、細やかな（多角的な）対応（発達障がい）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する人や主さいする人の理解 ・まだまだ親も学校も多分放デイの職員の方も知らない情報（発達障害について副腎疲労や腸内環境の改善で症状が軽減するかも？等）が多いのでは？と思います（発達障がい） ・立ち歩いたり、声を出したりしてもよい鑑賞場所、機会の提供 ・だれか家族がついてきてほしい ・わからない（発達障がい） ・子ども（きょうだい等）の世話をみてる場
発達障がい	・わからない
医療的ケア児	・わからない

【障がい種別】

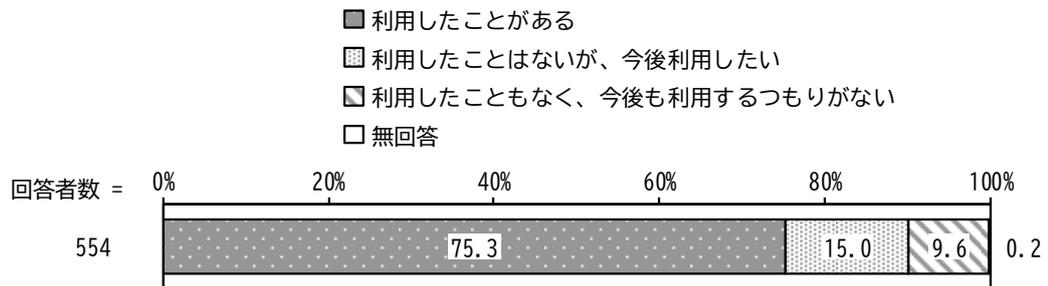
障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいでは「施設などのバリアフリー対応（障害のある方の利用に配慮した設備など）」「道路や駅などのバリアフリー対応（段差解消など）」「外出時の介助者の支援」、精神障がいでは「相談や情報提供」「金銭的な負担の軽減（交通費の支援など）」、指定難病で「外出時の介助者の支援」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	施設などのバリアフリー対応（障害のある方の利用に配慮した設備など）	道路や駅などのバリアフリー対応（段差解消など）	相談や情報提供	鑑賞・体験する機会の提供	活動を行う場所の確保	職員などの理解・協力	外出時の介助者の支援	金銭的な負担の軽減（交通費の支援など）	その他	特になし	無回答
全体	554	21.8	14.4	45.5	49.1	37.0	52.7	17.3	45.3	4.0	11.9	2.3
身体障がい	49	59.2	55.1	46.9	49.0	32.7	59.2	34.7	46.9	4.1	14.3	0.0
知的障がい	270	31.5	21.1	46.7	51.9	41.5	60.7	28.5	52.6	5.2	8.9	1.5
精神障がい	20	35.0	25.0	75.0	50.0	45.0	55.0	10.0	75.0	5.0	5.0	0.0
指定難病	21	42.9	38.1	38.1	47.6	33.3	38.1	33.3	52.4	4.8	19.0	4.8
小児慢性特定疾病	20	40.0	35.0	30.0	40.0	35.0	45.0	30.0	50.0	5.0	15.0	5.0
手帳未所持	242	11.6	7.0	42.1	46.7	31.8	43.0	5.8	36.4	2.5	15.3	2.9
発達障がい	445	20.4	12.6	44.7	48.3	36.2	52.6	17.1	45.8	3.8	12.4	1.8
高次脳機能障がい	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
医療的ケア児	49	32.7	36.7	44.9	40.8	28.6	51.0	26.5	53.1	4.1	16.3	0.0

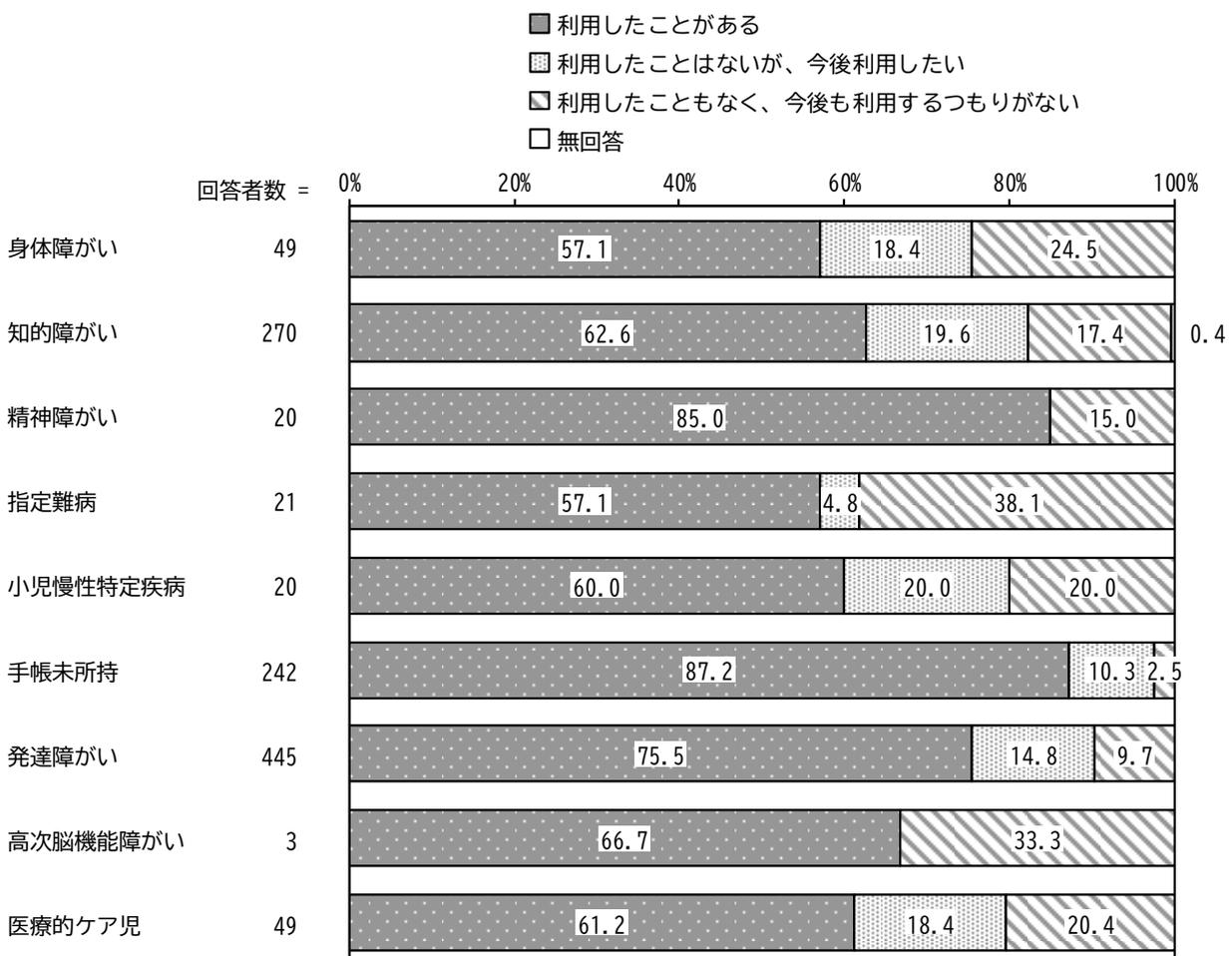
問 18 図書館を利用したことがありますか。(○は1つ)

「利用したことがある」の割合が75.3%、「利用したことはないが、今後利用したい」の割合が15.0%、「利用したこともなく、今後も利用するつもりがない」の割合が9.6%となっています。



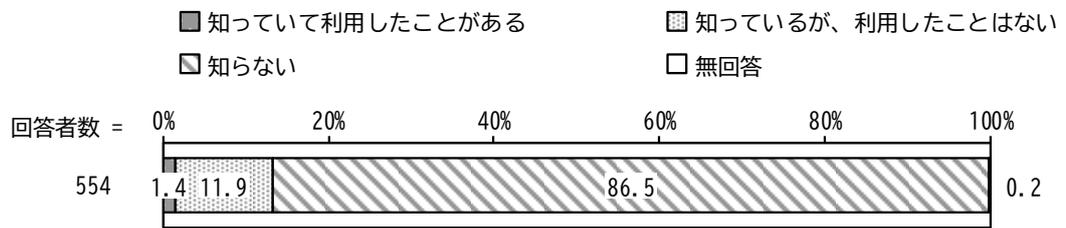
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「利用したことがある」、指定難病で「利用したこともなく、今後も利用するつもりがない」の割合が高くなっています。



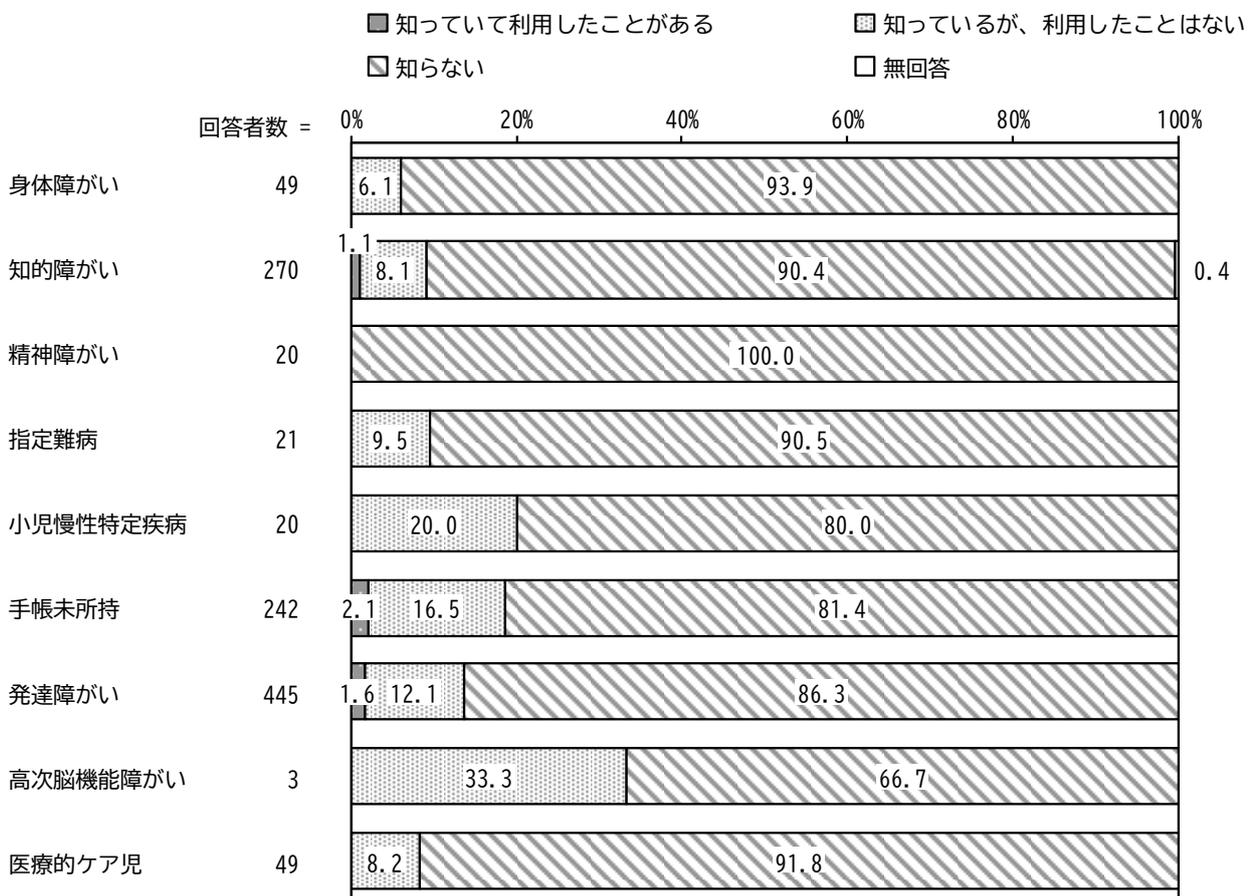
問 19 中央図書館に障がい者支援資料のコーナーがあることを知っていますか。(○は1つ)

「知っていて利用したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが、利用したことはない」の割合が 11.9%、「知らない」の割合が 86.5%となっています。



【障がい種別】

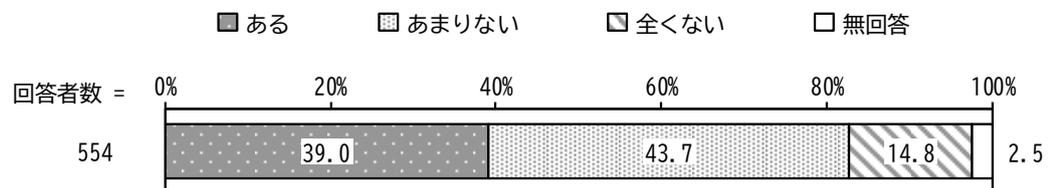
障がい種別にみると、全体と比べて小児慢性特定疾病で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



6. 差別・理解への取り組み

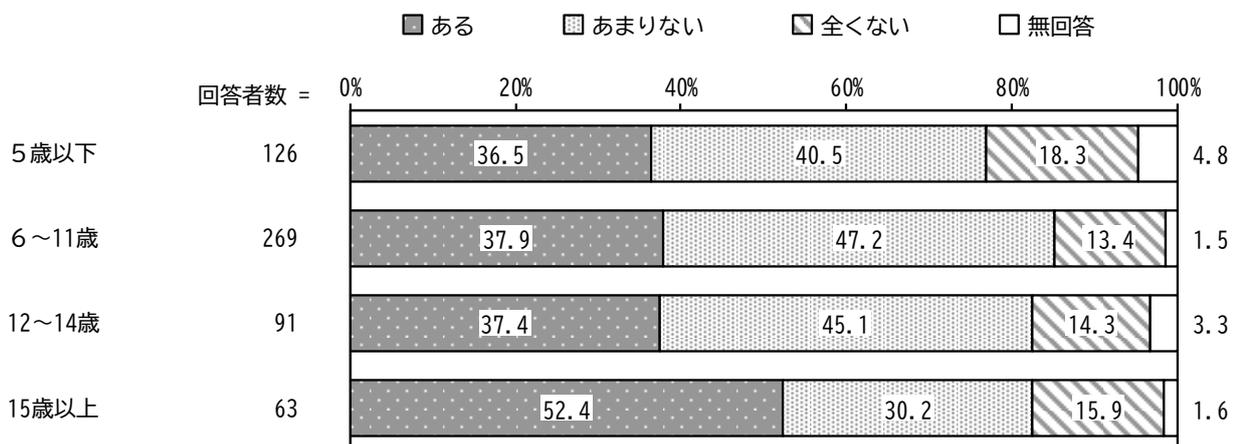
問 20 あなたは、日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を感じることはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が 39.0%、「あまりない」の割合が 43.7%、「全くない」の割合が 14.8%となっています。



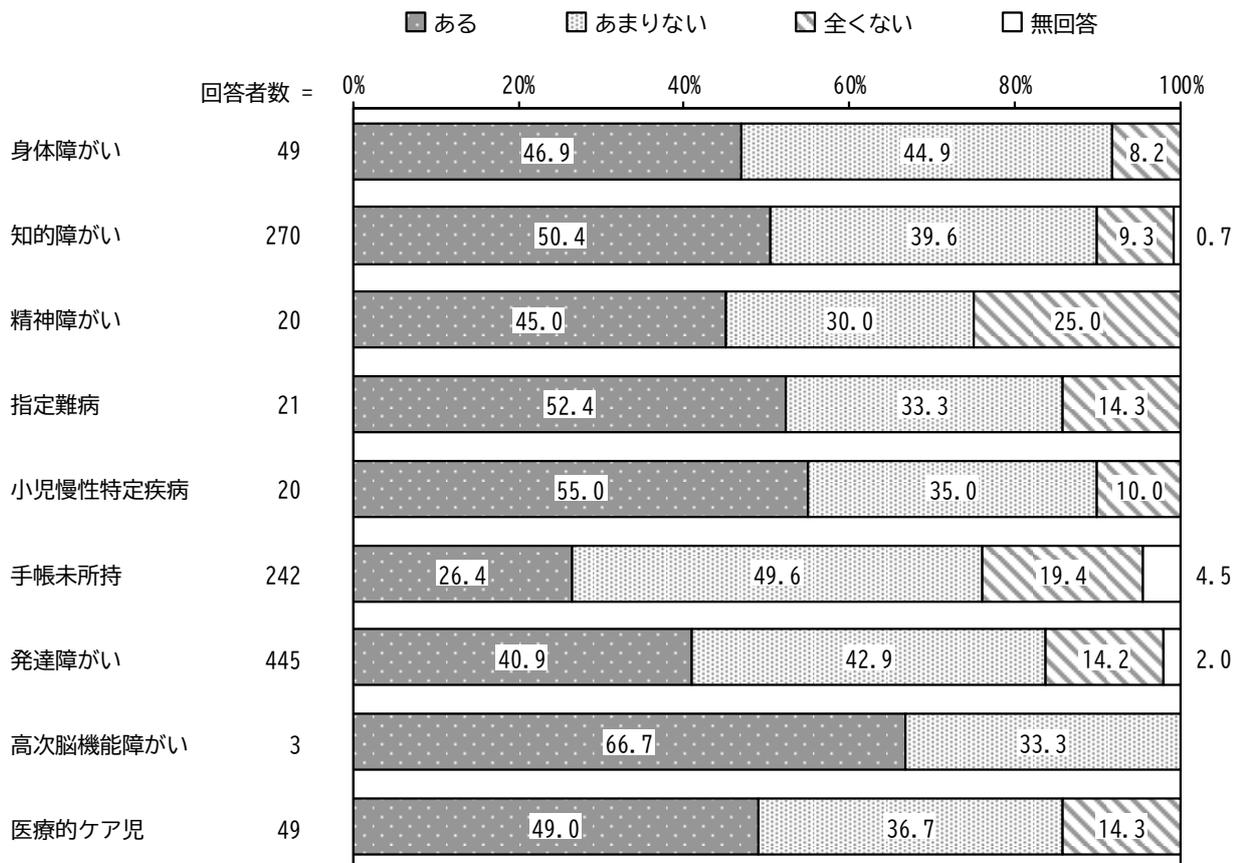
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて15歳以上で「ある」の割合が高く、「あまりない」の割合が低くなっています。



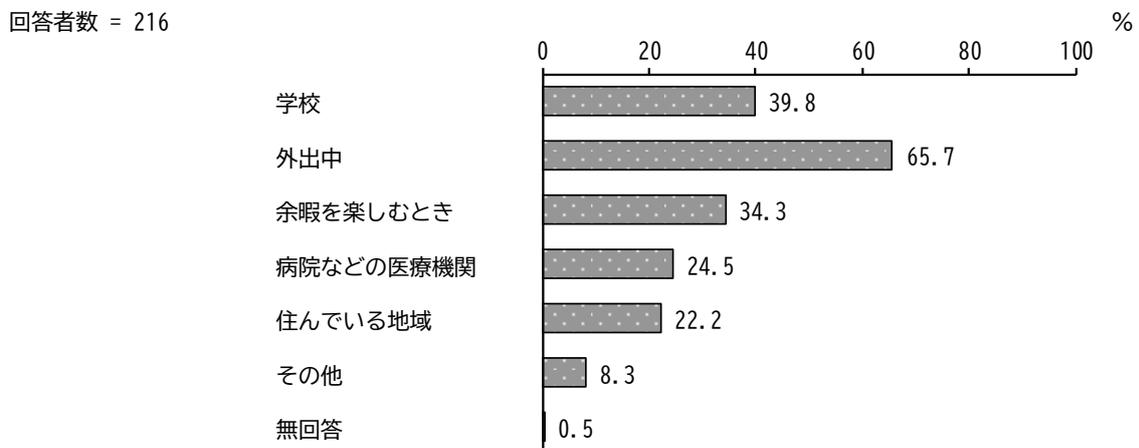
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて指定難病、小児慢性特定疾病で「ある」、精神障がい「全くない」の割合が高くなっています。



問20-1 問20で「ある」と答えた方におうかがいします。どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(〇はいくつでも)

「外出中」の割合が65.7%と最も高く、次いで「学校」の割合が39.8%、「余暇を楽しむとき」の割合が34.3%となっています。



その他の記載内容は次のとおりです。

区 分	記載内容
身体障がい	・放課後等デイサービス（発達障がい）
知的障がい	・3歳児健診の時（発達障がい） ・外に出たらどこでも（発達障がい） ・保育園（発達障がい） ・公共の駐車場で障害者用スペース（発達障がい） ・交流保育など（発達障がい、医療的ケア児）
精神障がい	・インターネット（発達障がい）
指定難病	・保育園（小児慢性特定疾病）
手帳未所持	・スポ少など（発達障がい） ・特別支援学級（発達障がい） ・習い事で（発達障がい、医療的ケア児） ・幼稚園（発達障がい） ・保険の加入時（発達障がい）

【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて12～14歳で「学校」、5歳以下で「外出中」「病院などの医療機関」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	学校	外出中	余暇を 楽しむとき	病院などの 医療機 関	住んで いる地 域	その他	無回答
全 体	216	39.8	65.7	34.3	24.5	22.2	8.3	0.5
5歳以下	46	13.0	80.4	37.0	34.8	23.9	8.7	0.0
6～11歳	102	43.1	63.7	34.3	21.6	20.6	7.8	1.0
12～14歳	34	58.8	52.9	29.4	17.6	20.6	11.8	0.0
15歳以上	33	45.5	63.6	36.4	24.2	27.3	6.1	0.0

【障がい種別】

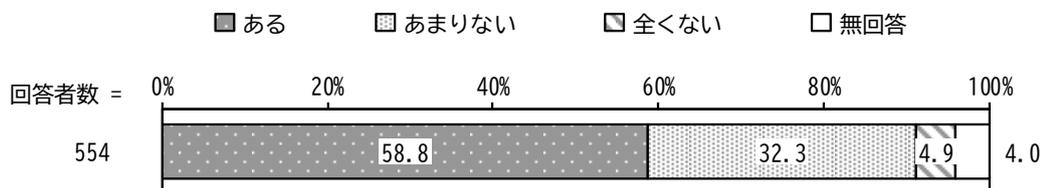
障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「学校」、知的障がい「外出中」、身体障がい、小児慢性特定疾病で「余暇を楽しむとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	学校	外出中	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	住んでいる地域	その他	無回答
全体	216	39.8	65.7	34.3	24.5	22.2	8.3	0.5
身体障がい	23	17.4	73.9	56.5	21.7	17.4	8.7	0.0
知的障がい	136	27.9	79.4	36.8	27.9	24.3	7.4	0.0
精神障がい	9	88.9	44.4	44.4	11.1	22.2	11.1	0.0
指定難病	11	18.2	72.7	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0
小児慢性特定疾病	11	27.3	54.5	54.5	27.3	27.3	9.1	0.0
手帳未所持	64	57.8	42.2	29.7	20.3	18.8	9.4	1.6
発達障がい	182	43.4	64.8	33.0	24.2	23.1	8.8	0.5
高次脳機能障がい	2	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
医療的ケア児	24	33.3	75.0	33.3	25.0	12.5	12.5	0.0

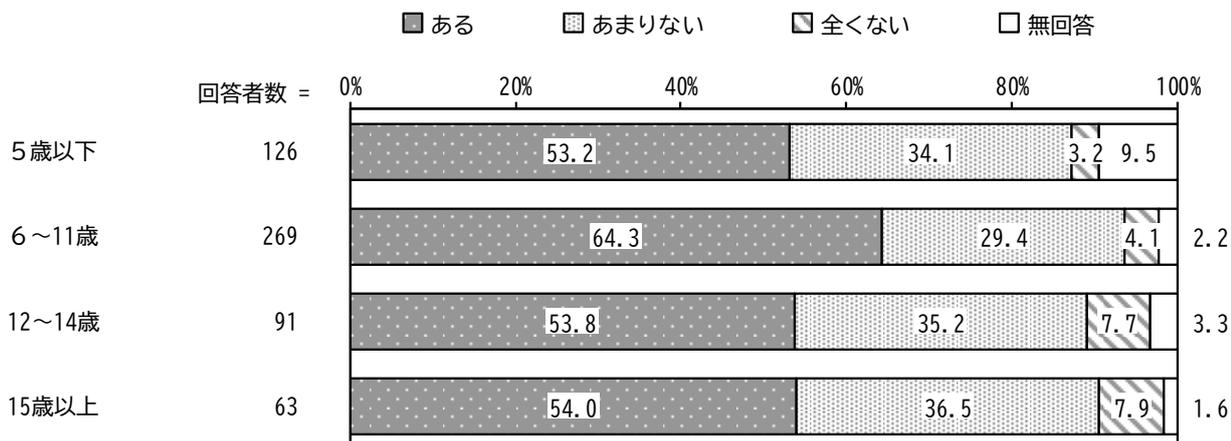
問 21 日常生活において、あなたの障がいについて理解や配慮があり、よかったと感じたことはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が 58.8%、「あまりない」の割合が 32.3%、「全くない」の割合が 4.9%となっています。



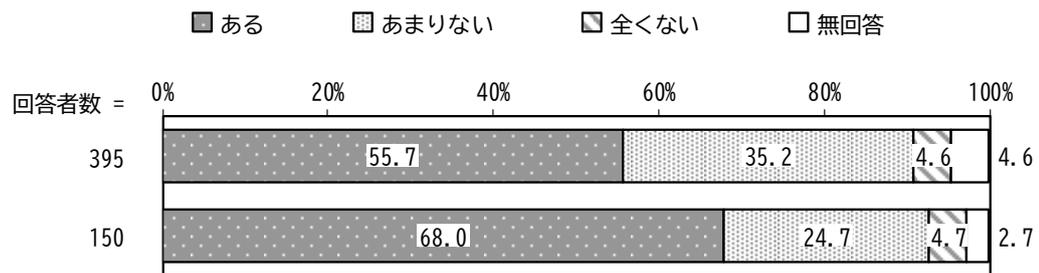
【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて6～11歳で「ある」の割合が高くなっています。



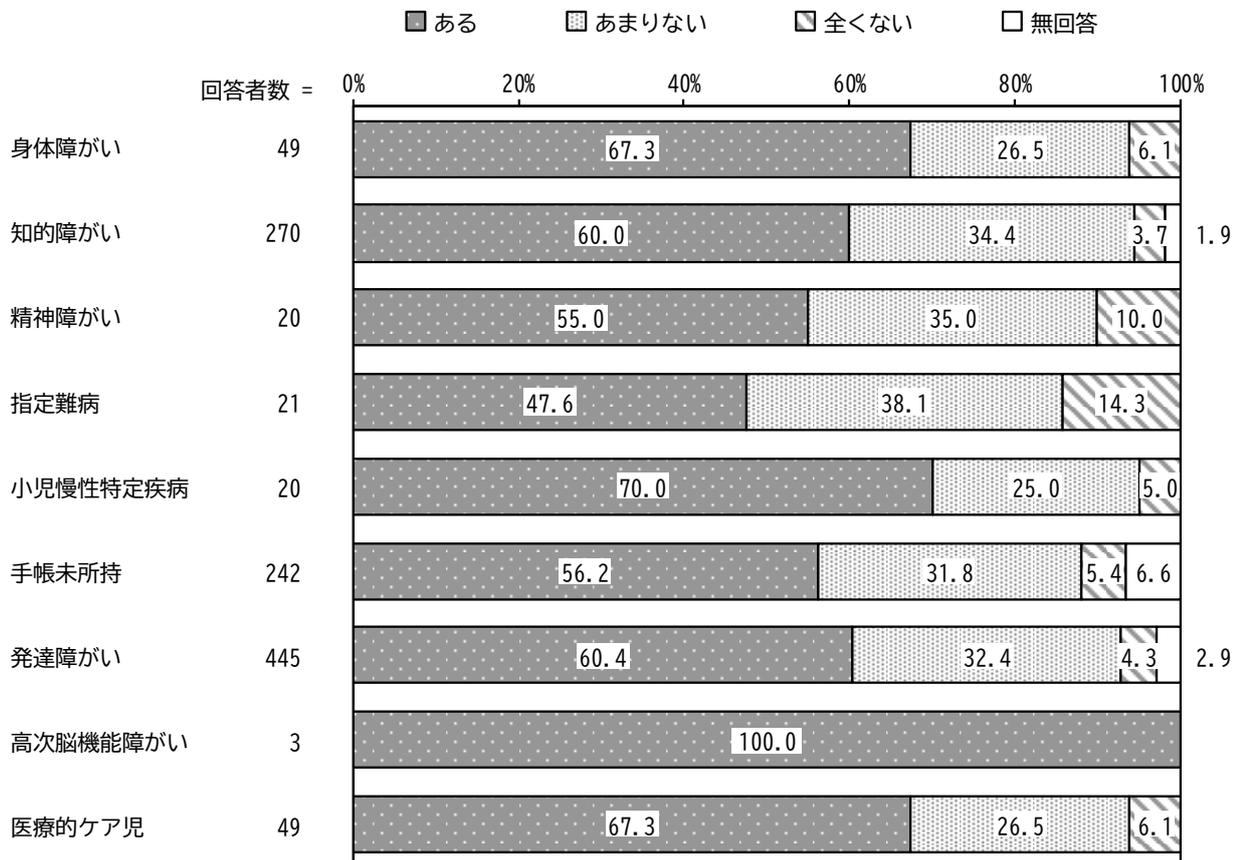
【性別】

性別にみると、全体と比べて女で「ある」、男で「あまりない」の割合が高くなっています。



【障がい種別】

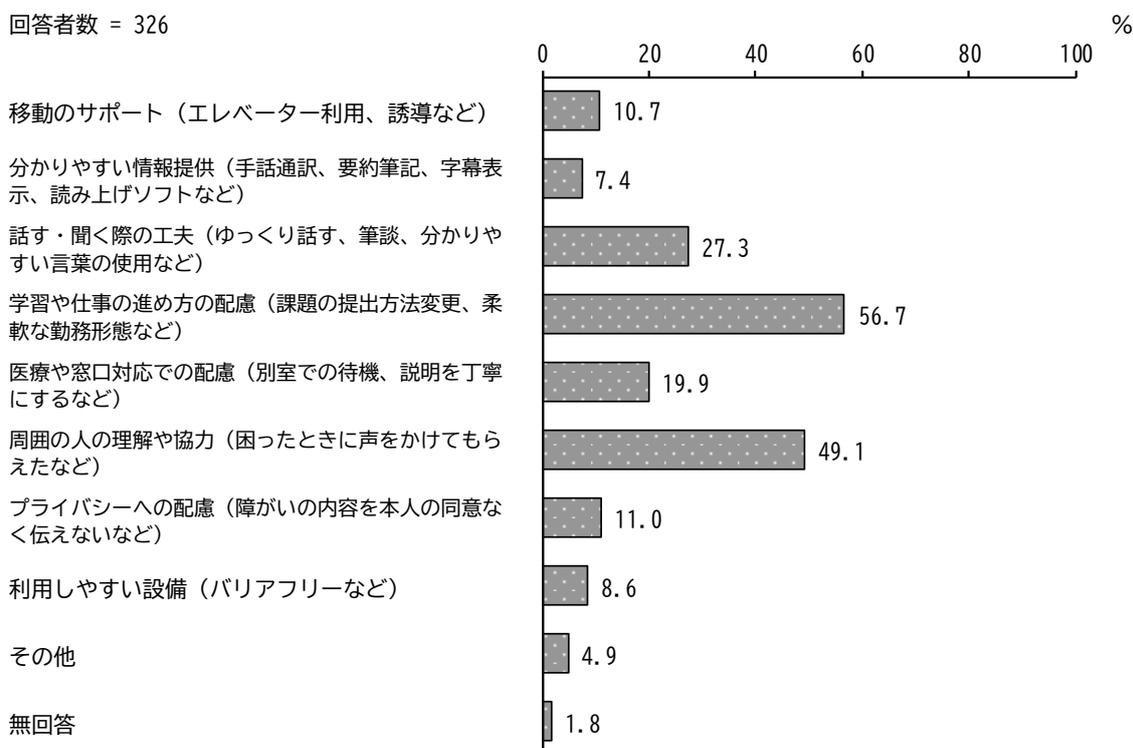
障がい種別にみると、全体と比べて身体障がい、小児慢性特定疾病、医療的ケア児で「ある」、指定難病で「あまりない」「全くない」の割合が高くなっています。



問21—1 問21で「ある」と答えた方におたずねします。どのようなことをよかったですと感じましたか。(〇はいくつでも)

「学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）」の割合が56.7%と最も高く、次いで「周囲の人の理解や協力（困ったときに声をかけてもらえたなど）」の割合が49.1%、「話す・聞く際の工夫（ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など）」の割合が27.3%となっています。

回答者数 = 326



その他の記載内容は次のとおりです。

区分	記載内容
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理解や配慮（発達に対すること）（発達障がい） ・手帳で割引がある施設がある（発達障がい） ・療育手帳を利用してレジャー施設の利用がしやすくなった（料金の値引きや待ち時間短縮など）（発達障がい） ・テーマパークで別の場所で待ち、時間になったら並ばずに入れる（発達障がい） ・駐車場の優先利用（発達障がい、医療的ケア児） ・現在通学している学校の先生方のサポート（指定難病、小児慢性特定疾病、発達障がい） ・支援学級があることで学校が楽しく、毎日通っている（発達障がい）
指定難病	<ul style="list-style-type: none"> ・先生とのかかわり（手帳未所持）
小児慢性特定疾病	<ul style="list-style-type: none"> ・園での対応、療育での対応（発達障がい）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や親戚等近い人達の理解や配慮（発達障がい） ・小学校の担任の先生の理解（発達障がい） ・学校の担任や放デイの先生方が親身になってくれてよりそってくれてます（発達障がい） ・健診を機に発達支援施設に通うという選択があったこと
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・友達がよくしてくれている（医療的ケア児） ・幼稚園の加配

【年齢別】

年齢別にみると、全体と比べて12～14歳で「移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）」「周囲の人の理解や協力（困ったときに声をかけてもらえたなど）」、15歳以上で「移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）」「医療や窓口対応での配慮（別室での待機、説明を丁寧にするなど）」、5歳以下で「話す・聞く際の工夫（ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など）」、6～11歳で「学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	移動のサポート(エレベーター利用、誘導など)	分かりやすい情報提供(手話通訳、要約筆記、字幕表示、読み上げソフトなど)	話す・聞く際の工夫(ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など)	学習や仕事の進め方の配慮(課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など)	医療や窓口対応での配慮(別室での待機、説明を丁寧にするなど)	周囲の人の理解や協力(困ったときに声をかけてもらえたなど)	プライバシーへの配慮(障がいの内容を本人の同意なく伝えないなど)	利用しやすい設備(バリアフリーなど)	その他	無回答
全体	326	10.7	7.4	27.3	56.7	19.9	49.1	11.0	8.6	4.9	1.8
5歳以下	67	11.9	6.0	37.3	25.4	17.9	49.3	4.5	7.5	6.0	1.5
6～11歳	173	7.5	8.1	24.9	69.4	17.9	48.0	12.7	7.5	5.8	2.3
12～14歳	49	16.3	4.1	20.4	51.0	22.4	57.1	12.2	12.2	4.1	2.0
15歳以上	34	17.6	11.8	32.4	58.8	32.4	41.2	14.7	11.8	0.0	0.0

【性別】

性別にみると、全体と比べて女で「移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）」「周囲の人の理解や協力（困ったときに声をかけてもらえたなど）」、男で「学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	移動のサポート(エレベーター利用、誘導など)	分かりやすい情報提供(手話通訳、要約筆記、字幕表示、読み上げソフトなど)	話す・聞く際の工夫(ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など)	学習や仕事の進め方の配慮(課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など)	医療や窓口対応での配慮(別室での待機、説明を丁寧にするなど)	周囲の人の理解や協力(困ったときに声をかけてもらえたなど)	プライバシーへの配慮(障がいの内容を本人の同意なく伝えないなど)	利用しやすい設備(バリアフリーなど)	その他	無回答
全体	326	10.7	7.4	27.3	56.7	19.9	49.1	11.0	8.6	4.9	1.8
男	220	8.2	7.3	27.7	62.3	21.8	46.4	10.5	6.8	5.5	1.4
女	102	15.7	6.9	26.5	45.1	15.7	55.9	12.7	12.7	2.9	2.9

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて身体障がいでは「移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）」、「利用しやすい設備（バリアフリーなど）」、精神障がいでは「分かりやすい情報提供（手話通訳、要約筆記、字幕表示、読み上げソフトなど）」、手帳未所持で「学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）」、小児慢性特定疾病で「医療や窓口対応での配慮（別室での待機、説明を丁寧にするなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

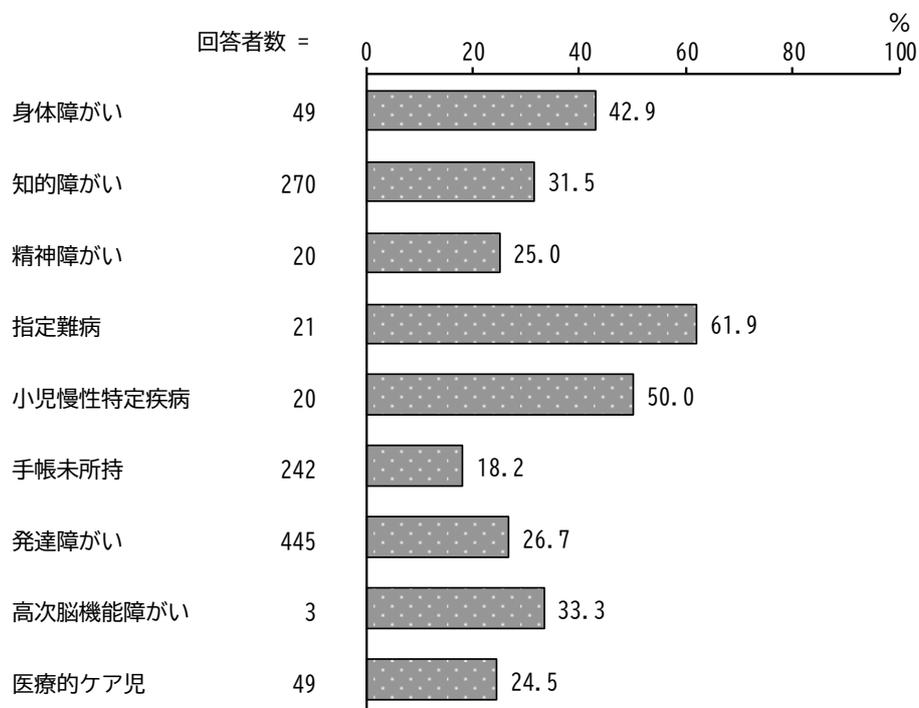
区分	回答者数（件）	移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）	分かりやすい情報提供（手話通訳、要約筆記、字幕表示、読み上げソフトなど）	話し・聞く際の工夫（ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など）	学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）	医療や窓口対応での配慮（別室での待機、説明を丁寧にするなど）	周囲の人の理解や協力（困ったときに声をかけてもらえたなど）	プライバシーへの配慮（障がいの内容を本人の同意なく伝えないなど）	利用しやすい設備（バリアフリーなど）	その他	無回答
全体	326	10.7	7.4	27.3	56.7	19.9	49.1	11.0	8.6	4.9	1.8
身体障がい	33	54.5	6.1	12.1	36.4	30.3	45.5	12.1	36.4	3.0	0.0
知的障がい	162	19.8	8.0	26.5	49.4	31.5	50.0	11.1	11.7	4.3	1.9
精神障がい	11	9.1	27.3	36.4	63.6	36.4	54.5	18.2	0.0	9.1	0.0
指定難病	10	30.0	10.0	10.0	20.0	30.0	40.0	10.0	30.0	20.0	0.0
小児慢性特定疾病	14	28.6	7.1	14.3	21.4	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0
手帳未所持	136	0.7	5.1	27.2	66.9	5.9	49.3	10.3	4.4	4.4	2.2
発達障がい	269	8.9	8.2	24.5	61.0	21.6	49.8	12.6	7.4	5.2	1.9
高次脳機能障がい	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
医療的ケア児	33	39.4	3.0	12.1	51.5	36.4	45.5	15.2	15.2	12.1	3.0

7. 自由記述

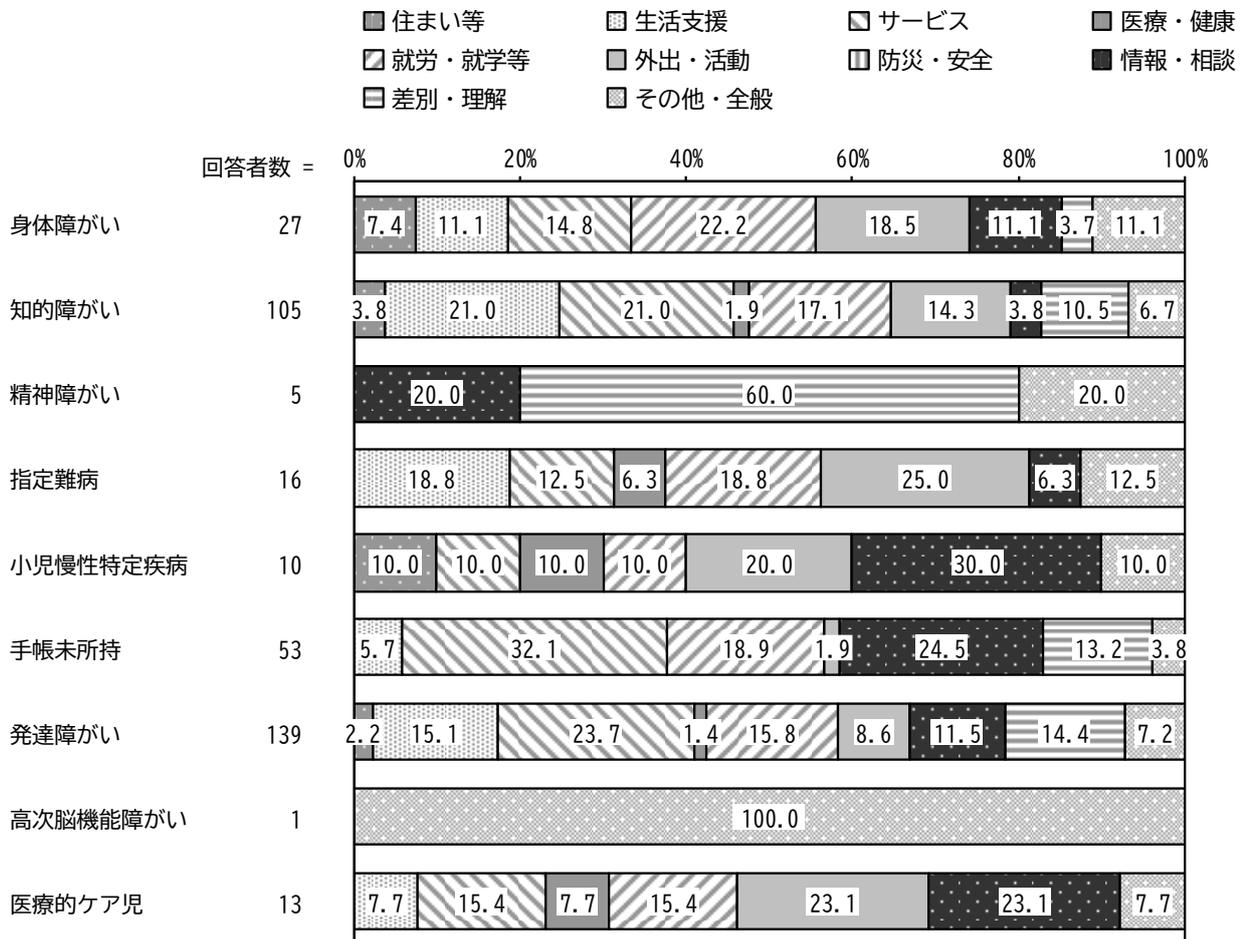
ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

【障がい種別】

障がい種別にみると、指定難病と小児慢性特定疾病、身体障がいでの回答率が高くなっています。



意見の内容をみると、「その他・全般」を除き、身体障がいでは「就労・就学等」、知的障がいでは「生活支援」と「サービス」が同率で、精神障がいでは「差別・理解」が、指定難病患者では「外出・活動」が、小児慢性特定疾病では「情報・相談」が、手帳未所持、発達障がいでは「サービス」が、医療的ケア児では「外出・活動」と「情報・相談」がそれぞれ最も高く、関心が高いことがうかがえます。



自由意見の記述回答は次のとおりです。

(※複数カテゴリに分類される意見は1つのカテゴリにのみ意見を記載しています。また、固有名詞が含まれていたため、一部の表記を変更しました。)

■住まい等

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肢体不自由の方のグループホーム増やして欲しい。生活介護の事業者の内容で、活動が多い（調理、制作、清掃）施設を希望します。（小児慢性特定疾病） ・ 将来、利用するであろうグループホームや入所施設の数を増やしてほしいです。（発達障がい）
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害を持っていても、その子らしく住みやすい市にさせていただき、いろいろと考えて下さりありがとうございます。我が家では、本人に告知をしていないので、今回聞き取りしながら親が書かせていただきました。子どもが成長した時、働きやすく、住みやすい市により一層なっていたら・・・と願います。（発達障がい） ・ 親が弱ったときの今後の生活、どこで暮らし、どう生活していくか具体的に良いグループホーム等を知りたい。（発達障がい）

■生活支援

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どものリハビリや通院、訪問入浴や訪問リハ看護等時間に縛られ、アルバイト、パート等の仕事の時間にあてはまらなく仕事できません。かといって上記のことができなくなると、子どもの体に負担がかかったり生活ができません。障がい児の親むけの時間に融通が利く仕事があったらと思いますが、なかなかありません。内職も場所がないので置く場所もなく…。仕事ができる環境をなんとかしてほしいです。（発達障がい、医療的ケア児） ・ 障害者支援があってもオムツがずっと外れないなど日常生活にかかる金銭負担は長く続いたため、親が働きやすい事業所があると本当に助かる。（児発の時間は短く、職場まで距離があると働ける時間が短くなってしまふ。）日中一時支援や送迎があるところが増えるとうれしい。以前在宅酸素を3年くらいしていたが、重症心身障害ではなかったので通える施設がとても限られていたし、短時間でも預かってもらえる場所がなく、親の病院受診など連れて行くしかなくとても大変だったので、医療ケア児を預かる場所が欲しい。（指定難病、発達障がい） ・ 福祉サービス並びに特別児童手当の所得制限をなくして欲しい。サービス利用の日数を増やして欲しい。時間も長くして頂けると仕事をしやすくなる。（指定難病）

知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児福祉に係る所得制限の撤廃をお願いします。急に対象となり、放デイが4000円→3万になって毎日通わせられなくなりました。全国では区単位で撤廃している所あるとききました。よろしくをお願いします。(同一回答3件) ・兄弟で支援がいる時、朝の送迎がとても大変。児発のほとんどがお弁当がいること。時間が短かく朝が開所がおそく、仕事がかかり制限される。幼稚園などの長時間もつかえない。(発達障がい) ・児発、放デイを利用していると長期休み中など親の仕事の時間を調整しなければならず、なかなか働きづらい。働く時間、職業など困っている親が多い。障がいのある親でも自由に働ける環境ができればいいと思う。(発達障がい) ・小学生ですが、手厚い支援ありがとうございます！！感謝しています。親が高齢になった又は亡くなった後の支援、又はお金が不安です。グループホームの少なさ、施設、職員の少なさ。障害者に対する偏見。小さい頃から一緒に居たら、そんな事ないのに…。大人の方が偏見を持っていて悲しいです。どうしたらいいかわからないからなどがあり、情報、交流など出来る機会をたくさん作ってもらえると嬉しいです！(発達障がい) ・成人した後、自宅で過せる支援の整備をして欲しい。情報の提供も(行政)充実させて、当事者に必要な支援をわかりやすく、理解できる資料を増して欲しい。(発達障がい) ・障がい児の親の支援が不足している。地域での孤立(周りに迷惑をかけてしまうという気持ちから公共の場や外出がしにくい)親のつどい不足(エールも地域毎ではなく行きにくい。地域毎にカフェなどのそう設があるといいのに)仕事の制限(夏休みの放デイのあずかり時間が短く正社員ができない)、課題に対して行政のとりくみが少なすぎる。特に社会に出て親が人とかかわること、休息することが大切なのに思うように働けない→社会から孤立→生活困窮におちいる。障がい児、その親の支援が充実していない。高齢分野のように手厚くすべき。(レスパイトのしやすさ)社会資源の少なさもどうかと思う。障がい児にとってファミサポもマッチせずあずけ先が療育以外ない。もっと生きやすい制度、インフォーマルサービスの整備、そう設を強く希望します。障がいサービスも区分が重くないと使えない。中度レベルの子はどうすごすのか??(発達障がい) ・現在児童発達支援事業所に子どもが通っているが、このような施設に通わせると時間の制限があり、仕事との両立が難しい状況です。特にひとり親ということもあり、働かないといけないが子どものために良い施設を選ぶと9時~15時までという時間配分だったため行かせることができなくなり、その後やむを得ず違う施設に12時~17時半まで行かせたら、保育園からもっと長い時間行ける施設にかえてほしいと提案されました。発達障害に対して理解は広がっているのかもしれませんが、やっぱりまだ配慮されていないところもあり、まわりには面倒くさいと思われると感じるので、そのあたりを考えてほしいです。(発達障がい) ・障害者の生活は、福祉サービスで大きく支えられていて、一つのサービスがあるかないかで、すごく変わってきます。財政もあると思いますが、見限ることなく、充実したものになっていくことを願います。(発達障がい) ・今回は長男を本人としてアンケートに回答しましたが長女(14)、次女(4)、次男(6)も発達障害があります。精神面だけでなく金銭面でも負担は大きいです。発達障害を持つ人が増えている中、理解のある人は少なく他者からの影響で二次障害がでてしまい現に長女も苦しんでいます。(不登校、うつになりました)学校関係者や日頃子供たちと関わる機会の多い人は特に最低限の知識くらいはもってほしいなと思います。(発達障がい) ・日中一時支援がまだまだ少ないので、もっと増やしていただきたいです。土曜の利用もあると大変助かります。就労選択支援サービスがいまだわかりにくく、もっとくわしい説明が欲しいです。グループホーム、入所施設、ショートステイを増やしていただきたいと思います。(発達障がい) ・障がい児を育てていて、補助金が収入によって全く出ない事が不公平と感じます。決して生活が楽なわけではないので、同じくらい大変な思いで育児しているのに・・・と。外出するときに補助してもらえる(子ども1人に大人1人がつく)サービスがあるにはあるが、それをやってくれる人や施設がほとんどないときているので、充実させてほしいです。(発達障がい)
-------	---

知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・特別児童扶養手当の支給対象の範囲を広げてほしいです。以前申請して却下されたことがあります。通常発達の子と比べて、こだわりの強さやコミュニケーションのとりづらさにより、トイレトレーニングが進まず、おむつ代がかさみ、偏食による栄養不足をおぎなうための健康食品の購入等お金がかかります。そのため数千円程支給して頂けると助かるなどよく家庭内で話しております。(発達障がい) ・親なきあとのことを考えると不安ばかりです。子どもが成人した後、親と一緒に入所できる様な施設（老人ホームと一緒に入所できる等）が今後充実して行くことを心から願っております。また、A型事業所を利用したくても、最低賃金の支払い義務があるため、どんどん門戸が狭くなってしまっています。最低賃金の保障も大切ですが、もう少し柔軟に制度を考えて頂ければ、やる気のある良い事業所も継続し、しいては利用できる障がい者が増えると思います。また障害基礎年金も数年に1度診断書の提出が必要とのこと。親なき後、頼れる親族も近くにいない障がい者に自分で診断書を取りに行き提出することが困難であるご理解頂けますよう、どうかお願い申し上げます。(発達障がい) ・放デイの自己負担が保護者の収入によりすごく増える。特別児童扶養手当も支給制限される。子どもの障害や未来、教育に親の収入は関係ない。制限撤廃をして必要な子どもに平等に支給してほしい。(発達障がい) ・各支援の方々にはいつもとても親身に子どもの支援を頂いています。ただ、各施設の人員不足、定員の問題などから利用を希望するお子さんを受け入れ切れない現状をよく耳にします。制度の改善により支援の仕事に就く方も支援を受ける側もより良い環境で過ごせることを願っています。障害児通所サービスの負担額の見直しがあるとありがたいです。(発達障がい) ・軽度なADHDを年長さんの時に診断されました。養護学校など行くレベルではないが、毎日の生活で通学の子より忘れたり、なくしもの、破損が多いです。そのため普通の家庭より家計負担が多いです。世帯につき1万円でもいいので補助してほしい。外国人にお家あげるなら、日本の家庭にお金を配って下さい。本当に本当に大変なんです。(発達障がい)
指定難病	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の家族へのケアサポートをふやしてほしい。障がいを診断できる病院が少なく半年待ちの状態のため、必要な支援をすばやくうけることができない。
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害への理解が年々広がり、学校や日常生活の中で多くの方々にご配慮いただき、楽しく過ごすことができている。支えて下さる制度や皆様に感謝しています。一方で、将来への不安も感じています。岐阜市には、子どもたちが大人になってからも安心して暮らしていける社会づくりを、これからも進めていただけたら嬉しいです。(発達障がい) ・放デイを利用しています。世帯年収による制限をなくしてほしいです。がんばって働いて、娘たちに残してあげたいのです。(発達障がい) ・現在、児童発達支援を利用していますが、所得制限により、月に3万円ほどの負担となっています。幼稚園と併用すると月に5～6万円の負担となります。親子通園のため働くことも十分にできず、暮らしに余裕はありません。利用料の負担上限が4,600円→37,200円に上がり、給食費も実費になるなど、所得制限を行う正当性はあるのでしょうか。市町村で所得制限をなくすとりくみをしているところもあるとききます。子どもの支援の機会を、ぜひ平等におねがいしたいです。

■サービス

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・放デイ、B型事業所、共に職員が知識や理解が乏しく、加えて専門性も皆無な人間が簡単に職に就けているのは良くない状況だと思います。両親がフルタイムで正社員として働くにはサービス量（時間）が全く足りなくて離職に追い込まれています。改善していただきたいです。10月からスタートした就労選択支援事業を支援学校だけでなく、どこの事業所でも行えるような形に今後していただきたいです。障がい者支援よりも利益最優先にしている心無い事業所が目立ちます。精査を求めます。（発達障がい） ・先にも記入しましたが、放課後デイサービスを利用するにあたり、自己負担額の段階がなすすぎます。月4600から一気に月3万以上（医療ケア等があるため高額になる）になるのを改善しておさえてほしいです。親も懸命に働いています。頑張っただけ、負担を一気に増やすような制度では苦しいです。その他ではとても助かっています。ありがとうございます。（発達障がい、医療的ケア児） ・小学校に上がる前の就学時健診は、特別支援学校に就学希望している児は別対応していただくと助かります。校区で受ける必要はないかなと思うので、別日で少人数（知っている子がいると母子も安心します）、時間制e t c . . . としていただくと、今後の子たちが安心できるかと思います。児童発達支援施設に通っている子に対して選択できるとよいか。今年度参加しました。念のため、校区の小学校に配慮お願いします . . . と電話しましたが、全く伝わっておらず . . . 先生方もお忙しいと思いますが、来年以降の子たちのために一工夫いただけると幸いです。フルタイムor時短で働きたい（母）と考えています。夏休みの放デイ開始が10時～15時の所が多く、就職へのハードルの高さを感じています。（身内に）他に助けを求められず . . . 悩んでいます。また、高校（高等部）卒業後、事業所に入所した場合、14時～15時に帰宅するので、何かサービスがあると良いなと感じています。よろしくをお願いします。
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの支援を打ちきらないでほしい。駐車場を増やしてほしい（障害者スペース）。低所得者、1人親だけじゃなく障害児、障害者にももっと目をむけて支援してほしい。（発達障がい） ・もっと気軽に相談できたり、障害（目にみえない）がある子でも楽しめるイベントが沢山あるといいです。学校のクールダウン室を増やしてほしいです！！（発達障がい） ・今後も援助が拡大していく事を願っています。（発達障がい） ・子供が成人するまでに地域の（発達に関する）専属サポーターがいるといいなと思いました。（発達障がい、医療的ケア児） ・現在特別支援学校の1年生で放課後デイサービスを利用しています。放課後デイサービスは数が増える一方で、専門性の高さやただのお預かりのような事業所もあるのが現状です。重度の自閉症であるということ、うちではちょっと…と断られたりすることもありました。専門性が高く、安心して預けることができる箇所の中から我が子の特性に合った所が選べるような未来を望みます。（発達障がい） ・小学校入学時から放課後デイサービスに通っている子は、優先的にその放デイに通い続けることができ、今から（途中から）利用しようとしても通える放デイが見つからず、母の就労時間も限られてしまってます。事業所（放デイ、児発）の先生方も「お母さんの就労の有無に関係なく、子どもを預けるので託児所状態になっている」「申し訳ないけど大きい子から日数を減らしてもらったり、新規の子を入れないようにしている」など、ききました。ただあまりムリに子どもを預ってもらったりすると先生方が疲れてしまってどうということが起きるのかな、と心配です。（発達障がい）

知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所がどこも定員なので選べない。岐阜市は障害福祉サービスが手厚いのですが、今後ますます利用人数は増えていくと思います。いわゆるグレーゾーンの子や発達障害児などその子にあったサービス日数でもよいのではないかと思います。(発達障がい) ・有料でかまわないので、いざ急用ができたときに休日預かって頂けたり、またショートステイを利用できるサービスがあると助かります。(発達障がい) ・重度の知的障がい者が利用できるショートステイの施設を増やして欲しいです。(発達障がい) ・サービスの利用時間をもっと長くしてほしい。(発達障がい) ・中学・高校と通えるデイサービスが少なく感じます。事業所が増えてくれたら大変たすかります。移動支援、ショートステイ、なかなか利用できません。(人員不足やショートステイやっている所が少ないです。) よろしくお願い致します!! (発達障がい) ・強度行動児・者の居場所がほしい。(発達障がい) ・普通級の放デイ日数をへらし、特支学校の子(強行の子特に)の日数満日に。指導をきびしくしても、楽な子を預かりもうける会社はへらない。事業者指導の事を親や本人にきく意味がわからない。(発達障がい) ・障害のある子どもを2人育てているので、どちらの子の立場で答えたらよいのか分かりませんでした。障害児の福祉サービスを充実させてほしいです。そのために保護者が市役所に問い合わせた時に、適切に対応できる知識と経験のある職員さんが増えると嬉しいです。子どもが境界知能であると特にサービスからはじかれてしまったり、「そのままでもいいですよ」と気休めの言葉をかけられて、案内や説明さえしてもらえないことも多々あります。(発達障がい)
指定難病	<ul style="list-style-type: none"> ・この声が市長に届く事はないと思いますが、障がいのある子を授かり絶望しています。保育園入園を考え見学、問い合わせをしましたが、詳しい事も聞きもせず断られました。公立園ならどうでしょうと言われました。ちなみに公立の保育所の見学をしましたが、良い返事はもらえませんでした。市役所の保育課も大変冷たく、「各自で問い合わせして下さい」とだけでした。羽島市では役所でどの保育園なら受け入れが可能か教えて下さり、実年齢より下の学年で受け入れているとの事です。社会が障がい児を受け入れてくれず、絶望しています。役場の対応もまたお役所仕事で絶望しています。岐阜市は障害児にあまりにも冷たい。羽島市を見習ってほしい。(小児慢性特定疾病)
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・転居してきた際に、保育園・幼稚園・児発を探すのにとても苦労しました。他市では加配保育などの情報を市の職員さんが把握されていたり、児発の相談もお願いしただけたりと何も勝手にわかっていなかった身としてはすくわれました。他市で配慮ある支援を受けた事もあったせいか、岐阜市は加配など有無の一覧表などもなく、『自分で一から一件ずつ電話してください。わたしたちも知りません』のスタンスだったので、とても印象は悪かったです。岐阜の情報にたどりつくにも時間がかかり、県一大きい市なのに職員の質やサービスは良くないのだなと感じました。家を建ててしまい、ずっと住む事になったので、質の高いサービスを提供できるよう他市をみならってサービス向上を目指してほしいです。(発達障がい) ・子供は現在3歳です。保育園では発達の遅れから、児童発達支援を受けることを助言され通っています。うちは幸運にもすぐに通える場所を見つけられましたが、今は発達障害の子が多くて、どこの事業者さんも手一杯なため通所が困難という話をよく聞きます。子供の居場所が増えるように市でもサポートしていただけるとありがたいです。ちなみに、市役所の障がい福祉課や子ども・若者支援センターの職員さんにも色々とお世話になったのですが、みなさんとても親身になって対応いただけ助かりました。ありがとうございました。 ・療育手帳を取得できないグレーの子供たちにも手厚い支援がほしい。グレーゾーンの子供たちこそ金銭的な援助があってもいいのでは…? 遊び場も少ないので、大型遊具など南部の方にも増えたらありがたい。(遠方は外出大変なので)(発達障がい) ・幼稚園や小学校に所属している支援員の人数が少なく思います。一般の先生たちにも障害福祉に関する知識や理解のある方が増えたら良いなと思います。通所支援に通う子ども受けられる支援サービスが増えたらいいなと思います。リハビリ、通院、登園の制限など、親も思うように働けず、金銭的に困っています…。

手帳未所持

- ・子どもが通っている児童発達支援教室の時間帯は、全く混んでいないのに、時間をもう少し伸ばしたいとお願いしたら、トータル的人数がいっぱいなのでできません、と言われました。トータルの利用人数ではなく、利用時間別の人数制限にしてもらえるとありがたいです。(発達障がい)
- ・放デイの事業所数が足りていないと思います。一つしかありません。近隣市外も空きがなく、「複数の事業所に通う方がいい」(子どもにとって学びがある、合わない場合に替えがきく)と、とある事業所の方に言われましたが、その事業所に入ることもできませんでした。空き家も多いので、整備して事業立ち上げ支援をされるのはどうでしょうか。(発達障がい)
- ・今の息子のサポート体制(岐阜市)にはとても満足しています。その理由は、最初に相談へ行った児童発達支援がとても良く、以降もよくサポート頂いているからです。児童発達支援がありすぎて、どこが良いか分かりません。私は友達に詳しい子が居たので良かったのですが、行政からの情報は少なかったと思います。(発達障がい)
- ・幼稚園難民を経験しました。年々加配希望児が増えているようで園側も受け入れが難しいそうです。加配の受け入れがもっと良くなる様にさせていただけると嬉しいです。
- ・子どもが3才児健診を終えてから、保育園で困る事が増え、療育を利用しはじめました。早くから療育が必要と分かっていたら・・・と思うところがあり、乳幼児健診において、もう少し丁寧に発達の間診や気になる所の指摘をしてもらえたらと思います。(発達障がい)
- ・児発を利用するまでの経緯で、保育所の先生から、精神的にかなり追い詰められ、辛いおもいをしました。児発施設や事業所さんとの見学や話し合いの時に、その話をし号泣したこともあります。結果として、児発の利用は我が子にとって良いことではありましたが、保育士さんからは「めんどうだからさっさと児発へ行け」と言われているような言い回しでした。(直接そのようなことは言われていないです)その保育所からは傷ついた親御さんがたくさん来ていますとも聞きました。伝え方やよりそい方をもっと市からも指導して欲しいと思いました。※もっと、児発利用までの流れを、明確にして頂けると良いと思います。当時は、それも分かりにくくて、苦労しました。保育所からは急がされ、療育施設からは止められ、かなり困りました。そのような方が少しでも減ることを祈っています。
- ・放課後デイサービスを利用しています。利用者負担上限金額が2種類なのが少し・・・。4,600円と37,200円の差が大きすぎるので、もう少し段階を踏んでもらえるとありがたいです。(発達障がい)
- ・放デイを利用する時に負担が大きく利用出来ない時がある。上限が4,600円だが、そこにおやつ代や交通費等が加算されてくるので夏休みをフルで使うとなると一万円以上になる時もあるので、もう少し安くなると良いな・・・と思う。また、手帳を取りたくても判定に入らずで手帳が取れないので、そう言う子たちのための手帳があると良いなど感じる。(発達障がい)
- ・放課後デイとトワイライトを利用して長期休暇をのりきってますが、ひとり親だと負担大きく仕事も時短にしないと、放デイの利用時間が合わずで中々きびしいです。頼れる人がいない障害児家庭の現状も是非意見あつめてほしいです。計画相談支援の方も人手少なく1人で多くの担当受けておられるようで大変そうです。あと放課後デイや児童発達支援事業者一覧など作ってほしい。他県から引越してきましたが一覧で詳細比較できるサイトやパンフレットが元住んでた県にはあり事業所探しやすかったですがギフにはなくて探すのがとても大変でした。あと職員の質も見直してほしいです。他県在住時に診断おりにいて、岐阜に来て施設へ行ったら「何で診断おりにたかわからない」「しつけのせい」と言われしつけの冊子を渡され終わりました。元住んでた所で支援うけていたのに絶望でした。その後お世話になる事になった計画相談支援の方がとても良き方で支援につながる事になったのでよかったです。その施設はどうかと思いました。(発達障がい)
- ・放デイはとてもたすかります。いい人材の確保や存続のために運営する方たちの負担がなるべくすくなくいいなと望みます。(発達障がい)
- ・昔と比べ発達に心配のある子への支援がこまやかでありがたいと日々感じております。(発達障がい)

発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービスを複数箇所利用していますが、事業所によって実施内容が大きく異なり、単なる預りのようなサービスになっている所があります。書面だけでなく、定期的に現場で監査を実施するなど、質の確保に向けて行政に参与していただけるとありがたいと思っています。上記のような状況もありますが、障害のある子を持つ親として、放デイを利用させていただけることには大変助かっています。ありがとうございます。 ・デイサービスが多いのでデイサービスの質が事業所によって全然違うと感じる。密閉された空間なので、本当によいサービスをしているかはチェックして、社長ではなく、社員にどういう点が改善したほうがよいか？、ヒアリングなどをした方がよいと思います。
-------	---

■医療・健康

区 分	記載内容
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・小児慢性患者・受給者証、保健センターで更新手続きができることは助かるが、毎年更新は正直大変です。仕方ないことは分かりますが、更新はなかなか大変です。私は精神の自立支援を受けています。診断書、めんどうです。診断書、先生にお願いをすることが負担です。どうにもならないことすみません。(指定難病, 小児慢性特定疾病, 発達障がい, 医療的ケア児) ・歯医者での治療にとっても苦労しています。家の近くに発達障害の子に対応できる先生がいれば、とてもありがたいのですが。治療できる歯医者をもっと増やしてほしいです。(発達障がい)

■就労・就学等

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校のスクールバスの駐車場が自宅の近くにありますが、現在この地域は送迎対象外となっています。近くまでバスが来ているのに利用できない状況は家庭にとって大きな負担となっているようです。(先輩方に伺いました) 2年後には通学が必要になるため、この地域も送迎対象に含めていただけるようお願いします。(指定難病) ・県内の特別支援学校を周って、母親や父親たちの生活を想像したり、意見を聞いてほしいです。市役所の車イス用駐車場ですが、チケットの機械の場所、角度がひどいです。やってみてください(車に乗ったままで)。吸引機など、頻回に使う人には、5年といわず医師の意見書などで柔軟に対応して下さい。必要な時に必要な人が求めているのです。(高次脳機能障がい, 医療的ケア児) ・現在利用している特別支援学校の先生方のサポートや教育活動にはとても感謝していますが人手不足の状況がよく分かります。保護者側もなるべく協力していくようにしていますが、スタッフ職員の方の採用の幅を広げるか保護者側も交代で何か支援に関わることができる仕組みがあれば良いかと思っています。(指定難病, 小児慢性特定疾, 発達障がい)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者です。子どもは現在、小学生で特別支援学級、情緒クラスに所属しています。高学年で通常学級への転籍ができるよう学校と相談しながら進めていますが(今後の進学を見据えて)ハードルが高く感じています。支援級と通常級の中の支援方法についても検討してもらえるとありがたいです(がんばりたいけど不安という声も多いです)。例えば、通級のように子どもが動くのではなく、大人が学級に入り支援する(保育所等訪問支援のような)ことはできないでしょうか。期間限定でも安心につながると思います。(発達障がい)

<p>知的障がい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が足りないことが続いているので、人員確保をなんとか早くしてほしいです。教員に余裕がないと、生徒が不安定になったりして、悪循環です。特に支援学校の教員は、障がいのある子を教えたいと思っていない人も配置されるので、人的環境が良くなければ、ますます嫌になってしまったり、差別や虐待につながります。また、基本的な知識が圧倒的に不足しているので、保護者が安心して子どもを学校に預けられるようになってほしいです。この先生は理解がないから…とあきらめている保護者がたくさんいます。(発達障がい, 医療的ケア児) ・学校の先生の数が少なすぎます。療育的な支援をしてもらう為に入学した学校なのに、指導する先生数が少なく、子供たちがほったらかし状態になっている。先生の負担も大きい。そんな親さんの声は多く聞きます。市が動けないなら国が動いて下さい。(発達障がい, 医療的ケア児) ・小学校の支援クラスに在籍しています。専門的な支援がもう少し手厚いとありがたいです。校外学習の際等も先生方の手が足りてないように感じます。この際は専門の先生でなくても人員(大人の数)が増えると安心!!(発達障がい) ・岐阜市は障害の認定基準が厳しいと感じる(特児、障害のある子への就学支援等)。特に発達障害や知的グレーゾーンにあてはまる子供に対しては、基準からまれてしまい何の支援も受けられない。こういったはざまにいる子供たちへ救済する制度を持っている自治体は多いので、岐阜市も対応してほしい。こういったアンケートをして意見を聞いて下さるのはありがたく、感謝しています。 ・下のきょうだいが通う保育園では、どのクラスにも、身体障がい、発達障がいの認定がある子がおり、担任以外にサポートの先生がつきませんが、加配の時間に限りがあり、先生方大変苦勞しておられます。障がいのある上の子が通っていた頃は、今よりさらに先生方の人数も少なく先生方に心の余裕も知識もなく、親子共に差別や肩身の狭い思いをたくさんしてきました。日常生活の自立を学ぶ一番大事な時期を過ごす場所です。行政として確実な「職員」と「加配時間」の配置をお願いしたいです。また、発達障害の知識がない先生方が大変多いと感じています。知識がない以前に、知らないという方もいらっしゃいます。みんなと同じようにやれない事でおこられたり、できない子という扱いを受ける子供が一人でも減るように保護者、その他学校の教育者へ特別支援教育を行政として行ってください。学ぶ場を作ってください。「幼児期」にきちんとしたサポートが受けられるかどうかで、障がい者になるのか、そうでないかが変わる子もたくさん、たくさんいると思っています。まずはサポートする側の環境を整えてください。(発達障がい) ・知的障害があり、言葉が話せない(会話ができない)子でも生産性を生むことができるような技術や科学(AIなど)を導入し、経済的にも自立できるような未来を作っていただきたいと思います。(発達障がい) ・障害児に対する介護休業制度を取得できるか会社に聞いた所「時間内勤務が難しいようなら違う会社が変わって頂いた方が良いのではないのでしょうか」との返答がありました。介護休業制度の障害児の取得がとりやすいよう、制度をきちんと利用できるよう、行政の方より事業主への周知や申し出があった場合、取得できるよう義務化などを徹底して頂けると大変有難いと思っています。 ・高校(特別支援学校の)卒業後の進路が不透明で不安です。(発達障がい) ・小学校の特別支援学級に通っていますが、先生方の発達障害等の知識があまりないように感じ、頼りない印象です。本人が学校に楽しく通えるようにご配慮いただきたいと切に願います。(発達障がい)
--------------	--

手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・通学について。小学校での集団登校は、いろいろな子どもが違って年齢も違っているのに、いつまで子どもにまかせるのか??学校側「通学路で起きたことはご家庭の責任」「通学班で通行してもらうのが原則です」相反する主張は困る。発達障害、身体障害の子どもは特に心配なのでは?事件事故が多いので、日本だけ平和ボケしている。昭和の体制で改善なし。SNSでも多く見かける意見。どの子どもも安全に登校させたいと、仕事を両立させたいなら車での送迎orスクールバスが必要。郵送されてきた封筒に「障害(児)福祉計画に…～」とタイトルがあったが、プライバシーも何もないのか?そして何の診断も受けていないし、今は至って普通です。アメリカで郵送受ける時、タイトル丸見えなんてありえない。今は差別を感じることは全くないが、それは子どもが無事に成長したから。心配な時期2歳~3歳ごろは走り回る、待てない、いろいろなものに興味がありすぎる…など、他の子と違う行動をすると迷惑がられることがあった。日本独特の目線が苦痛。幼稚園は絶対に受け入れてもらえなかった。診断もされていなかったが、少しでも発達に心配があるという、資料すら渡されず、門前払い。結局一件見つかったので通い、無事、普通級に通えることになった。勉強もよくでき、周りもよくみて行動できる子になった。もし、特性が強いままであっても、学校や公共の場で区別、差別するのはおかしい。身体は目に見えるが、発達はわかりにくいこともある。飛行機もそうだが、サービスはいつも身体的なサポートのみ。 ・公立の中学校に籍を置いて、オンラインで授業をうけられる高等学院中等部があることを知りました。出席扱い制度を利用したり、中学校への進学を選択ができたりと、子どもにとってよい選択がしやすい制度があり、とてもありがたいです。(発達障がい) ・支援級のクラス名、数字だといいのになと思います。(発達障がい) ・高校受験の不安がある。希望している学校の試験が受けられるか不安。LDがあり読み書きが苦手なので、特別な配慮をしてほしい。せっかく成績が良くても公立に行けなくなる。(発達障がい) ・中学在学時に、進路の選択肢を知る機会がもっとあればよかったと思う。教職員の知識やスキルをもっと充実して欲しいと思う。(発達障がい) ・先生は、クラスの他の子の相手に精一杯で、私のことはあまり相手にしてくれない。支援学級の子の悪口を言うのをやめさせてほしい。(発達障がい) ・支援級の支援員の増員、担当教諭をきちんと子供達を指導できる人をつかせて欲しい。(先生の中には授業らしい授業もせず教える事を放棄している方もいます)性犯罪を犯した人物を再雇用できないようになんらかのシステムやルールをきちんと確立して欲しい。支援級にいる他害してくる生徒とクラス替えがない為支援級にいるかぎりずっと一緒にいなければいけない。かなりの苦痛です。(発達障がい) ・発達障害のある子どもでも勉強しやすい環境の塾など、学習のサポートがもっとあるといいなと思います。(発達障がい)
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・繊細な気質と学習障害もあり教室に入れなくなってしまいました。教頭先生の理解や寄りそい配慮がありなんとか給食を別室で対応してくださり大変感謝しております。しかし、学校の中にもうすこし支援教室以外にも安心してすごせる場ができたらなと思いますし、ハートフルサポーターさんも一年生だけでなくそれ以外の学年の子が安心して授業が受けられるよう人数をふやしていただけたらいいなと思っています。

■外出・活動

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土日だけ介護タクシーが少なすぎて利用したくてもできなく困る時がある。車椅子に乗ったまま乗車できるタクシーが岐阜になさすぎる。平日だけ介護タクシーが動いているだけで、土日動いてくれないと利用者としては困る。(指定難病, 発達障がい) ・ 歩道の整備、バリアフリー化、ユニバーサルトイレの充実、各種申請のデジタル化(オンラインで出来るように)(医療的ケア児) ・ 車イスマークのトイレを利用しても、赤ちゃん用のベビーベッドしかなく、体が大きくなった子どもはおむつを変えられない。普通のおむつ交換より時間がかかるので、ケア用トイレとそうでない赤ちゃん、子ども車イストイレが別だといのに・・・と思う。・バスも乗りにくい。せまいので、気を使ってなかなか利用しにくい。(指定難病, 小児慢性特定疾病, 医療的ケア児)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自閉症や知的障害が重度の子供は、なかなか公園に行ったり、遊ぶ施設に行くことができません。本人はまだ精神年齢が低いため遊ぶ場所に行きたいのですが、大声を出したり、体が大きいと小さい子の中に入っていけません。こういう障害の子供だけの遊ぶ所を作ってほしいです。(同一回答2件)(発達障がい) ・ 公共施設の利用が難しいので年に何回か障害者のみ利用できる日があると良い。プールやアリーナも予約が取りづらく、個人で利用したい時も出来ない。ショートステイも少なく選択肢も少ない。利用するにあたっての条件もあり断念する事が多く、きょうだいに負担をかける事が多い。児童館などの障害者のみの開放日があると良い。きょうだいのいる家庭へのPTAや地域行事の免除など行政の方で指導があると親は安心。地域によってあまりにも格差があり(学校も)大変な思いをしている。児発や放デイも事業所によって対応が違いすぎ、不快な思いをする事も多く、あまり選択肢の少ないこちらは我慢する事が多い。行政の方で支援の格差が出ない様に指導があると良い。障害育児の親の働く事の難しさがあり、金銭的にも厳しいと感じる事が多い。(発達障がい) ・ 知的障がい者(子ども)の同乗でもっと利用できる障がい者用の駐車場がほしいと思います。(発達障がい) ・ 大人用のオムツ替え台(大きめの・・・)の設置を切に願います。(指定難病, 小児慢性特定疾病, 発達障がい) ・ 電車やバスにのる際にかんしゃくやあばれる等の行動ある児が親と同乗する場合に、(ある一定の区間の)電車、バスに乗車する際のお手伝い、同乗介助のようなサービスが今後あると障害児を連れて公共の乗り物に乗せやすくなると思う。分かりにくい文章ですいません。(発達障がい) ・ 障がいのある子がいると、「周りに迷惑を掛けたくない」「周りから変な目で見られたくない」という思いから、問17であったような文化芸術活動に参加することを躊躇する家庭も多いと思います。障がいのある子(人)を対象とした活動、イベントがあるといいなと思います。(発達障がい)
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観たい映画があっても、大きな音が苦手なため観に行けず。観れる環境があると嬉しい。福祉サービス受給者証でも施設割引があると助かる。放課後デイサービス、どこに電話してもいっぱい。人員不足なのはわかるが増やして欲しい。(勉強、運動、両方ができるとありがたい)(発達障がい)

■防災・安全

意見なし。

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所へ行った時に、たらい回しや後日とされることを改善していただけるとありがたいです。業務も多く大変な中、丁寧に対応してくださっているのは感謝していますが、担当出来る人の人数がかなり少ないのか、かかる人数が長い…。担当して下さる人によっては、「大変だろうから…」と配慮してくださる職員の方もみえて、本当に助けられました。いつでもすぐ行けて、待ち時間を気にしない生活をしていないので…。あの時は本当にありがとうございました。(指定難病, 小児慢性特定疾病, 医療的ケア児) ・どのようなサポートがあるか、などの情報提供をもっと分かりやすくしてもらいたいです。手帳を受けとった際にサポートが受けられる内容が書かれた冊子を渡されただけでは何をどうすれば良いのかわかりにくいです。保育園の入所を考えた時、障害がある子どもを受け入れてくれる所などの情報提供や問い合わせの窓口などを教えてもらえると助かります、市所・保健センター、各保育園など様々な所に聞き、答えはもらえず、たらいまわしにされ、困りました。問い合わせる所を統一、対応を統一し丁寧に対応してもらえると助かります。 ・外出しづらいののに市役所へ行く手続きが多すぎる。(小児慢性特定疾病)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・療育手帳と精神手帳の窓口を同じにしてほしい。障害に関する手続きを簡単にしてほしい。(発達障がい, 医療的ケア児)
小児慢性特定疾病	<ul style="list-style-type: none"> ・市外から転居する際に、もう少し窓口の説明や、問い合わせた時に正しいことを知れる機会がいただけるとたすかりました。(発達障がい)
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・早期療育が大事と言われるが、その年齢(未就学児)の親に対しての情報提供が少なく感じた。子ども・若者支援センターは、グレーゾーンの子にはありがたいのかもしれないが(支援教室・ことばの教室など)、そうではない発達障害の分かっている子には自分から情報収集しなければいけなく、児発も探したり、支援を受けるにあたって申請する窓口や手順など、もっと分かりやすくてもいいと思う。発達障害があるだけで保育園幼稚園を断られる話も聞くので、加配をつけられるように岐阜全体でもっと働きやすい環境にして教育者の雇用を増やしてほしい。(賃金を上げるなど)(発達障がい) ・親の悩みを各サポート機関で連携してほしい。親はその都度1から説明し、学年が上がるとまた説明しなければならない。また生まれた時から説明するのが辛い。(発達障がい) ・行政は書類・形式ばかりで、保護者の観察力を軽視しすぎて。我が子は聴力に問題ない(チャイム、お菓子の開封音に気付く等)と訴えても、児童発達支援センターに行かされた。結果問題無し。子供は押さえ付けられてから異常な程耳触られることを嫌がる様になった。ASD、ADHDの出現の仕方はまだらで、形通りの方針にとってもサポート感ない。保護者へ自分の子への理解を深めていくことを希望する。各現場の疲弊感を感じています。(発達障がい) ・児童発達支援、放課後デイサービスを利用しようと思った時、通所できる施設をみつける労力がかなり負担に思った。紹介してくれるサービス等があると、助かると思った。(発達障がい) ・グレーゾーンの学習について、相談できる場があったら良いと感じます。(発達障がい) ・放課後等デイサービスを利用時は、先生方に色々相談できましたが、本人の意向で利用していない現在は、親がどこに相談すべきか悩みます。学校でのことは学校に相談できますが、日常のこと将来のことなど、いつでも相談できる場所が知りたいです。(できれば発達障害専門か詳しい方が在籍されている)(発達障がい) ・子どもの発達障害に向き合おうとした時に、まず何をしたら良いのか、相談先など分かりやすい情報提供が欲しいと思いました(その先の手続きなど見通せるものなど)この時点でだいぶ精神的に追いつめられていますので・・・考える、調べるが、困難になっています。あと子供の発達でこれは〇ヶ月にできた、という記録ですが3才くらいまで?書けるものがあれば良いなと感じました。あとから調べる、思い出せない時があるので、母子手帳にそういった1ページがあればなと(発達確認項目)各月齢でのページではなく。(発達障がい)

	<ul style="list-style-type: none"> ・訪デイや学校の先生の関り方などのおかげで、以前よりも本人の自信がついてきたので、感謝しています。私だけでは対応できず、抱え込みそうでしたが、相談できる先生方や、相談員の方、訪デイの先生方や、保護者会等のおかげで子どもに当たる事もほとんど無くなり、私自身も助かっています。もし、可能でしたら、障害児の親向けの勉強会やお話会（講師の方）がもっとあると色々な視点から見るができるようになる事ができるおで助かります。図書館に支援資料コーナーがあるのを知らなかったので、今度利用したいです。今回は選んでいただきありがとうございました。（発達障がい） ・障害児を育てるのは、精神的にも体力的にも金銭的にも疲弊します。障害者へのサービスもこちらから積極的に動かなければ、知らない、分からないことがたくさんありました。疲弊しながら情報を調べる得ることの難しさがあります。行政から、情報を積極的に保護者へ与えて下さるとうれしいです。そのような場があるといいです。発達がグレーの子への支援も今後あるとうれしいです。（発達障がい）
--	--

■差別・理解

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと多くの方に障がいについて知って欲しいです。知らないからこわい、わからない人が多いと思います。すぐもったいないので、小学生や幼稚園など小さいときから分けるのではなく、だれでも助けること、助けることができることをもっとしてほしいです。（知的障がい）
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害がある児が、3歳児健診や就学前健診など一般の方が受ける健診に参加すると、とても目立ち、他の親子の目が気になる。自分の子が迷惑をかけている様な思いもしてしまう。特性のある児（児童発達支援センターに相談している児）は別枠でやってほしい。（発達障がい） ・支援学校では教師から差別、体罰、暴言を受け、デイサービスでは放置され、障がいの度合が違うのに一緒くたにされ、手に負えないからといって子どもを悪者にしてている。人権を無視されたあつかいをされている。子どもの将来を悲観している。（発達障がい） ・保育園、幼稚園を探す時に、「発達が遅れている」だけで岐阜市内の園で20ヶ所、ことわられた。沖縄から来ましたが、岐阜の障害に対する差別はひどいので、初めから障害がある人は、岐阜市は受け入れませんと、アピールした方がよい。療育、療養制度が悪で、保育士の人数の確保ができない説明がありました。岐阜市がこの制度をやめないかぎりには、障害者は住めない事実をわかって欲しい。※転勤するのでこの事は広めていこうと思います。（発達障がい） ・ヘルプマークをみえる位置につけていないと、奇異な目でみられる。今はマークを服につけやすいようにカスタムしたが、名札の様につけられたらうれしい。（発達障がい） ・理解者が増えると良いと思う。小さい頃から接することで、大きな差別や偏見は少なくなるのではないかと思う。接し方を教える身近な大人も大事だと思う。私が子供と一緒に小学校へ登下校して気づいたことです。（発達障がい） ・発達支援施設の利用に関しては、とても満足していますが、小・中学校の教職員の方全員に発達特性をもつ子どもたちにどのような配慮が必要なのかを学ぶ機会をもっと増やした方がよいと思います。（発達障がい）

知的障がい

・私の娘は現在2次障害によるチック症、吃音に苦しんでいます。特性からくる不安定さも、まだ安定する事もなく、登校の行き渋りも継続中です。私自身、毎日車にて送り迎えをし（早退する日も多々あり）娘に寄りそった日々を送っています。障害が分かった日から、ショック・・・だとか、自分自身のキモチに向き合う事もできないくらい1日1日、障害児育児（私自身もゼロからのスタートな訳で・・・）に長子の事もある、仕事もある・・・日々は過ぎ去り。数年この生活を続けましたが、私がキャパオーバーになり、ノイローゼになり、カウンセリングを勧められ、（この時、はじめて自分の事を客観的にみる事ができました。）娘も、この時期、パニック発作を発症し、保育園も不登園に・・・。長年続けていた仕事を辞める事にして、子育てに専念する事にしました。仕事を続けていたのは、仕事をする事で自分の時間がもてる、私自身、クールダウンする事ができた。金銭面的にも辞めるのは難かしかった。そして、なによりも、やりがいのある仕事だったので、私自身のキャリアアップのためにもなかなか決断ができずにいました。だけれど、先生方のアドバイス「現状で両立は精神的に難しいだろう」もあり、私自身も自分より娘が1番大切だったので・・・退職という選択をしました。以前から岐阜市役所障害福祉課の手続に行っていました。何度か伺った事があるのですが、窓口の職員の思いやりのない態度、言動にびっくりしたのを今も覚えています。こちらが分からない項目を質問した時も、そっけない口調、無愛想な横柄な態度。手続きを行っている時に、ふいに「軽度知的障害ならば、お母様は短時間労働は可能ですよね？」等、言われました。数数年前～出来事なので、印象に残った場面、言葉しか覚えていませんが、私自身、とても悲しくなり、嫌なキモチになり後ろにいる他の職員の方に変わってほしいと頼もう・・・と思ったのは、鮮明に覚えています。重度障害、身体障害等、他の障害の方と比べ、男性の職員の方はきっと、「軽度」だから・・・という固定観念、想像力の欠如からくる、悪気はなく言葉にしたんだろう・・・と今では思っていますが。軽度知的障害、だけでなく、障害を持っている人々は、それぞれ、特性も違えば症状も違い、十人十色さまざまです。ひとくくりにして考える事しかできない。間違っていると思います。窓口の職員の方々は、いうならば岐阜市の「顔」ですよ。特に、障害福祉課は、私みたいな、自分の娘、息子さんの障害をもった、不安を多く抱えている保護者の方が来る場所です。本来なら職員の方が思いやりをもって助けて支えとなるポジションであるべきところなのに、真逆な事をしているなあ・・・と悲しく残念に思いました。福祉計画を作成するという事で大変嬉しく思っています。ただ私としては、大きな事を計画し実行するのも大事な事ですが、今、書かせて頂いた、小さな事案への指導、改善にも目を向けてもらえればなあ・・・と思っています。未来ある娘たちの生活が、障害があつたとしても、娘らしく、自分らしく、明るく生きていこう！と思える安心して暮らしていける岐阜市になる様に、願っています。長文になり申し訳ありませんでした。（発達障がい）

・自閉症や知的障害の子への理解が全くない人が多すぎる。うちの子は小3だが、以前は家族でショッピングモールなどに買い物に行っていたが、必ず1回以上は「うるさい」と言われたりジロジロ見られたりするので、もう子どもを外に連れて行ってあげられなくなった。健常者の多くは障がいのある子や人と関わることが少ないからか、理解がとにかかない。私たちが世の中から隔離して満足なんだろうとも感じる。放デイも以前行っていたところは支援級の子がほとんどで、支援学校で重度知的障がいの息子をバカにしたり、支援が必要だから通所しているのに、毎日「これができない」「こういうふう困った」「外出支援はできません」など散々悲しくなることを言われた。今の放デイの先生たちには「いい子ですよ」とほめてもらえる。事業所でも人をバカにするようなひどい所もあります。こんな紙の少ないアンケートではなく、行政に私たち当事者の体験や想いを直接言える場があつた方が100倍有意義だと思います。（発達障がい）

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・同級生の子に追いやられてトイレに閉じこもった時に、僕なんか死んだ方がましと子どもが言ってトイレの2階からとび下りようとした。とび下りれるもんならとび下りろ、チキンみたいなことを言われた。担任に差別的発言もあり、先生を信じてない。他の機関にも相談して、行かないせんたくもあると言われてる。大きな赤ちゃんって言われたり、体調が悪くて机にふしていたら、仮病なの？って言ってきたり、障害者に言うことではない。あげ句の果てに、さいごには、あばれると悪魔みたいと言われ正直学校行かせたくないと思った。障害もってたら通常級は難しいんですかね。(発達障がい) ・療育手帳の基準をIQだけで判断しないで欲しいです。特別児童扶養手当での所得まで制限されると生活に困ります。働いても働いても制限されてもらえなくなる。子が大きくなって自立できるかもわからず、20歳超えたら、手当も減る。不安な毎日しかありません。(発達障がい) ・通常学級に在籍しているが、授業の妨げになるとして教室へ入れてもらえていない。6年生の中で、発達グレーの男子4、5人で別教室へ行かされて過ごしている。教員の指示に従えない子どもは排除される。そうされて育った子どもが大人になって社会に出た時、共生社会と言われて納得できるのか？学校の配慮が全くない。岐阜市の教員には何も期待できない。(発達障がい)
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生達の発達障害の理解の低さ。給食をムリヤリ小皿ごと口に押し込んでくる。偏食強い。感覚過敏の理解なく、体育の厳しい指導と成績低く付けられる。給食も厳しい。子供の心配事を担任に相談してもそっけない。もっと理解ある情熱を持ってきてくれる担任にして欲しい。(発達障がい) ・学校では担任の先生によって理解度が違うと感じます。(普通級なので仕方ないと思いますが、これから先、合わない先生が担任になられると、1年間少々辛いかもとは感じます) 今まで担任して下さった先生は、ほとんど熱心に寄り添っていただいた先生が多く、感謝しております。こちら色々情報提供はしながらコミュニケーションを取っていきたいです。(発達障がい) ・見てわかる障害ではないので、周囲に理解してもらうことが難しい。なぜできないのか、本人はがんばっていても、先生に理解されず、クラスの前でしかられた事があり、学校がきらいだと言います。先生には学習障がいと伝えてたのですが…。見てわからない分、かわいそうな思いをたくさんしてます。(発達障がい) ・小学校不登校中です。先生の不登校に対する理解や尊重が先生により温度差があります。学校へ行けない子供に「学校おいでよ」と言うよりも、今ある状況、本人の気持ちにより添って頂きたいと思います。 ・幼稚園や学校など専門の職員さんや、理解しようと調べたりしている先生以外は、そもそも発達障害の事、どんな子がADHDなのか自閉症なのか。それって何？のレベルの教員が多い。普通の子を教えるのと発達障がいの子と支援や声かけが分からない教員が多いので、こういう子もいることをどの教員も知ってほしい。障害←障がいにすべてなるといいなあと思います。(発達障がい) ・保育園への入園を希望していたにもかかわらず、発達障害を理由に入園を断られました。当時母子家庭だった為、フルタイムで働かないと生活できない状況だったので、何度も市役所につけ合いましたが、結局入園は認められず、仕方がないので療育（児発）に昼間預けてパート勤務をしていました。おかげで生活が非常に厳しく、大変な思いをしました。障害を理由に入園を認めないというのは立派な差別だと思っています。岐阜市が率先して障害者差別をするなんて、言語道断です。それ以来、私は市長が大嫌い。もっと障害者や母子家庭に優しい市になってほしいです。(発達障がい)
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者（児）という、表現、言葉が、他に言い方はないのだろうかと思う。

■その他・全般

区 分	記載内容
身体障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声をくみとる仕組み作りをしてください。(発達障がい) ・THANK YOU WE ARE SATISFIED FOR THE HELP FROM THE GOVERNMENT FOR MY CHILD.(発達障がい) ・今のところはありませんが、この先出てくるかもしれません。(指定難病, 小児慢性特定疾病, 発達障がい)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝しておりますが、高齢出産もあり、こう回答させてもらいました。(発達障がい) ・訂正が多くすみません。代筆である事を失念しておりました。本人はこのような作業を嫌うため、返答は不明が多くなりました。(発達障がい) ・皆様のサポートがあり、困らないように配慮して頂き、たすかります。ありがとうございます。(発達障がい, 医療的ケア児) ・Anmari wakaranai desukedo moto oshiete kudasai yoroshiku onegaisimasu…。(指定難病)
精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの大小、重軽、にとらわれず、グレーゾーンの人や外から分かりにくい人なども含め、サポート体制が整うといい。特に年配の人などへ理解が進むと良いと思う。また、児童だけでなく、大人(18歳以上)や高校生にマッチする政策を希望します。(発達障がい)
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・意見ではありませんが、我が家は2人の支援利用児童がおりますので、上の子(小学生)について回答させていただきました。(発達障がい) ・小学生の子どもが解答するには難しい項目ばかりでした。本人に確認しないと答えられない質問と保護者(介護者)で答えられる項目でわけてはどうでしょうか。また本人に告知しておらず。本人に聞きづらい項目もありました。障がい児への対応としては、目に見えやすい障がいではない(発達障害)ため、授業や試験において、通常発達の子との差がでて苦勞をしている状況のため、サポートが多くあるとよいと感じています。(発達障がい)